18歳意識調査
「第77回　–価値観・ライフデザイン–」
報告書

日本財団　2026年3月13日

目次

調査概要	3
結果概要	7
1. 現状に対する認識・将来の暮らし方に対する考え方	
人生において大切にしたいこと	10
将来暮らしたい場所	16
2. 働き方・キャリアに対する価値観	
何歳まで働くか	21
就きたい職業、その理由	25
働く環境における重視項目	33
新しい働き方への考え	37
3. パートナーシップ・結婚に対する考え方	
将来結婚したいか/実際に結婚すると思うか、その理由	45
多様なパートナーシップへの考え	57
4. 子どもをもつこと・子育てに対する考え方	
将来子どもを持ちたいか/実際に持つと思うか、その理由	60
自世代と子どもの将来との比較	74
5. 若者支援に対する考え	
若者世代が置かれている状況への不安	79
若者政策の必要性	81
若者政策への評価	83
実施して欲しい若者政策	85
示唆	87
付帯資料	89

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

第77回18歳意識調査
「–価値観・ライフデザイン–」

本調査では、「人生における重要事項」、「働き方・キャリア」、「パートナーシップ・結婚」、「子ども」、「若者政策への評価」の5項目について、18歳前後の若者の意識を聴取した。2022年12月にも同様の調査を実施しており、3年前との比較を実施した。※

※3年前と同じアンケートパネルに対して調査を実施したが、回答画面の作りは異なる。

調査対象　全国の17歳～19歳男女

回答数　1,000
※性年齢別の人口比率に合わせ、下記の通り割り付けを実施。

	17歳	18歳	19歳	計
男性	169	169	175	513
女性	160	161	166	487
計	329	330	341	1,000

実施期間　2025年11月28日（金） ～ 12月3日（水）

調査手法　インターネット調査

注記1：回答者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、必ずしも日本全体の17～19歳男女に妥当するものではない。

注記2：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

本報告書内で用いる分析軸

- 本調査の結果は、性別のほか、家庭の社会経済的地位（簡易SES代替指標の得点、p.5参照）別に分析を行った。
- また、2022年12月に実施した第52回調査結果との時系列比較を行った。
- 分析軸は以下の４パターンであるが、質問によっては、一部の結果を省略している。

性別	第77回調査結果を男女別に分析
簡易SES別	第77回調査結果を簡易SES代替指標の得点別に分析
時系列 性別	第77回の男女別の調査結果を、第52回調査結果と比較
時系列 簡易SES別	第77回の簡易SES代替指標の得点別の調査結果を、 第52回調査結果と比較

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

【参考】分析軸「家庭の社会経済的地位」（簡易版SES代替指標）について

- 人生観や職業観は、育った家庭の経済状況や両親の教育水準・職業的地位や、またそれらの結果としての環境全般に影響を受ける可能性がある。
- 本調査では、そうした家庭環境による影響の差の有無・程度も確認するため、家庭の社会経済的地位（SES）別の比較分析も実施した。
- SESの指標としては、OECDが実施する生徒の学習到達度調査（PISA）で用いられている17項目を簡略化した「簡易版SES代替指標（※）」を引用・使用した。詳細は末尾の付帯資料参照。
- 簡易版SES代替指標は、0～3点で表され、高ければ高いほど、家庭の社会経済的地位が高いことを示す。

あなたが中学生の頃、あなたの家には次のものはありましたか。（はい／いいえ）
- 文学作品（例：夏目漱石，芥川龍之介）
- 美術品　（例：絵画）
- 食器洗い機

1つ該当するごとに、簡易版SESに1点加え、0～3点に回答者を分類。

※出典：石井 僚, 村山 航, 福住 紀明, 石川 信一, 大谷 和大, 榊 美知子, 鈴木 高志, 田中 あゆみ, 家庭の所有物を用いた中学生用簡易版社会経済的地位代替指標の作成, 心理学研究, 2019, 90 巻, 5 号, p. 493-502, 公開日 2019/12/25, https://doi.org/10.4992/jjpsy.90.18233

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

【参考】分析軸「時系列」（第52回調査）について

今回（第77回）調査結果との比較を行った、第52回調査の実施概要は以下のとおり。

調査対象　全国の17歳～19歳男女

回答数　1,000
※性年齢別の人口比率に合わせ、下記の通り割り付けを実施。

	17歳	18歳	19歳	計
男性	168	170	176	514
女性	159	160	167	486
計	327	330	343	1,000

実施期間　2022年12月2日（金）　～　12月5日（月）

調査手法　インターネット調査

注記1：回答者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、必ずしも日本全体の17～19歳男女に妥当するものではない。

注記2：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

注記3：第52回、第77回ともに同じアンケートパネルに対して調査を実施（ただし、回答画面の作りは異なる）。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

第77回18歳意識調査
「–価値観・ライフデザイン–」
結果概要（性別・性別時系列）

1 人生における重要事項	① 人生において大切にしたいこと（最大3つまで）の合計は、トップが「家族」から「自身の好きなことややりたいこと・趣味」に変化し、「友人」「恋愛」が減少。増加傾向にあるのは資産形成等で、自分自身をより重視する傾向がうかがえる。 ② 将来暮らしたい場所は、日本国内の割合が男女ともに3年前よりも増加した。
2 働き方・キャリア	① 75歳またはそれ以上まで働き続けると回答した割合が増加し、3年前よりも高齢になっても働き続ける意識が高まっている。 ② 将来就きたい職業は男女とも「会社員」が1位で3年前と同様。職業選択の理由1位は、社会貢献性の高さから人に娯楽や幸せをもたらすことに変化。
3 パートナーシップ・結婚	① 将来結婚したい、実際に結婚すると思う割合は、いずれも3年前よりも減少。 ② 結婚しないと思う理由は、「自由を失いたくないから」「子どもを育てたくないから」が3年前よりも増加。男性では「経済的に難しいと思うから」が増加した一方、女性では減少し、男女差が拡大した。
4 子ども	① 将来子どもを持ちたい、実際に持つと思う割合は、いずれも3年前よりも減少。 ② 子どもを持たない理由は、精神的負担が金銭的負担に並び全体の1位に。また、3年前は精神的・金銭的・時間的・体力的負担の各項目で女性が男性を上回っていたが、いずれも男性で増加・女性で減少し、男女差が小さくなった。
5 若者政策への評価	① 全体の約70%が若者世代が置かれている状況に不安を感じていると回答。また、若者世代に対する支援は50%以上が「不十分である」と感じている。 ② ライフデザインの支援として実施してほしい政策は、税・社会保障負担の軽減、進学しやすい環境づくり、雇用環境の改善が上位。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

第77回18歳意識調査
「–価値観・ライフデザイン–」
結果概要（簡易SES別・簡易SES別時系列）

1 人生における重要事項	① 人生において最も大切にしたいことにおいて、簡易版SES代替指標の得点が低い回答者は「大切にしたいものはない」と回答した割合が他のグループより高い。 ② 簡易SES代替指標の得点が高い回答者は、将来海外で暮らしたいと回答した割合が高い。
2 働き方・キャリア	① 働き続ける年齢について、簡易版SES代替指標の得点が低い回答者は「働くとは思わない」と回答した割合が他のグループより高い。 ② 兼業・副業・パラレルキャリアやフリーランスといった新しい働き方は、簡易SES代替指標の得点が高い回答者ほど「関心がある」と回答。
3 パートナーシップ・結婚	① 簡易版SES代替指標の得点が高い回答者では、実際に将来結婚を「必ずすると思う」と回答した割合が増加傾向である一方で、比較的低い回答者では「必ずすると思う」と回答した割合は減少傾向であり、差が広がっている。
4 子ども	① いずれの得点においても、実際に将来子どもを「持つと思う」と回答した割合が減少。簡易版SES代替指標の得点が比較的低い回答者では、「絶対に持たないと思う」と回答した割合も増加傾向。
5 若者政策への評価	① 簡易版SES代替指標の得点が低い回答者は、若者世代が置かれている状況に「不安を感じる」と回答した割合が他のグループよりも低く、「考えたことがない」と回答した割合が高い。 ② ライフデザインの支援として実施してほしい政策の1位は、簡易版SES代替指標の得点0点・1点が「税・社会保障負担の軽減」、2点が「奨学金の充実・返済支援・大学授業料無償化などの進学しやすい環境づくり」、3点が「安定した雇用や賃金上昇などの雇用環境の改善」。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

詳細

1. 現状に対する認識・将来の暮らし方に対する考え方
2. 働き方・キャリアに対する価値観
3. パートナーシップ・結婚に対する考え方
4. 子どもをもつこと・子育てに対する考え方
5. 若者政策に対する考え方

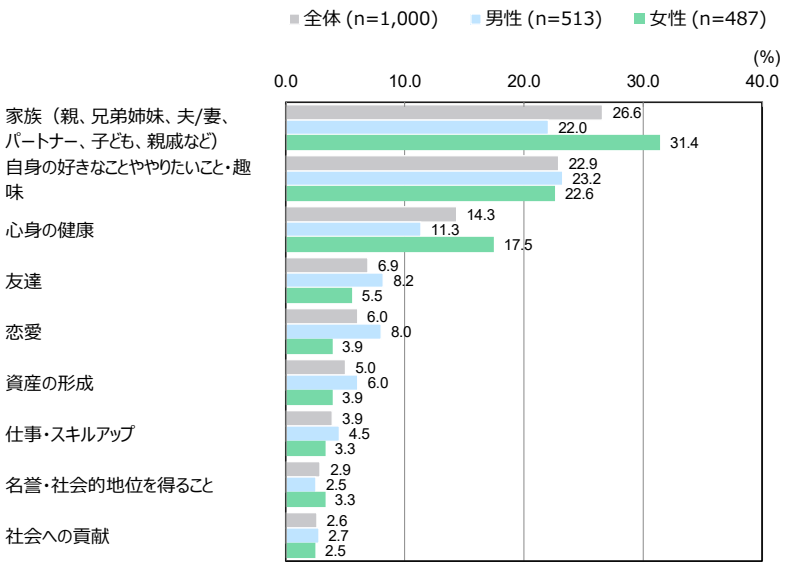
性別

人生において最も大切にしたいこと

人生において最も大切にしたいこと（1位として選択したもの）は、男性では「自身の好きなことややりたいこと・趣味」、女性では「家族」が最多で、男性は「家族」、女性は「自分の好きなことややりたいこと・趣味」が続く。

質問7：あなたの人生において、大切にしたいと思っていることは何ですか。上位3つを選んでください。
（選択式（1位、2位、3位をそれぞれ選択））

最も大切にしたいこと（1位として選択したもの）



※1　全体の降順で掲載。

※2　「大切にしたいものはない」と回答した人は、全体8.6%、男性11.3%、女性5.7%。

※3　掲載している項目のほか、「その他」として、次の回答があった。 ペット（複数）、芸術、命、人としての尊厳

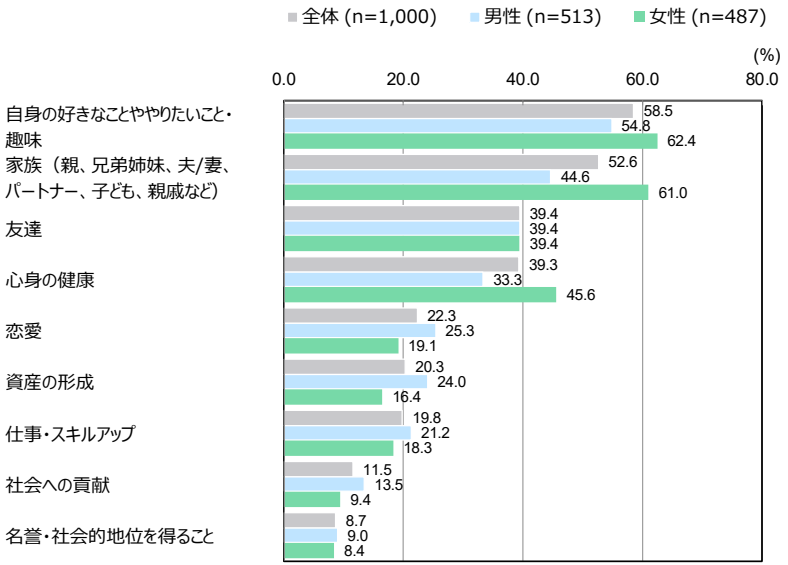
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

性別　人生において大切にしたいこと（最大3つまで）

人生において大切にしたいこと（最大3つまで）の合計では、男女ともに「自身の好きなことややりたいこと・趣味」がトップで、「家族」が続く。

質問7：あなたの人生において、大切にしたいと思っていることは何ですか。上位3つを選んでください。
（選択式（1位、2位、3位をそれぞれ選択））

大切にしたいこと（最大3つまで）



※　全体の降順で掲載。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

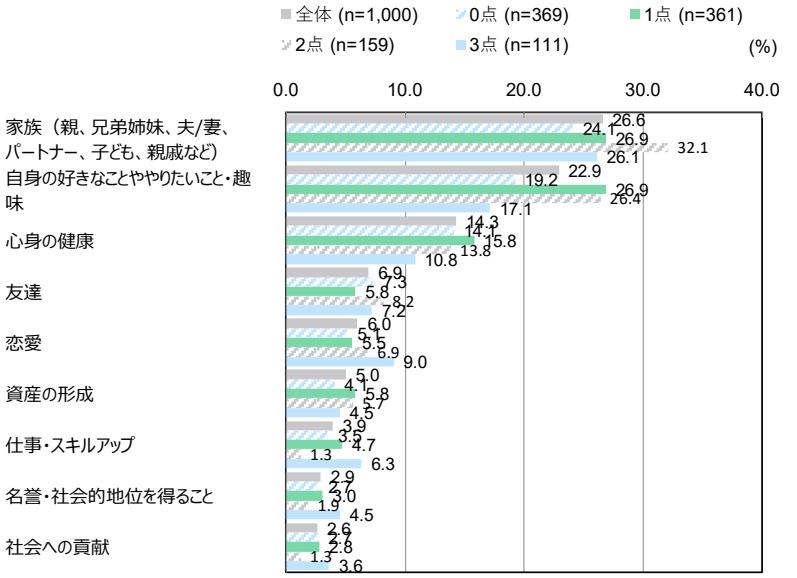
簡易SES別

人生において最も大切にしたいこと

人生において最も大切にしたいこと（1位として選択したもの）は、いずれの簡易SES代替指標の得点においても「家族」が1位で、「自身の好きなことややりたいこと・趣味」、「心身の健康」が続く。
簡易版SES代替指標の得点が低い（0点）回答者では、「大切にしたいものはない」を選択した割合が17%と他のグループよりも高い。

質問7：あなたの人生において、大切にしたいと思っていることは何ですか。上位3つを選んでください。
（選択式（1位、2位、3位をそれぞれ選択））

最も大切にしたいこと（1位として選択したもの）



※1　全体の降順で掲載。

※2　「大切にしたいものはない」と回答した人は、全体8.6%、0点16.8%、1点2.8%、2点1.9%、3点9.9点%。

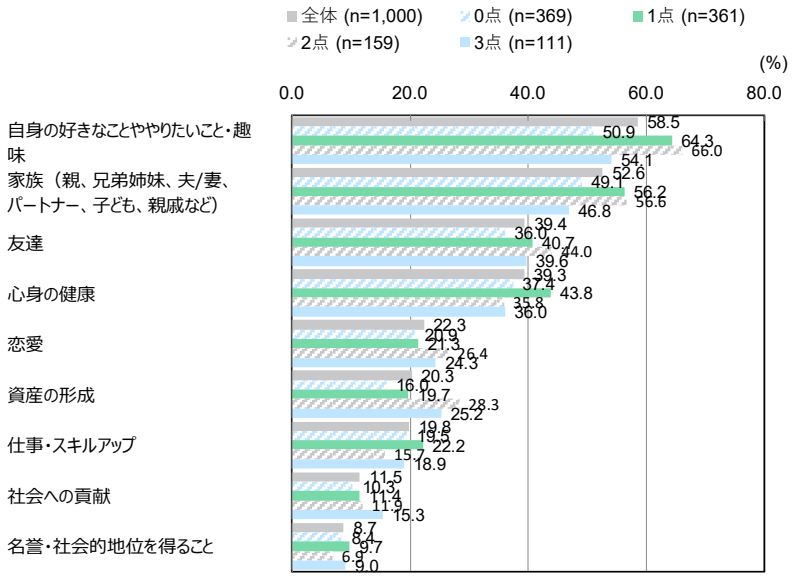
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

簡易SES別 人生において大切にしたいこと（最大3つまで）

人生において大切にしたいこと（最大3つまで）の合計では、いずれの簡易SES代替指標の得点においても「自身の好きなことややりたいこと・趣味」がトップで、「家族」が続く。

質問7：あなたの人生において、大切にしたいと思っていることは何ですか。上位3つを選んでください。
（選択式（1位、2位、3位をそれぞれ選択））

大切にしたいこと（最大3つまで）の合計



※ 全体の降順で掲載。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

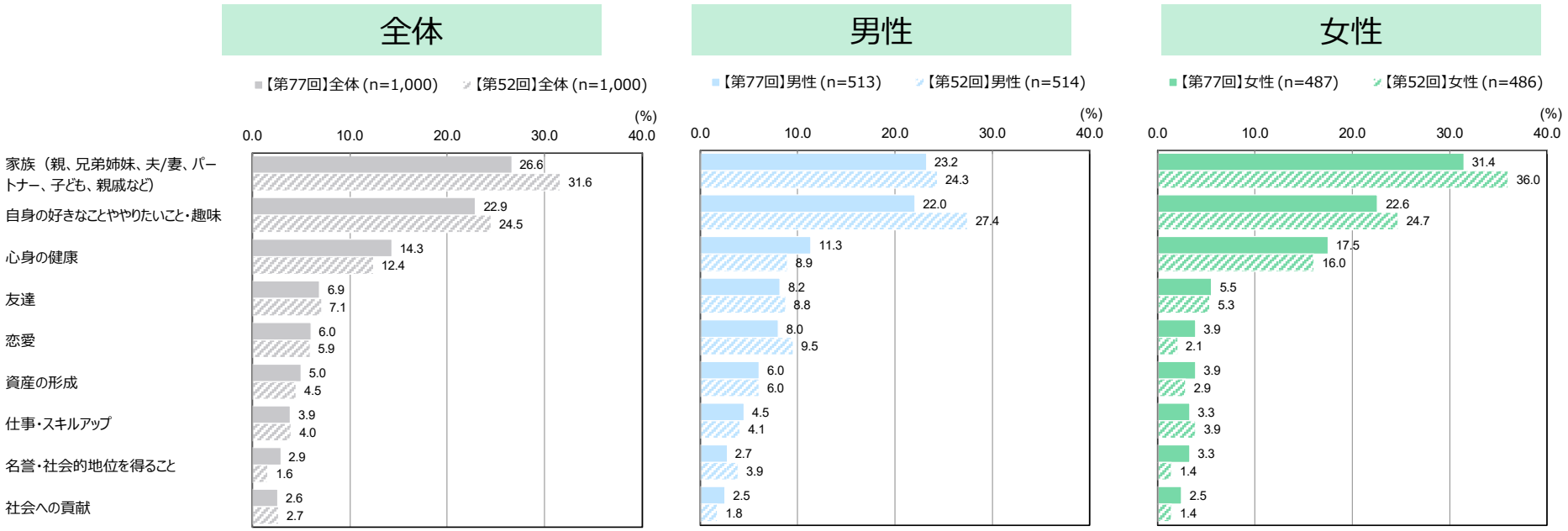
時系列
性別

人生において最も大切にしたいこと

人生において最も大切にしたいこと（1位として選択したもの）は、回答者全体では「家族」が３年前より減少。男性では、3年前のトップだった「家族」が減少し、「自身の好きなことややりたいこと・趣味」がトップとなった。女性では、それぞれ3年前より減少するも、「家族」がトップで、「自身の好きなことややりたいこと・趣味」が続くことは変わらず。

質問7：あなたの人生において、大切にしたいと思っていることは何ですか。上位3つを選んでください。
（選択式（1位、2位、3位をそれぞれ選択））

最も大切にしたいこと（1位として選択したもの）



※　第77回の降順で掲載。

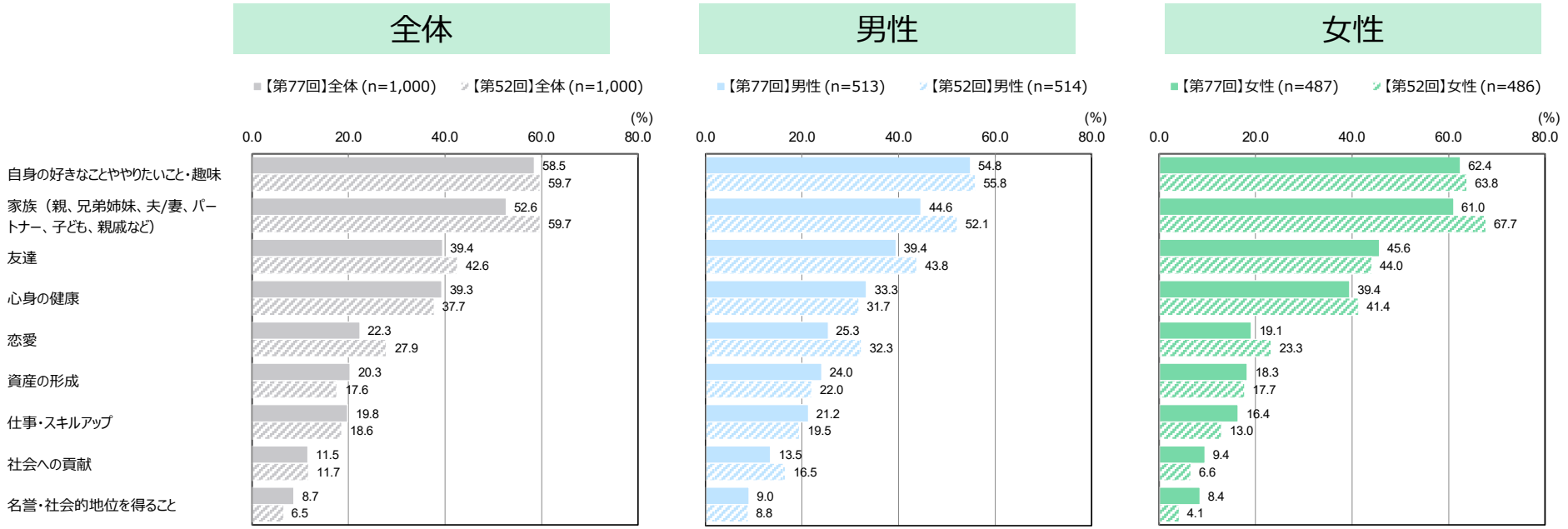
時系列
性別

人生において大切にしたいこと（最大3つまで）

人生において大切にしたいこと（最大3つまで）の合計は、回答者全体では「家族」が減少してトップから転落し、「自身の好きなことややりたいこと・趣味」がトップに変化。また、「友達」「恋愛」が減少する一方、「資産の形成」が増加傾向。

質問7：あなたの人生において、大切にしたいと思っていることは何ですか。上位3つを選んでください。
（選択式（1位、2位、3位をそれぞれ選択））

大切にしたいこと（最大3つまで）



※　第77回の降順で掲載。

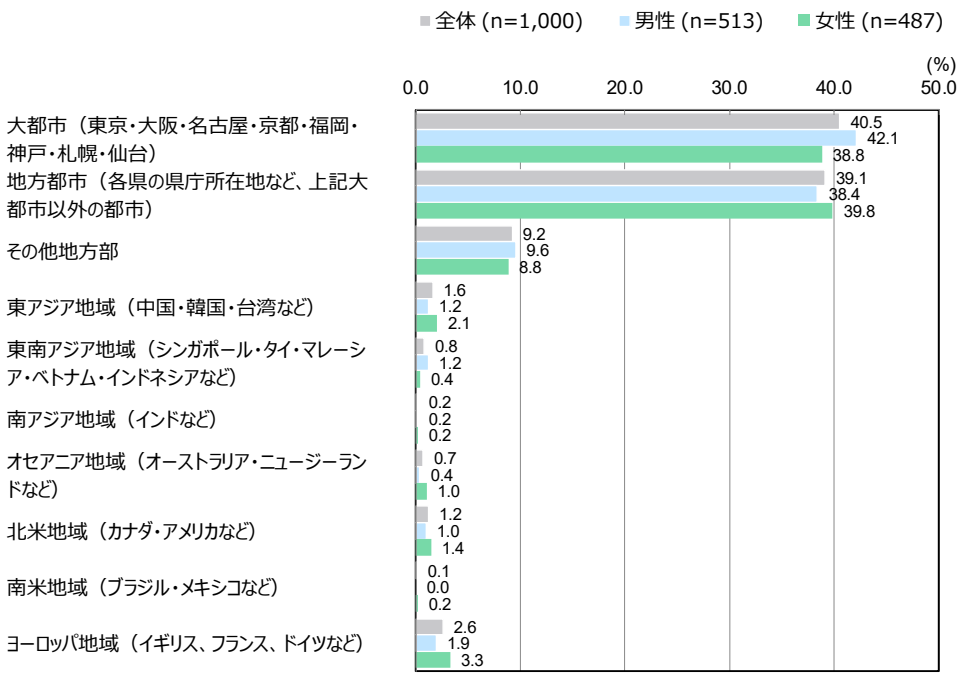
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

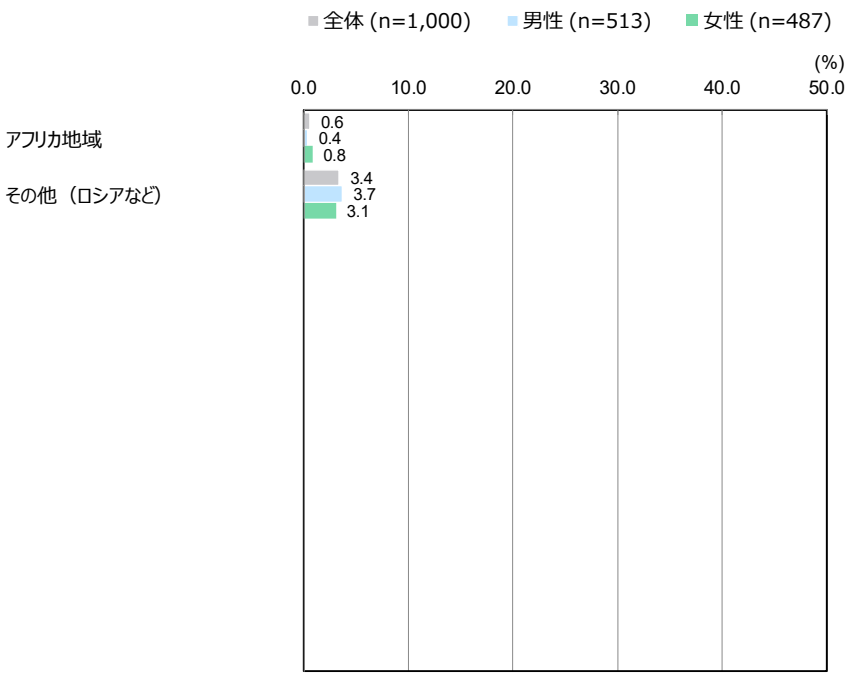
性別

将来暮らしたい場所

男女ともに、それぞれ約40%が国内の大都市、40%弱が国内の地方都市、10%弱が国内の地方部を選択しており、これらを合計すると、男女ともに90%前後が将来日本国内で暮らすことを希望している。

質問8：あなたは、将来、どこで暮らしたいと考えますか。あなたの現在の考えにもっとも近いものを次の中から選んでください。（選択式（単一））





日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

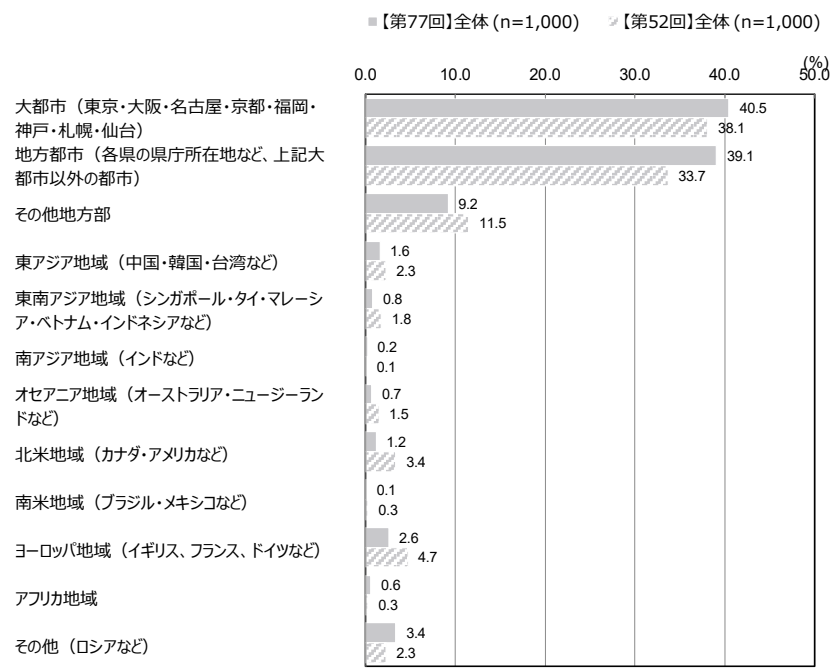
時系列
性別

将来暮らしたい場所

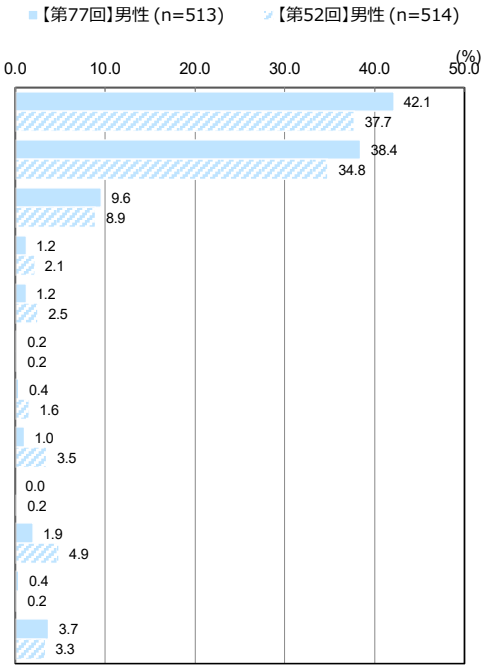
3年前と比較し、男女ともに日本国内を選択した割合が増加。
男性では、国内の大都市、国内の地方都市ともに増加し、女性では、国内の地方都市が増加した一方で、国内のその他地方部は減少。

質問8：あなたは、将来、どこで暮らしたいと考えますか。あなたの現在の考えにもっとも近いものを次の中から選んでください。（選択式（単一））

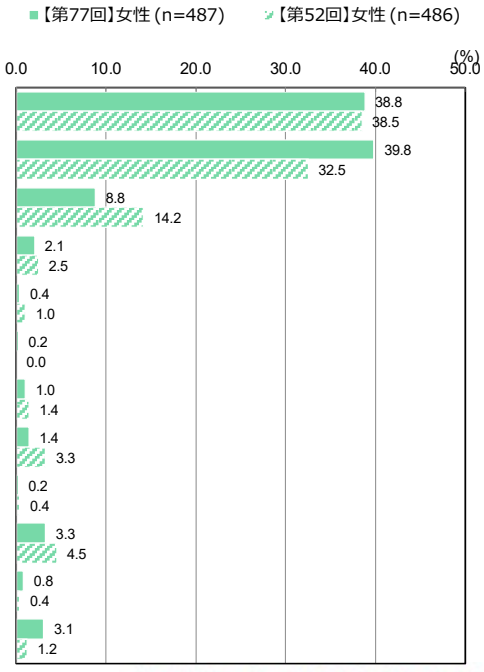
全体



男性



女性



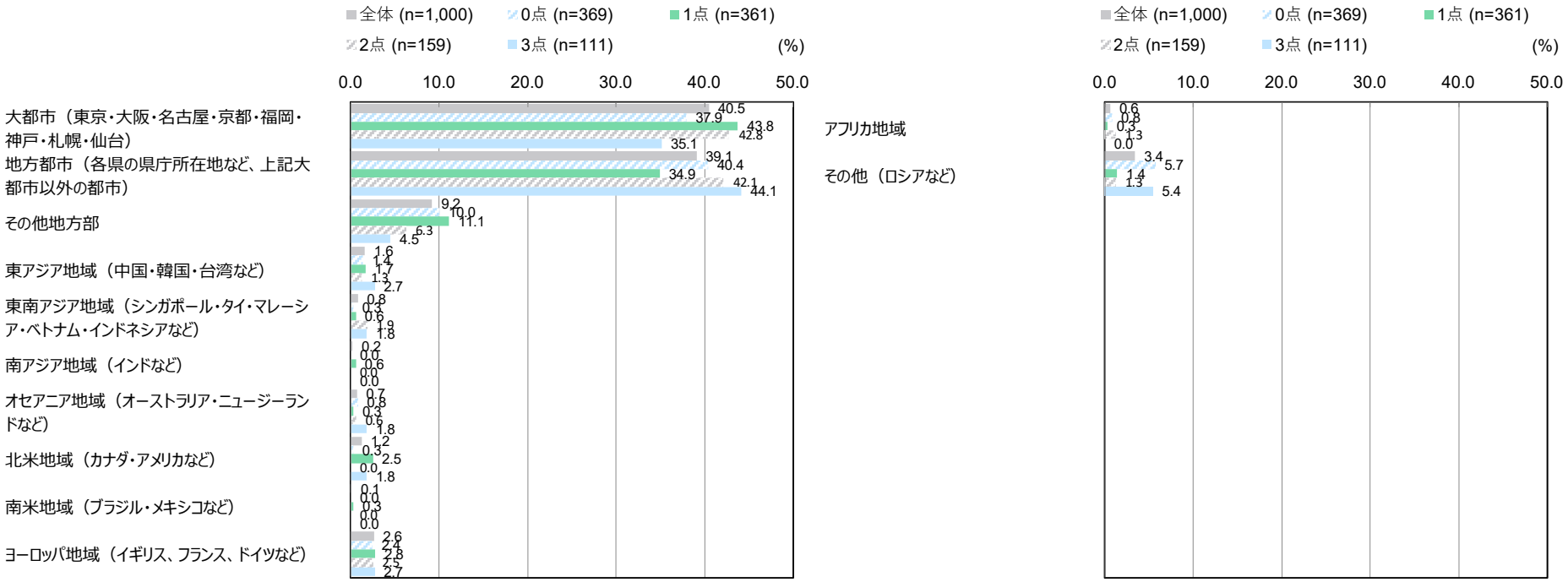
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

簡易SES別

将来暮らしたい場所

簡易版SES代替指標の得点が高い（3点）回答者は、将来海外で暮らしたいと回答した割合が高い。

質問8：あなたは、将来、どこで暮らしたいと考えますか。あなたの現在の考えにもっとも近いものを次の中から選んでください。（選択式（単一））

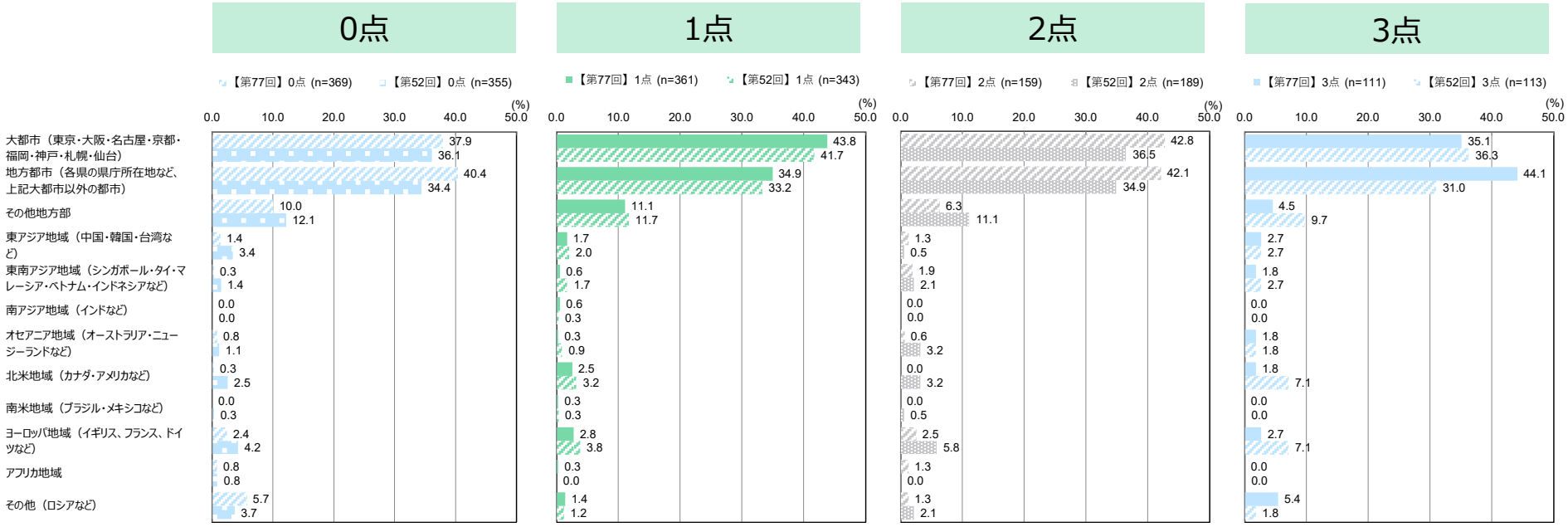


時系列
簡易SES別

将来暮らしたい場所

家庭の社会経済的状況が異なっても、3年前と比較して、日本国内を選択した割合が増加している傾向は変わらない。

質問8：あなたは、将来、どこで暮らしたいと考えますか。あなたの現在の考えにもっとも近いものを次の中から選んでください。（選択式（単一））



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

詳細

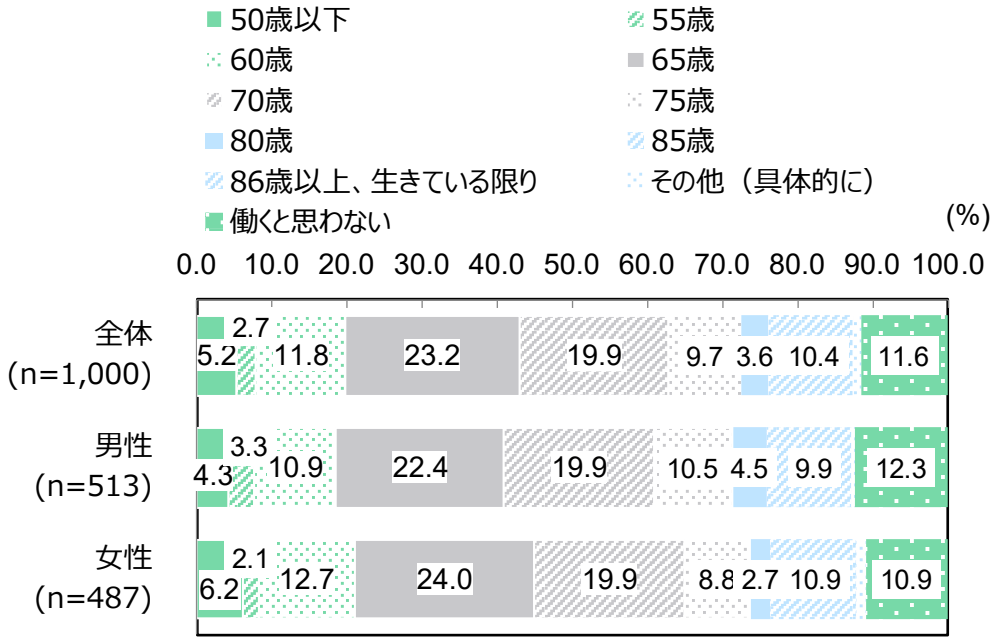
1. 現状に対する認識・将来の暮らし方に対する考え方
2. 働き方・キャリアに対する価値観
3. パートナーシップ・結婚に対する考え方
4. 子どもをもつこと・子育てに対する考え方
5. 若者政策に対する考え方

性別

何歳まで働くか

男女ともに、「65歳」が最も多く、「70歳」「60歳」が続く。60歳から75歳までで50%強を占める。
男女ともに、「働くとは思わない」と回答した人が10%強存在。

質問9：日本では、2013年の「高年齢者雇用安定法」の改正により、企業には希望者全員に65歳までの雇用が義務付けられ、さらに、2021年4月からは、70歳までの就業機会確保が企業の努力義務になるなど、働く年齢が延びる傾向にあります。 あなたは、自分は何歳まで働くと思いますか。
（選択式（単一））

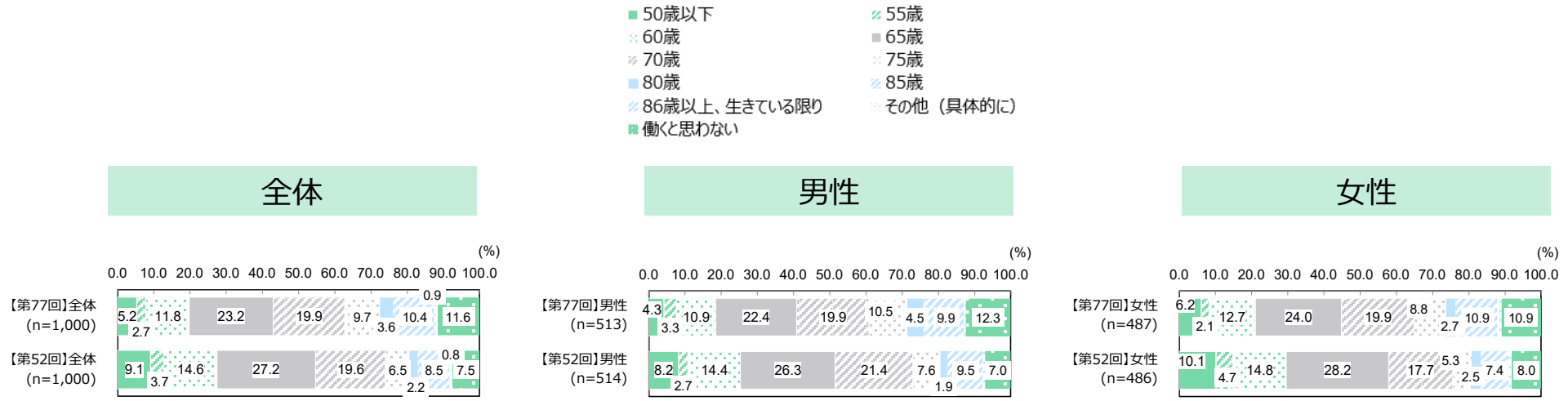


時系列
性別

何歳まで働くか

第52回調査と比較して男女ともに「50歳以下」が減少。75歳またはそれ以上まで働き続けると回答した割合が増加し、高齢になっても働き続ける意識が高まっていることがうかがえる。他方で、特に男性で「働くとは思わない」も増加している。

質問9：日本では、2013年の「高年齢者雇用安定法」の改正により、企業には希望者全員に65歳までの雇用が義務付けられ、さらに、2021年4月からは、70歳までの就業機会確保が企業の努力義務になるなど、働く年齢が延びる傾向にあります。 あなたは、自分は何歳まで働くと思いますか。
（選択式（単一））



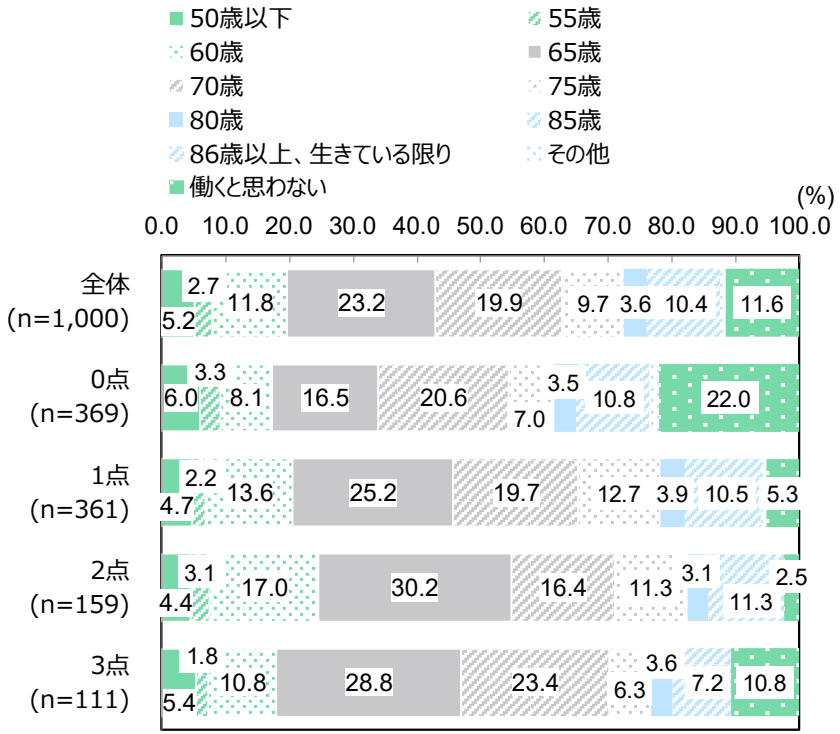
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

簡易SES別

何歳まで働くか

簡易版SES代替指標が低い（0点）回答者では、「働くとは思わない」を選択した人の割合が他のグループと比較して高い。

質問9：日本では、2013年の「高年齢者雇用安定法」の改正により、企業には希望者全員に65歳までの雇用が義務付けられ、さらに、2021年4月からは、70歳までの就業機会確保が企業の努力義務になるなど、働く年齢が延びる傾向にあります。 あなたは、自分は何歳まで働くと思いますか。
（選択式（単一））



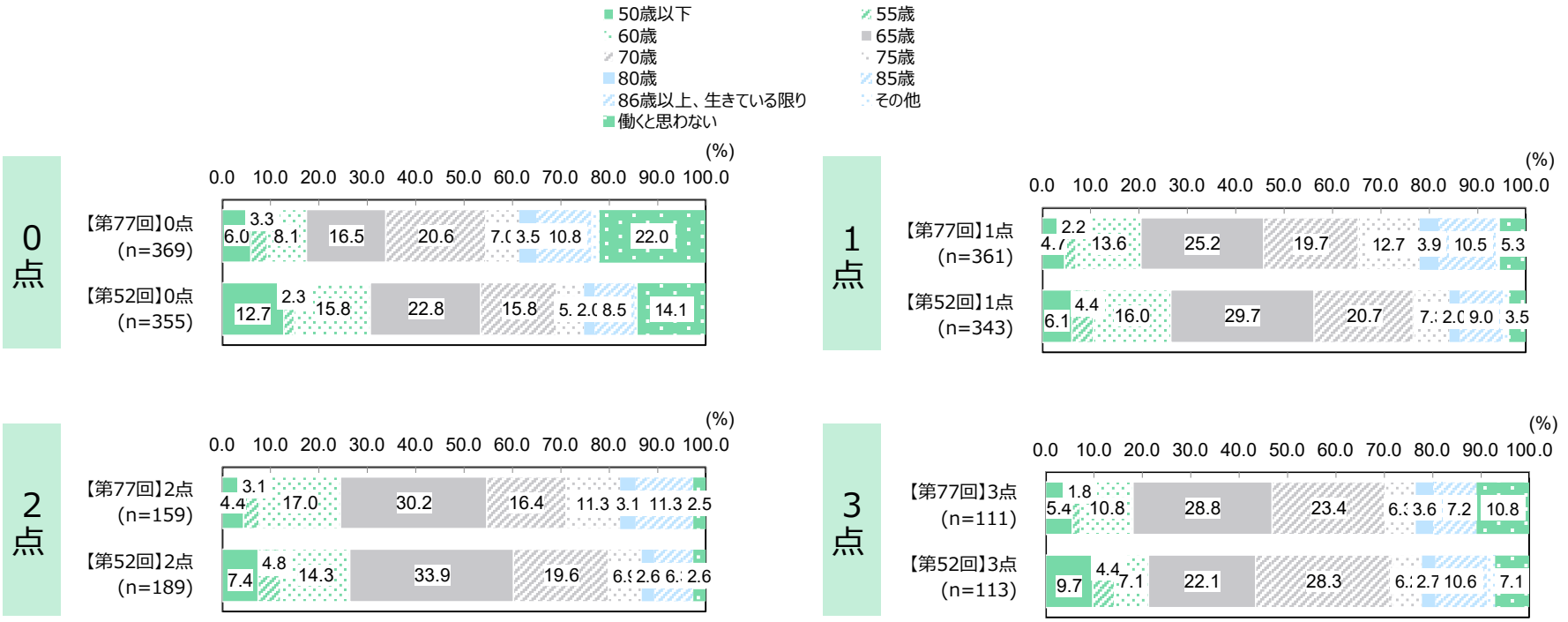
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

時系列
簡易SES別

何歳まで働くか

簡易版SES代替指標の得点が低い（0点）回答者では、「働くとは思わない」を選択した人の割合の増加が大きい。

質問9：日本では、2013年の「高年齢者雇用安定法」の改正により、企業には希望者全員に65歳までの雇用が義務付けられ、さらに、2021年4月からは、70歳までの就業機会確保が企業の努力義務になるなど、働く年齢が延びる傾向にあります。 あなたは、自分は何歳まで働くと思いますか。
（選択式（単一））



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

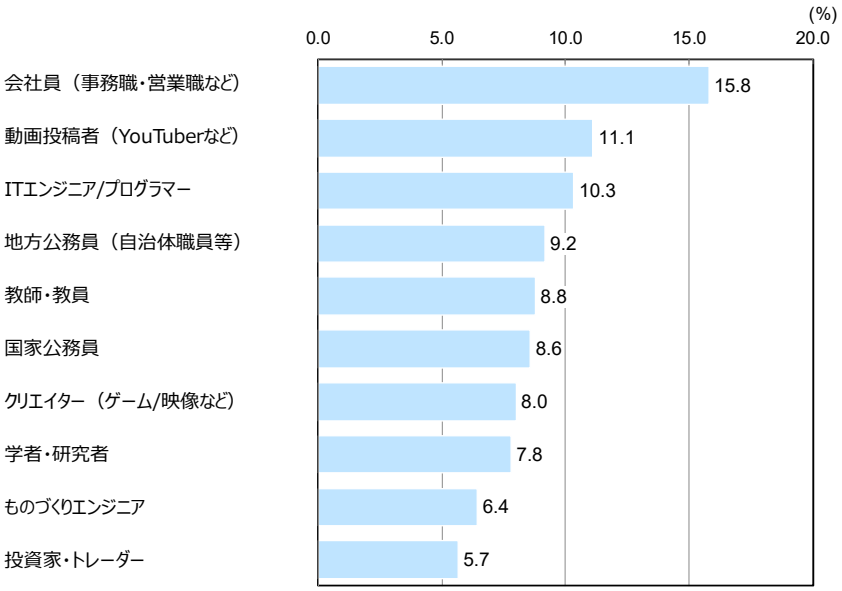
性別

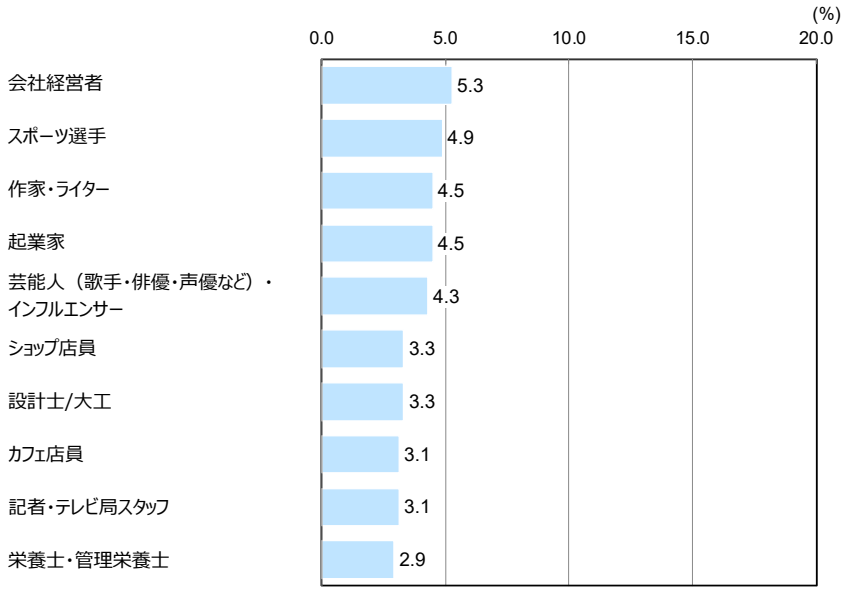
就きたい職業

男性から最も多く選ばれたのは、「会社員（事務職・営業職など）」であり、「動画投稿者（YouTuberなど）」「ITエンジニア/プログラマー」が続く。

質問10：あなたは、以下のうちどの職業に就きたいと思いますか。3つまで選んでください。（選択式（複数））

男性（n=513、上位20位までを抜粋）





日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

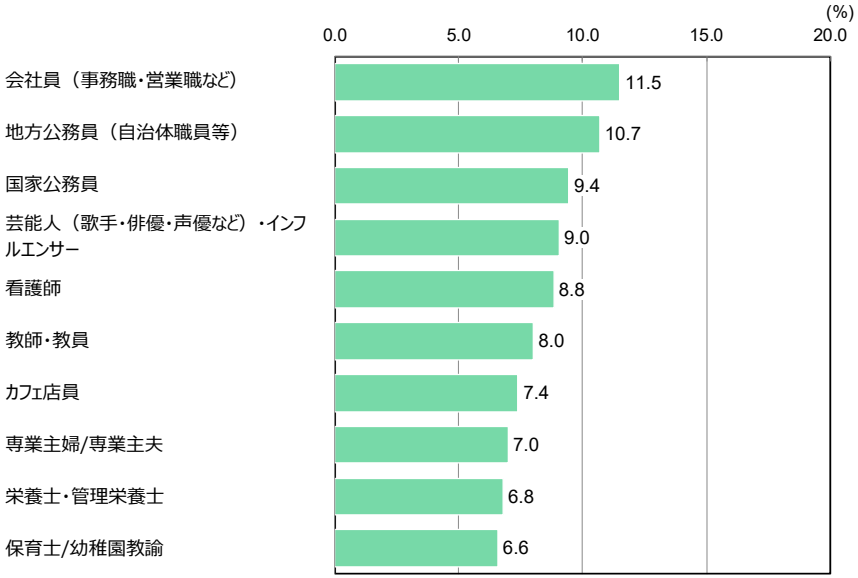
性別

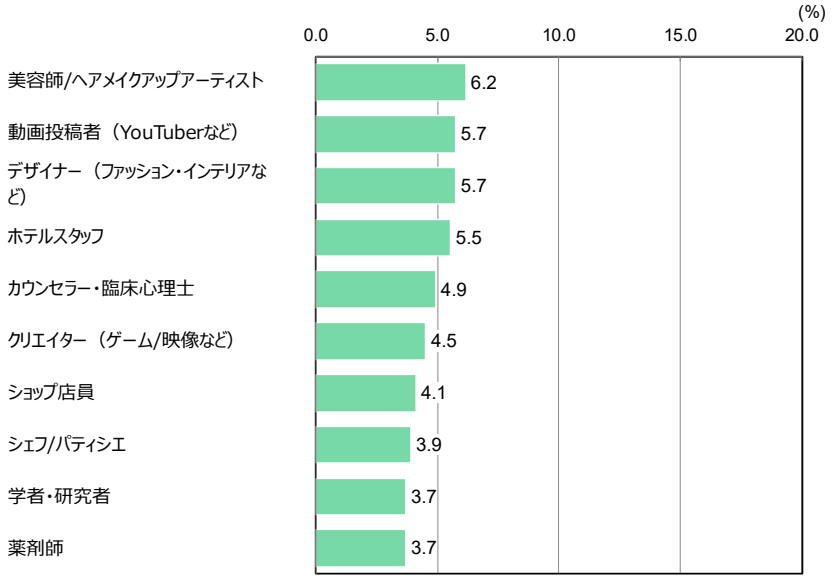
就きたい職業

女性から最も多く選ばれたのは、「会社員（事務職・営業職など）」であり、「地方公務員（自治体職員等）」「国家公務員」が続く。

質問10：あなたは、以下のうちどの職業に就きたいと思いますか。3つまで選んでください。（選択式（複数））

女性（n=483、上位20位までを抜粋）





日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

時系列
性別

就きたい職業

男性では「動画投稿者（YouTuberなど）」「クリエイター（ゲーム/映像など）」「学者・研究者」「投資家・トレーダー」が、女性では「国家公務員」「カフェ店員」「専業主婦」「栄養士・管理栄養士」が3年前よりランクアップ。男女ともに「無職（働きたくない）」は圏外に。

質問10：あなたは、以下のうちどの職業に就きたいと思いますか。3つまで選んでください。（選択式（複数））

男性（上位10位までを抜粋）

順位	第77回（n=513）（%）		第52回（n=514）（%）	
1	会社員（事務職・営業職など）	15.8	会社員（事務職・営業職など）	15.4
2	動画投稿者（YouTuberなど）	11.1	地方公務員（自治体職員等）	15.0
3	ITエンジニア/プログラマー	10.3	ITエンジニア/プログラマー	14.4
4	地方公務員（自治体職員等）	9.2	教師・教員	12.1
5	教師・教員	8.8	国家公務員	10.7
6	国家公務員	8.6	ものづくりエンジニア	8.6
7	クリエイター（ゲーム/映像など）	8.0	無職（働きたくない）	8.4
8	学者・研究者	7.8	動画投稿者（YouTuberなど）	8.4
9	ものづくりエンジニア	6.4	クリエイター（ゲーム/映像など）	6.8
10	投資家・トレーダー	5.7	スポーツ選手	6.6

女性（上位10位までを抜粋）

順位	第77回（n=487）（%）		第52回（n=486）（%）	
1	会社員（事務職・営業職など）	11.5	会社員（事務職・営業職など）	14.4
2	地方公務員（自治体職員等）	10.7	地方公務員（自治体職員等）	10.7
3	国家公務員	9.4	看護師	9.9
4	芸能人（歌手・俳優・声優など）・インフルエンサー	9.0	芸能人（歌手・俳優・声優など）・インフルエンサー	9.1
5	看護師	8.8	教師・教員	8.2
6	教師・教員	8.0	国家公務員	7.4
7	カフェ店員	7.4	カウンセラー・臨床心理士	6.8
8	専業主婦/専業主夫	7.0	無職（働きたくない）	6.4
9	栄養士・管理栄養士	6.8	デザイナー（ファッション・インテリアなど）	6.4
10	保育士/幼稚園教諭	6.6	保育士/幼稚園教諭	6.0

財団 FOUNDATION

参考：就きたい職業の選択肢

質問5：あなたは、以下のうちどの職業に就きたいと思いますか。3つまで選んでください。（選択式（複数））

政治家
国家公務員
地方公務員（自治体職員等）

弁護士
医師
歯科医師
薬剤師
看護師
介護職員

学者・研究者
教師・教員
保育士/幼稚園教諭
栄養士・管理栄養士
カウンセラー・臨床心理士

投資家・トレーダー
会社経営者
起業家

会社員（事務職・営業職など）
設計士/大工
ものづくりエンジニア
ITエンジニア/プログラマー
デザイナー（ファッション・インテリアなど）
コンサルタント

シェフ/パティシエ
美容師/ヘアメイクアップアーティスト
トリマー/ペットショップ店員
ショップ店員
カフェ店員
ホテルスタッフ

作家・ライター
クリエイター（ゲーム/映像など）
動画投稿者（YouTuberなど）
芸能人（歌手・俳優・声優など）・インフルエンサー
記者・テレビ局スタッフ
漫画家・イラストレーター・アニメーター
スポーツ選手
eスポーツプレイヤー

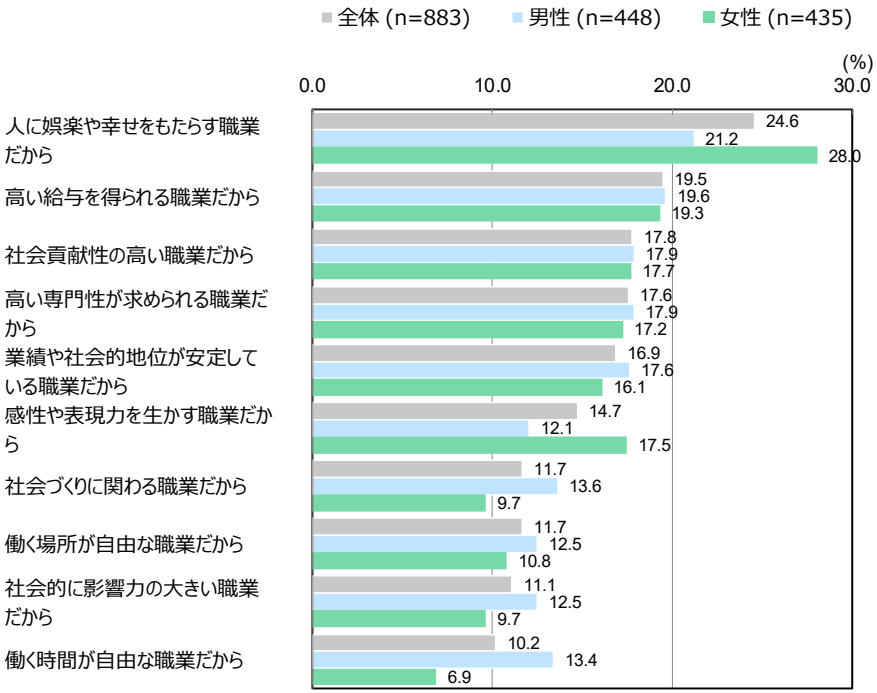
NPO職員、ソーシャルワーカー
専業主婦/専業主夫
その他（自由記述）
無職（働きたくない）

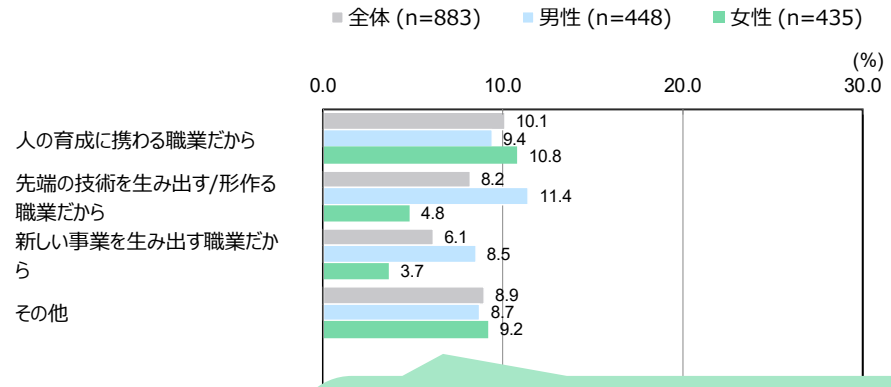
性別

就きたい職業を選んだ理由

男女ともに「人に娯楽や幸せをもたらす職業だから」が1位で、「高い給与を得られる職業だから」「社会貢献性の高い職業だから」が続く。

質問11：あなたはなぜ、質問5の職業を選びましたか。理由としてあてはまるものを3つまで選んでください。
（質問10で「無職（働きたくない）」、または「専業主婦/専業主夫」のみを選んだ人、以外に表示）（選択式（複数））





- まだ決まっていないから（複数）
- 自分の好きなこと・興味のあることだから（複数）
- 資格を活かせるから・取得予定だから（複数）
- かっこいいから・憧れているから（複数）
- 楽しそうだから（複数）
- 安定した収入かつなくなりそうにないから
- 自分の心の安定
- ルーチンワークで済みそうだから
- カヌーのコーチに勧められたから
- 人と関わる仕事だから
- 人を救う
- 国に貢献できるから

※「全体」の降順で掲載。「その他」は抜粋。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

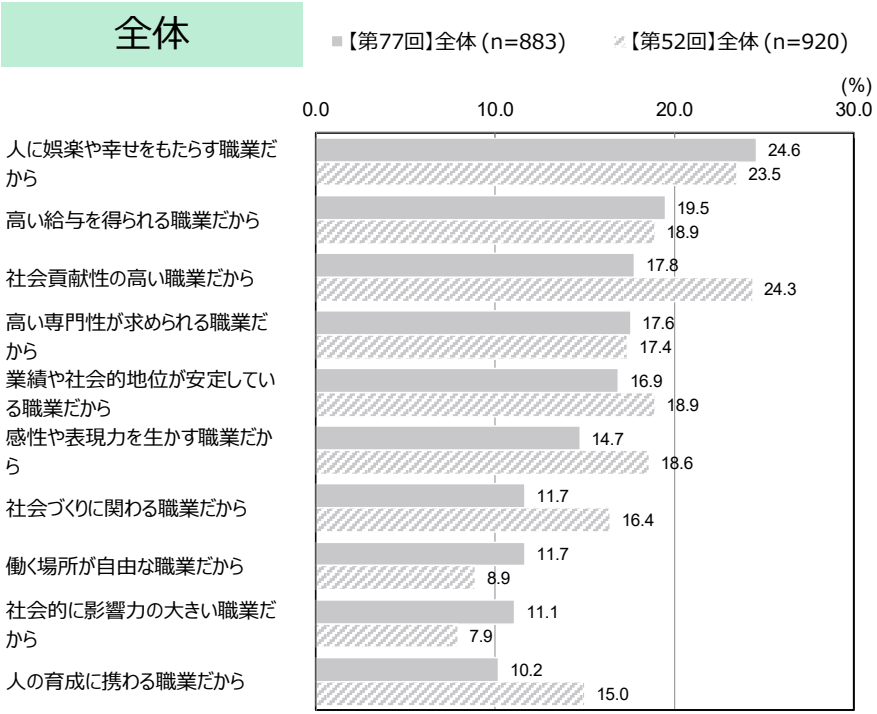
時系列
全体

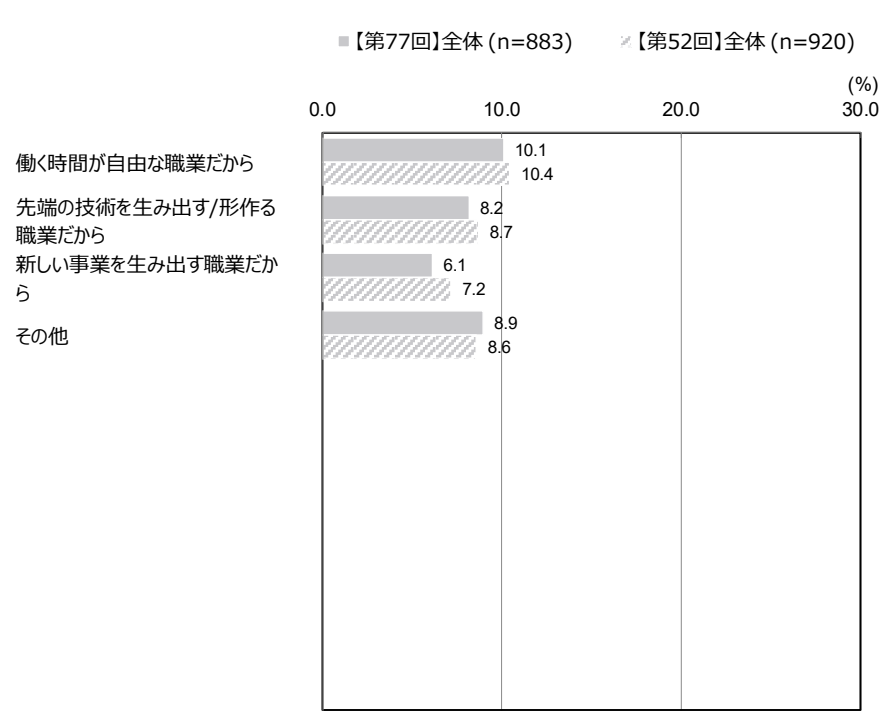
就きたい職業を選んだ理由

全体では、3年前の1位だった「社会貢献性の高い職業だから」が減少し、3位に変化。

質問11：あなたはなぜ、質問5の職業を選びましたか。理由としてあてはまるものを3つまで選んでください。
（質問10で「無職（働きたくない）」、または「専業主婦/専業主夫」のみを選んだ人、以外に表示）（選択式（複数））

全体





※第77回の降順で掲載。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

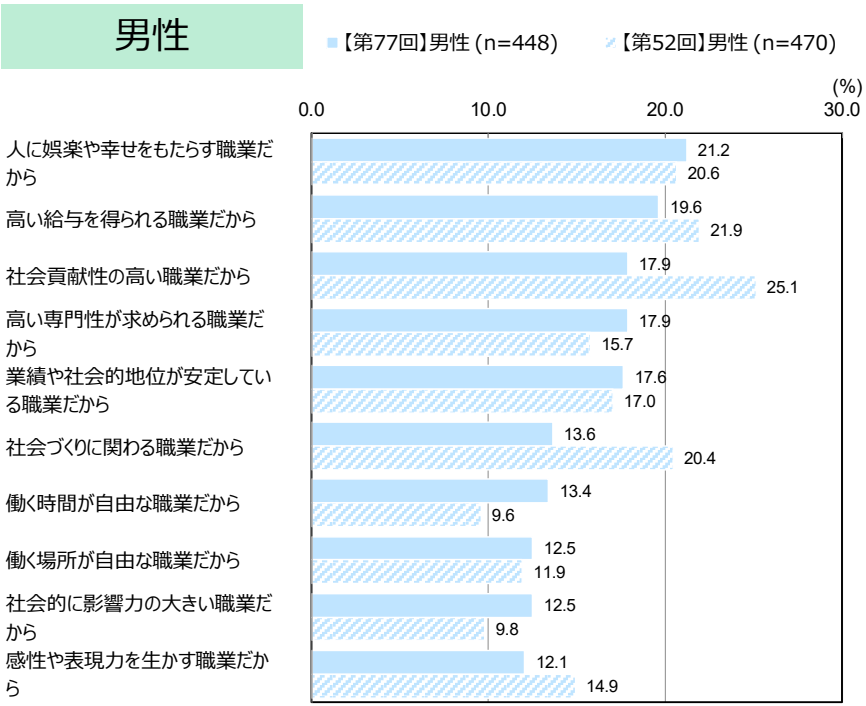
時系列
性別

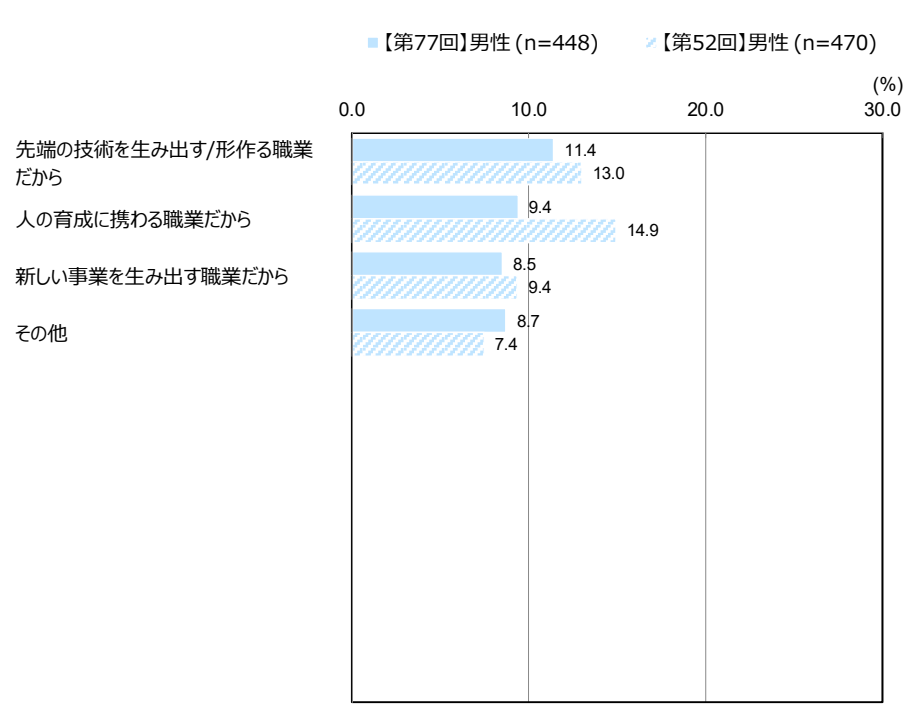
就きたい職業を選んだ理由

男性では、前回1位だった「社会貢献性の高い職業だから」が減少し、3位に変化。
「高い給与を得られる職業だから」は3位から2位に上昇したが、選択した人の割合は減少傾向。

質問11：あなたはなぜ、質問5の職業を選びましたか。理由としてあてはまるものを3つまで選んでください。
（質問10で「無職（働きたくない）」、または「専業主婦/専業主夫」のみを選んだ人、以外に表示）（選択式（複数））

男性





※第77回の降順で掲載。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

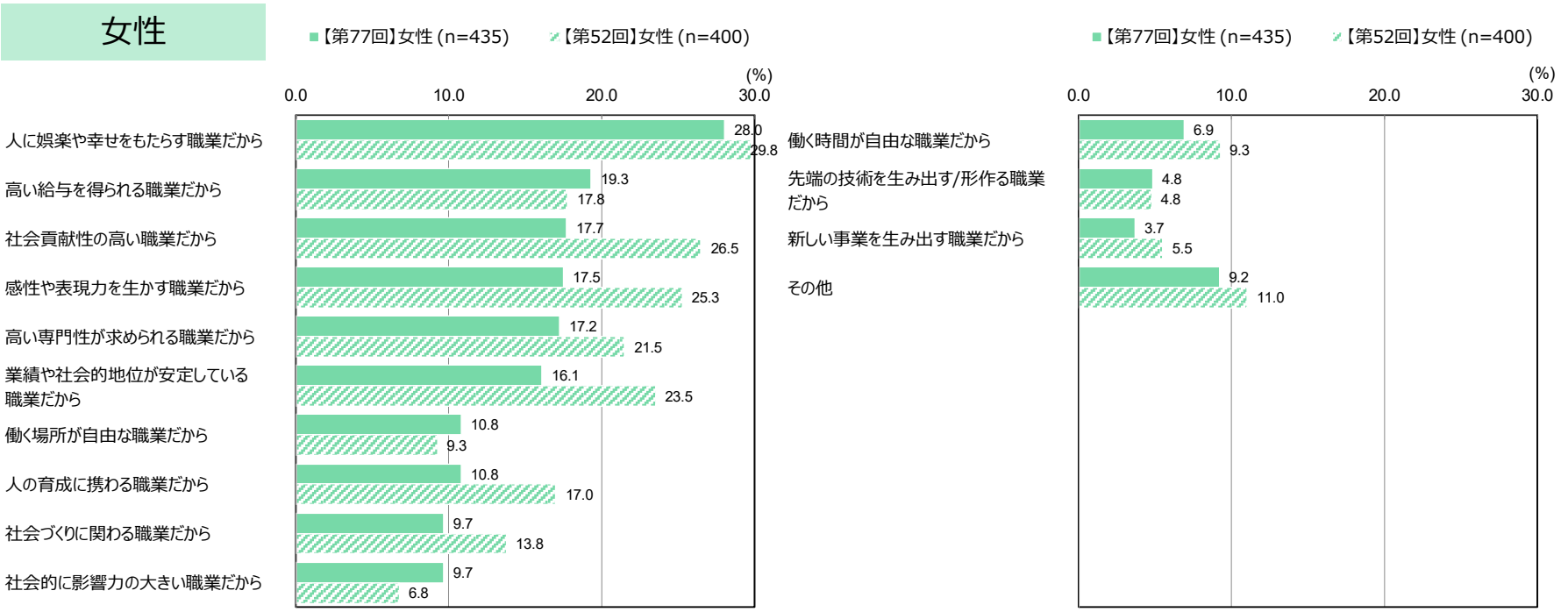
時系列
性別

就きたい職業を選んだ理由

女性では、1位の「人に娯楽や幸せをもたらす職業だから」は3年前と同様だが、「高い給与を得られる職業だから」が6位から2位に上昇。
前回2位だった「社会貢献性の高い職業だから」、同3位だった「感性や表現力を生かす職業だから」が減少し、それぞれ3位、4位に変化。

質問11：あなたはなぜ、質問5の職業を選びましたか。理由としてあてはまるものを3つまで選んでください。
（質問10で「無職（働きたくない）」、または「専業主婦/専業主夫」のみを選んだ人、以外に表示）（選択式（複数））

女性



※第77回の降順で掲載。

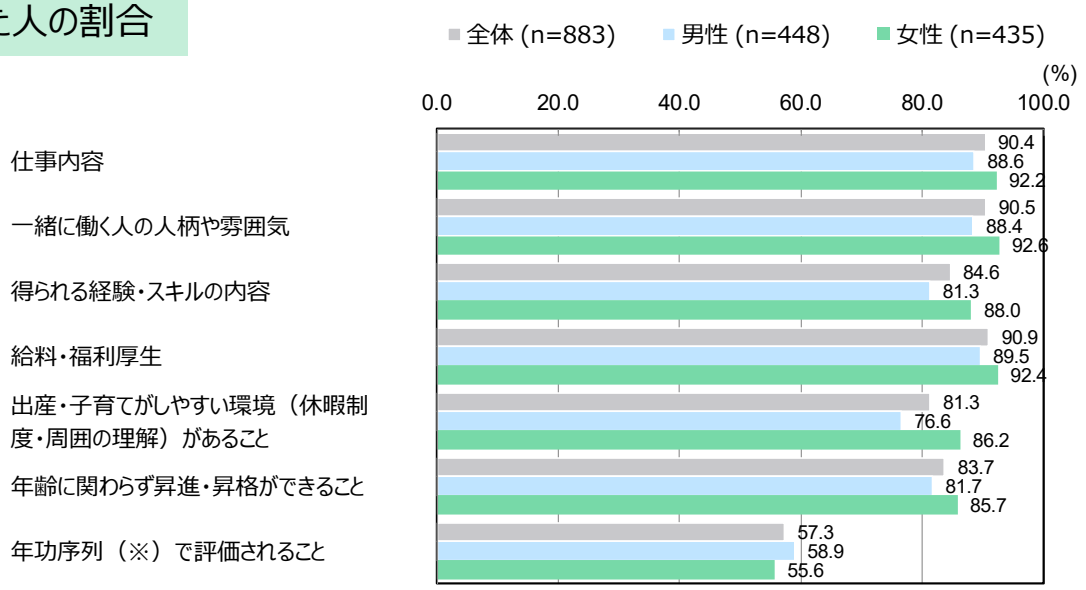
働く環境における重視項目

男女ともに、「仕事内容」から「年齢に関わらず昇進・昇格ができること」までの各項目は、80%から90%前後が「重要である」（※）と回答。
「年功序列で評価されること」は「重要である」と回答した割合が男女とも他の項目より低い。

※「重要である」と「どちらかと言えば重要である」の合計。

質問12：あなたにとって、以下に示す項目は、働く環境を選ぶ際にどの程度の重要性を持ちますか。それぞれの項目について一つずつ、あてはまるものを選んでください。
（質問10で「無職（働きたくない）」、または「専業主婦/専業主夫」のみを選んだ人、以外に表示）（選択式（単一））

重要であると回答した人の割合



※年齢や勤続年数に応じて、役職・賃金を上昇させる人事制度のこと。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

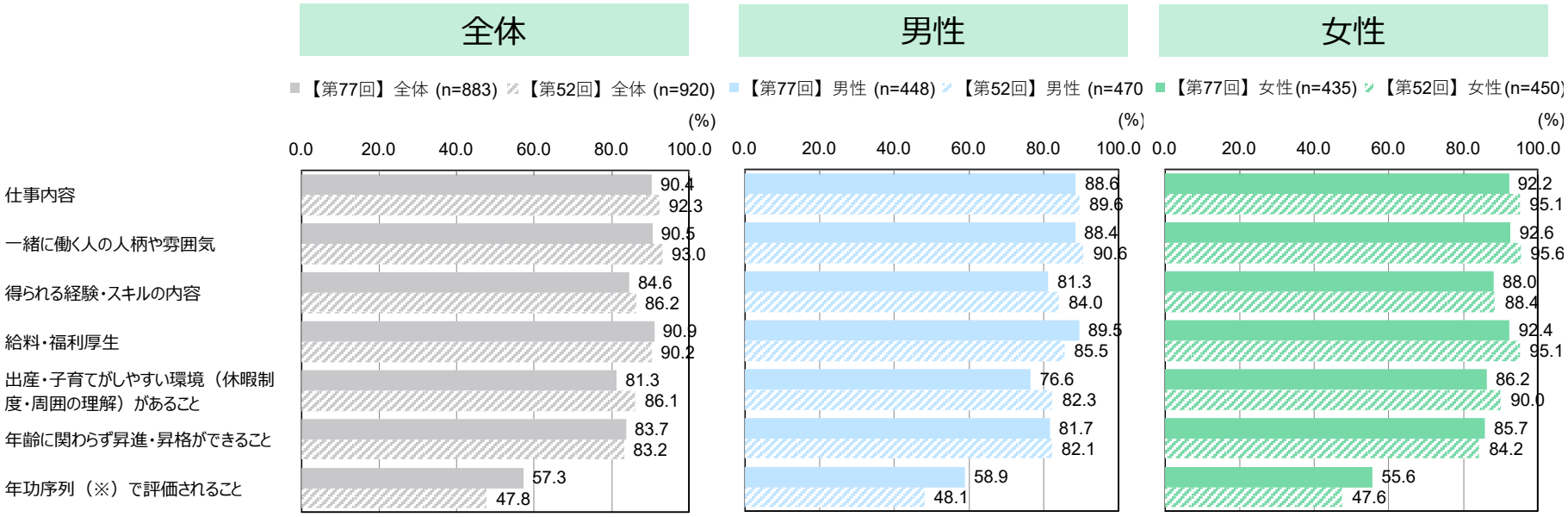
時系列
性別

働く環境における重視項目

男女ともに、「仕事内容」から「年齢に関わらず昇進・昇格ができること」までの各項目は、前回同様に高い支持を得ている。「年功序列で評価されること」は、男女ともに前回から「重要である」（※）と回答した割合が増加。

※「重要である」と「どちらかと言えば重要である」の合計。

質問12：あなたにとって、以下に示す項目は、働く環境を選ぶ際にどの程度の重要性を持ちますか。それぞれの項目について一つずつ、あてはまるものを選んでください。
（質問10で「無職（働きたくない）」、または「専業主婦/専業主夫」のみを選んだ人、以外に表示）（選択式（単一））



※年齢や勤続年数に応じて、役職・賃金を上昇させる人事制度のこと。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

簡易SES別

働く環境における重視項目

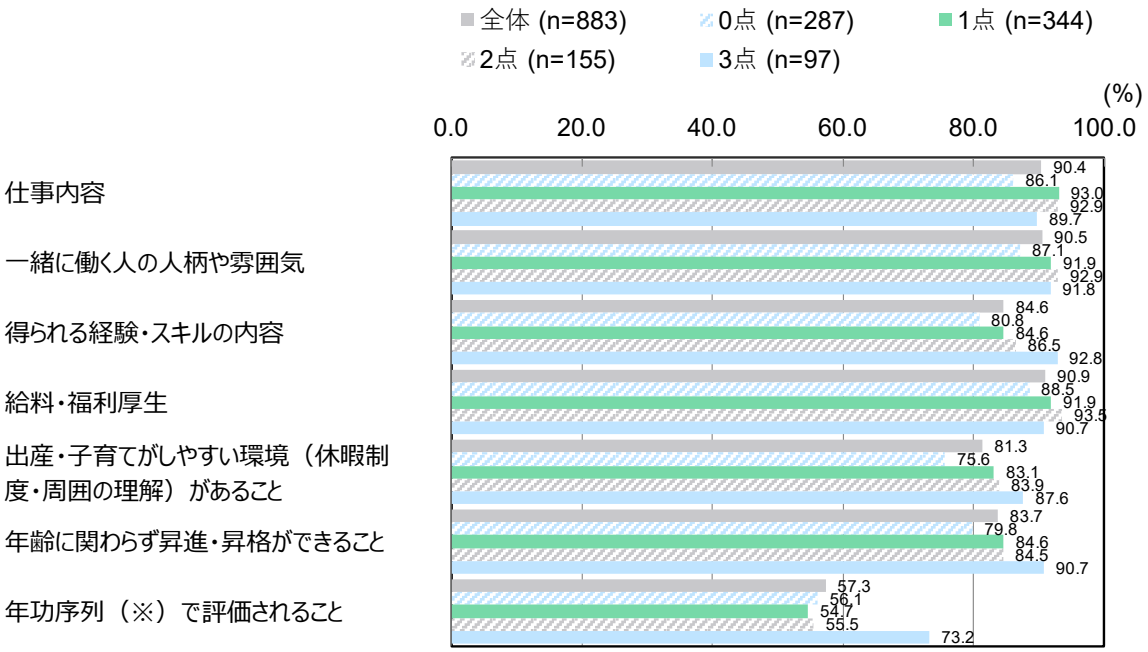
簡易版SES代替指標の得点が高い（3点）回答者は、「年功序列で評価されること」が「重要である」（※）と回答した割合が他のグループと比較して高い。

※「重要である」と「どちらかと言えば重要である」の合計。

質問12：あなたにとって、以下に示す項目は、働く環境を選ぶ際にどの程度の重要性を持ちますか。それぞれの項目について一つずつ、あてはまるものを選んでください。

（質問10で「無職（働きたくない）」、または「専業主婦/専業主夫」のみを選んだ人、以外に表示）（選択式（単一））

重要であると回答した人の割合



※年齢や勤続年数に応じて、役職・賃金を上昇させる人事制度のこと。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

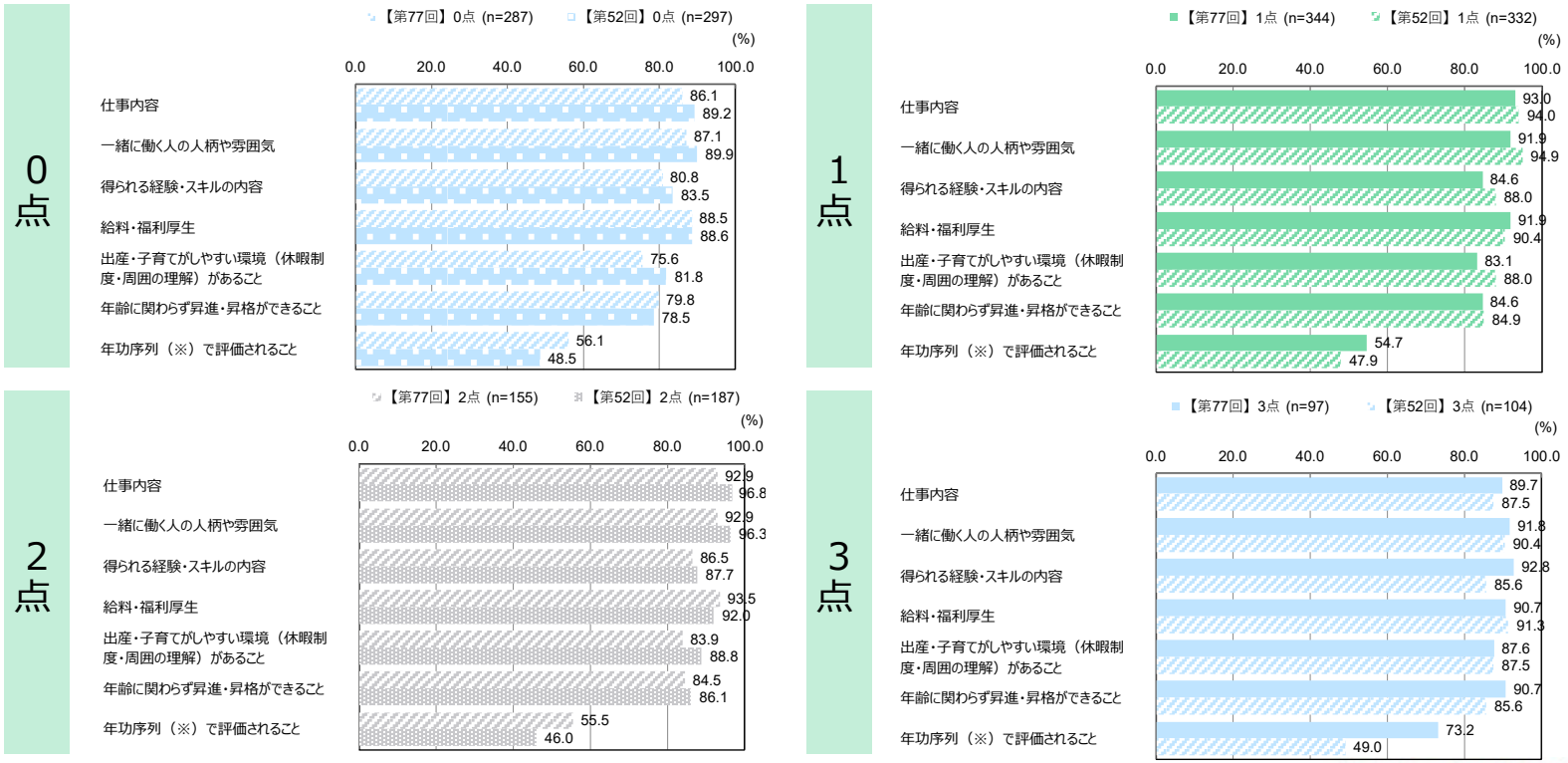
時系列
簡易SES別

働く環境における重視項目

簡易版SES代替指標の得点が高い（3点）回答者は、「年功序列で評価されること」が「重要である」（※）と回答した割合の増加が大きい。

※「重要である」と「どちらかと言えば重要である」の合計。

質問12：あなたにとって、以下に示す項目は、働く環境を選ぶ際にどの程度の重要性を持ちますか。それぞれの項目について一つずつ、あてはまるものを選んでください。
（質問10で「無職（働きたくない）」、または「専業主婦/専業主夫」のみを選んだ人、以外に表示）（選択式（単一））



※年齢や勤続年数に応じて、役職・賃金を上昇させる人事制度のこと。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

性別

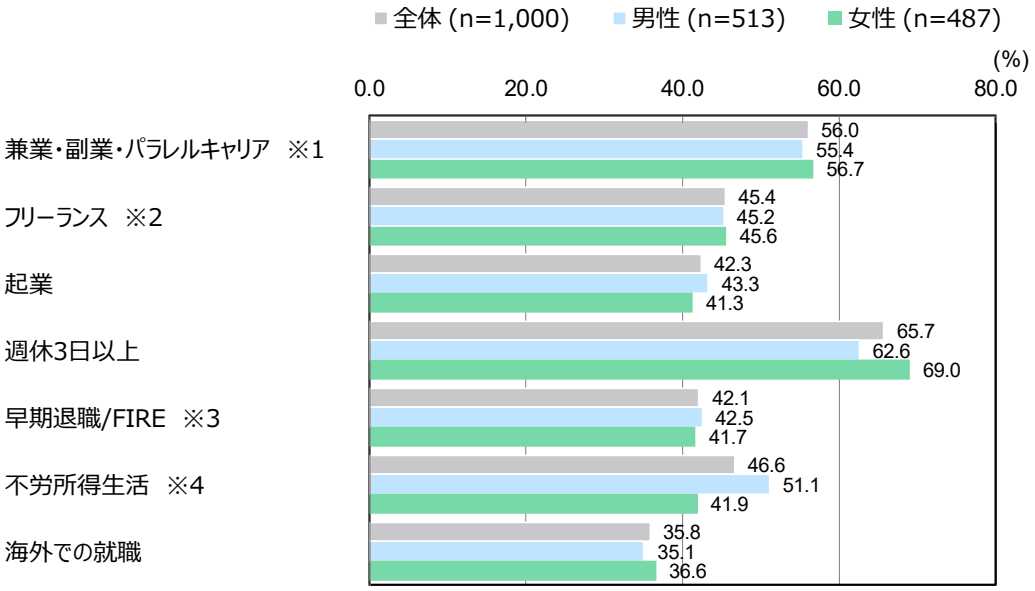
新しい働き方への考え

男女ともに、「関心がある」（※）と回答した割合が最も高いのは「週休3日以上」で、「兼業・副業・パラレルキャリア」が続く。男性では「不労所得生活」、女性では「フリーランス」が3位。

※「関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」の合計。

質問13：あなたは、以下に示すキャリアや働き方に、どの程度関心がありますか。（選択式（単一））

関心があると回答した人の割合



※1 兼業・副業とは、収入を増やすために、2つ以上の仕事を行うこと。パラレルキャリアとは、異なる経験を得るために2つ以上の仕事を行うこと。
※2 フリーランスとは、組織に所属せず、個人で仕事を得て生計を立てること。
※3 不労所得とは、投資からの収益などのように、一般的な労働を伴わずに、構築した仕組みや資産から生み出される収入のこと。不労所得生活とはこうして得たお金を使って生活することを指す。
※4 FIREとは、"Financial Independence, Retire Early"の頭文字を取ったもので、「経済的自立」と「早期リタイア」を意味する。

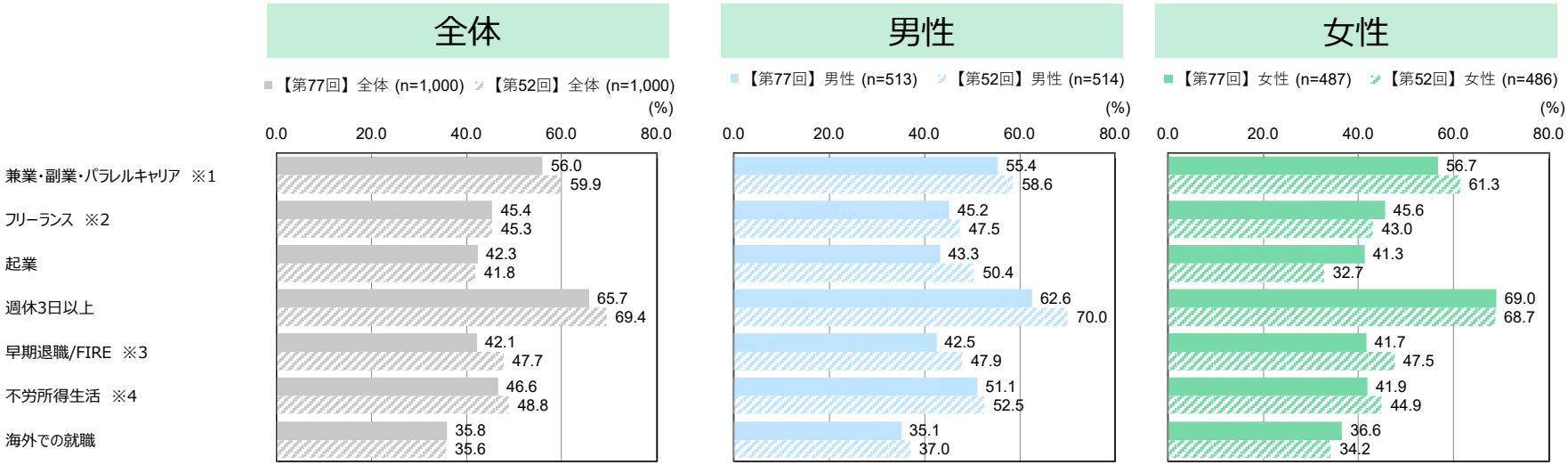
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

時系列
性別

新しい働き方への考え

全体では、「副業・兼業・パラレルキャリア」「週休3日以上」「早期退職/FIRE」への関心が低下する傾向が見られた。
前回男女差が大きかった「起業」は、男性が減少・女性が増加し、差が小さくなった。

質問13：あなたは、以下に示すキャリアや働き方に、どの程度関心がありますか。（選択式（単一））



※1 兼業・副業とは、収入を増やすために、2つ以上の仕事を行うこと。パラレルキャリアとは、異なる経験を得るために2つ以上の仕事を行うこと。
※2 フリーランスとは、組織に所属せず、個人で仕事を得て生計を立てること。
※3 不労所得とは、投資からの収益などのように、一般的な労働を伴わずに、構築した仕組みや資産から生み出される収入のこと。不労所得生活とはこうして得たお金を使って生活することを指す。
※4 FIREとは、”Financial Independence, Retire Early”の頭文字を取ったもので、「経済的自立」と「早期リタイア」を意味する。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

簡易SES別

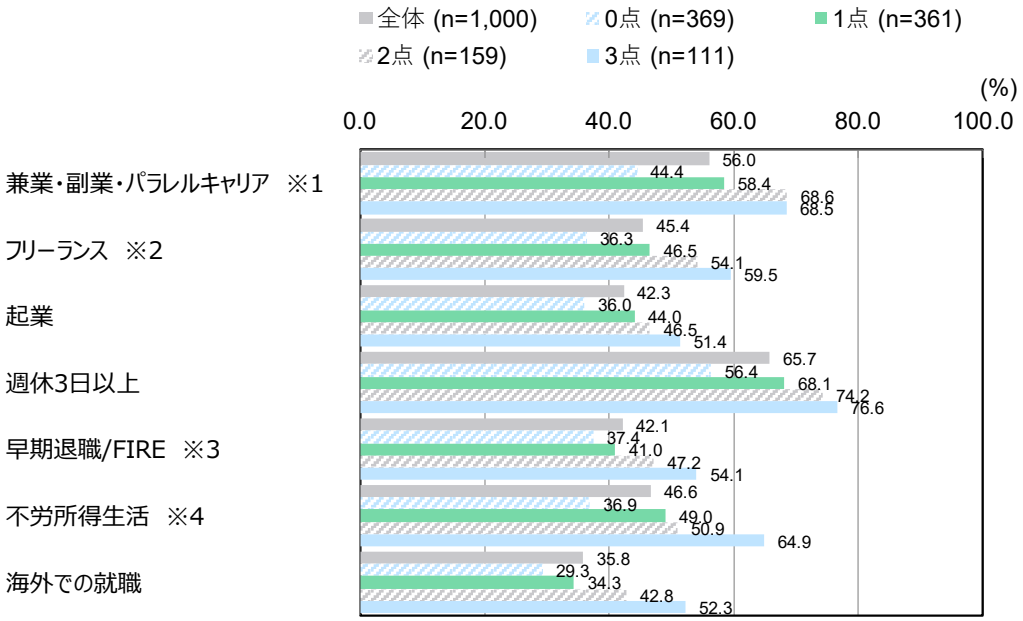
新しい働き方への考え

いずれの項目についても、簡易版SES代替指標の得点が高いほど「関心がある」（※）と回答した割合が高い。

※「関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」の合計。

質問13：あなたは、以下に示すキャリアや働き方に、どの程度関心がありますか。（選択式（単一））

関心があると回答した人の割合



※1 兼業・副業とは、収入を増やすために、2つ以上の仕事を行うこと。パラレルキャリアとは、異なる経験を得るために2つ以上の仕事を行うこと。

※2 フリーランスとは、組織に所属せず、個人で仕事を得て生計を立てること。

※3 不労所得とは、投資からの収益などのように、一般的な労働を伴わずに、構築した仕組みや資産から生み出される収入のこと。不労所得生活とはこうして得たお金を使って生活することを指す。

※4 FIREとは、"Financial Independence, Retire Early"の頭文字を取ったもので、「経済的自立」と「早期リタイア」を意味する。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

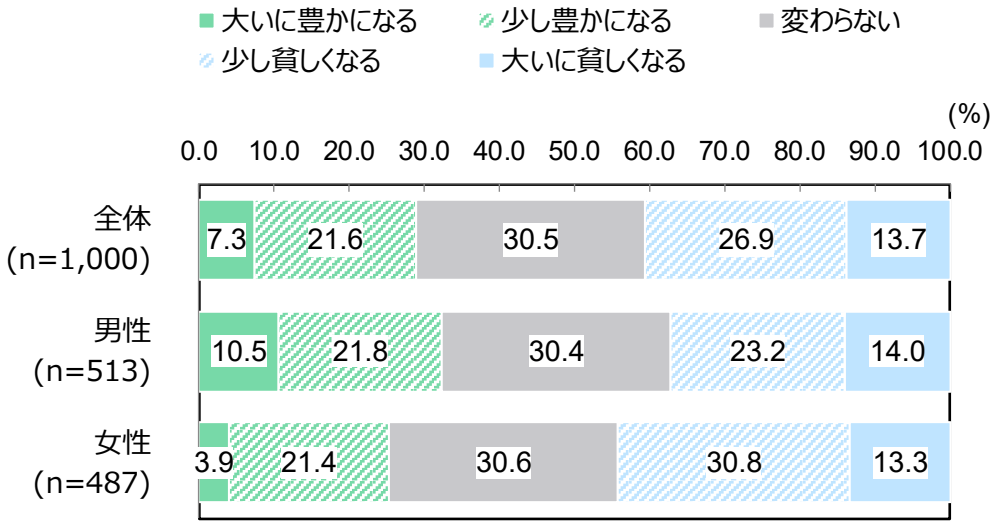
性別

自世代と親世代の将来との比較

女性よりも男性のほうが、両親世代よりも「豊かになる」（※）と回答した割合が高い。

※「大いに豊かになる」と「少し豊かになる」の合計。

質問14：現在18歳前後であるあなたの世代は、あなたの両親の世代と比べ、将来、経済的にどのようになると思いますか。（選択式（単一））



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

時系列
性別

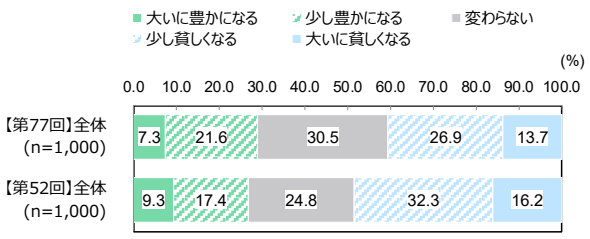
自世代と親世代の将来との比較

男女ともに、両親世代と「変わらない」が増加し、「貧しくなる」（※）と回答した割合が減少。

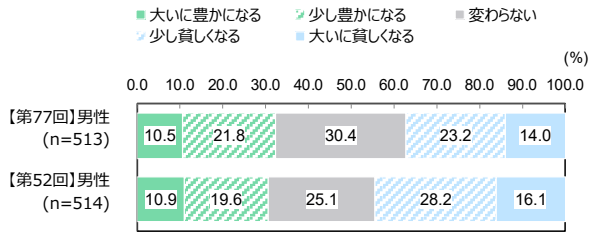
※「大いに貧しくなる」「少し貧しくなる」の合計。

質問14：現在18歳前後であるあなたの世代は、あなたの両親の世代と比べ、将来、経済的にどのようになると思いますか。（選択式（単一））

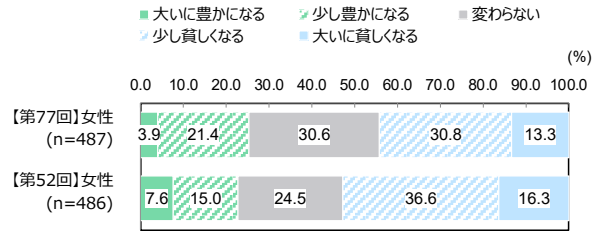
全体



男性



女性



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

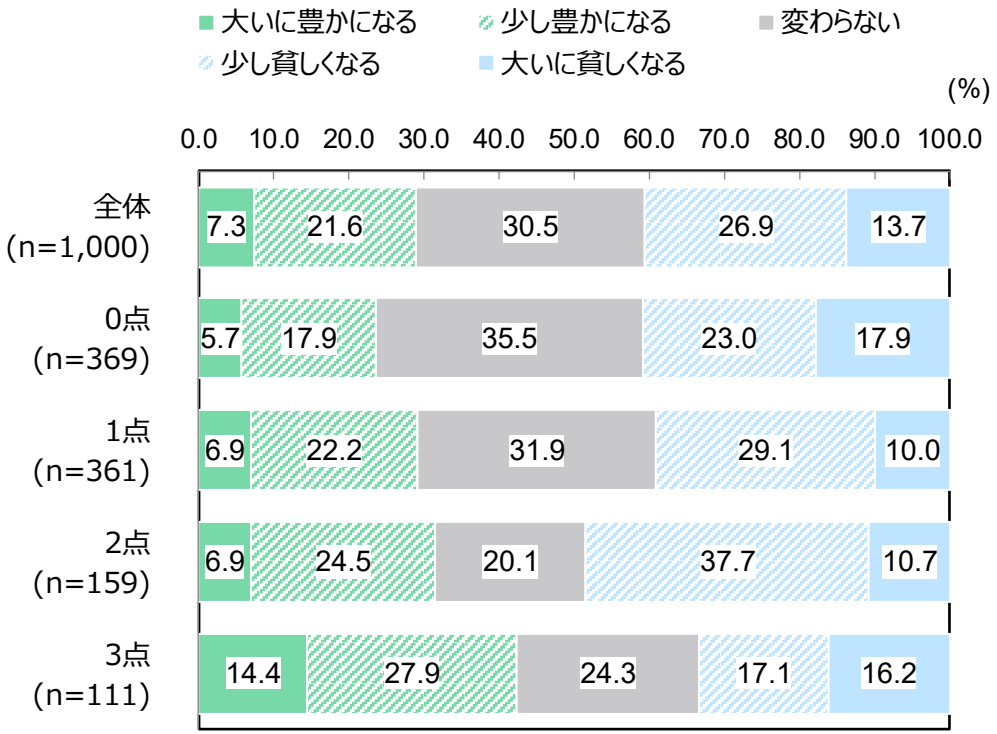
簡易SES別

自世代と親世代の将来との比較

簡易版SES代替指標の得点が高いほど、両親世代よりも「豊かになる」（※）と回答した割合が高い。

※「大いに豊かになる」と「少し豊かになる」の合計。

質問14：現在18歳前後であるあなたの世代は、あなたの両親の世代と比べ、将来、経済的にどのようになると思いますか。（選択式（単一））



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

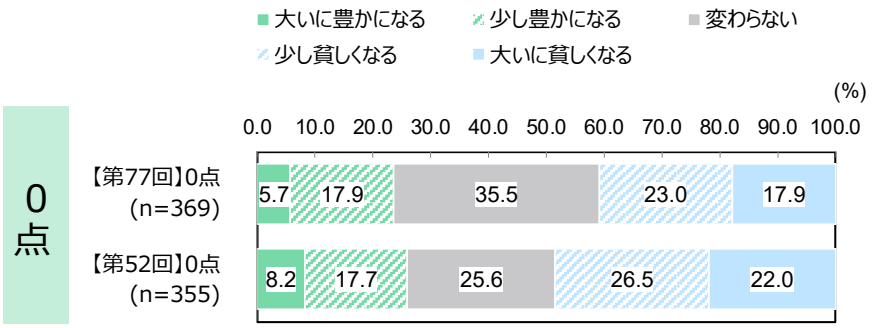
時系列
簡易SES別

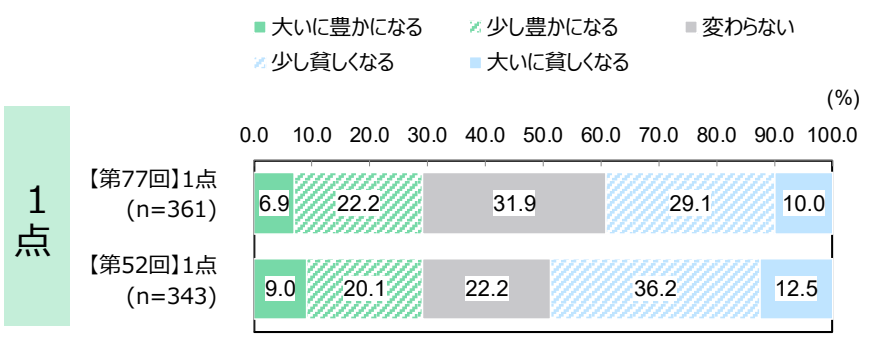
自世代と親世代の将来との比較

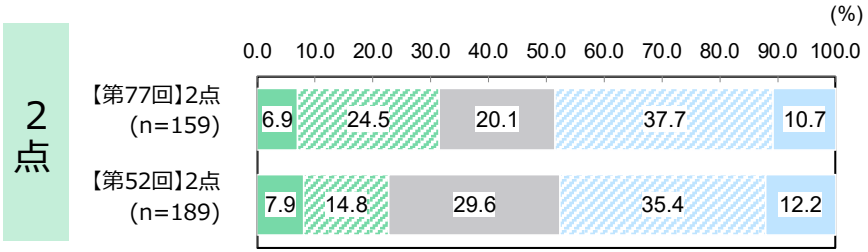
簡易版SES代替指標の得点が比較的高い（2点、3点）回答者では、両親世代よりも「豊かになる」（※）と回答した割合が増加している一方で、比較的低い（1点）回答者では同水準、低い（0点）回答者では減少傾向。

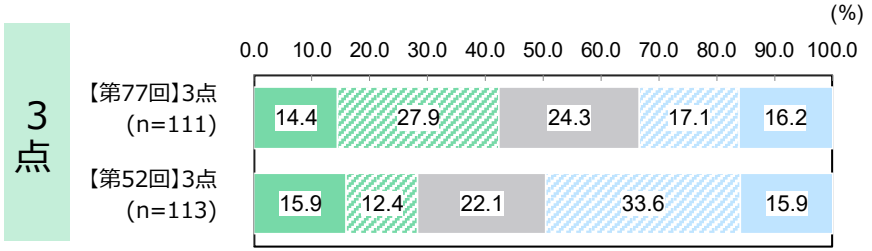
※「大いに豊かになる」と「少し豊かになる」の合計。

質問14：現在18歳前後であるあなたの世代は、あなたの両親の世代と比べ、将来、経済的にどのようになると思いますか。（選択式（単一））









日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

詳細

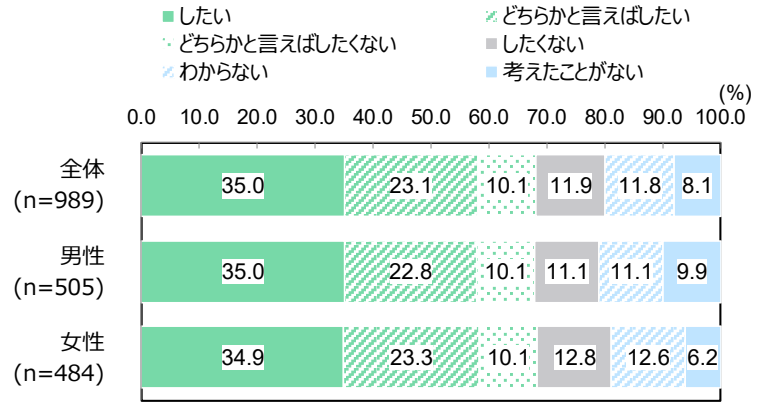
1. 現状に対する認識・将来の暮らし方に対する考え方
2. 働き方・キャリアに対する価値観
3. パートナーシップ・結婚に対する考え方
4. 子どもをもつこと・子育てに対する考え方
5. 若者政策に対する考え方

性別　将来結婚したいか/実際に結婚すると思うか

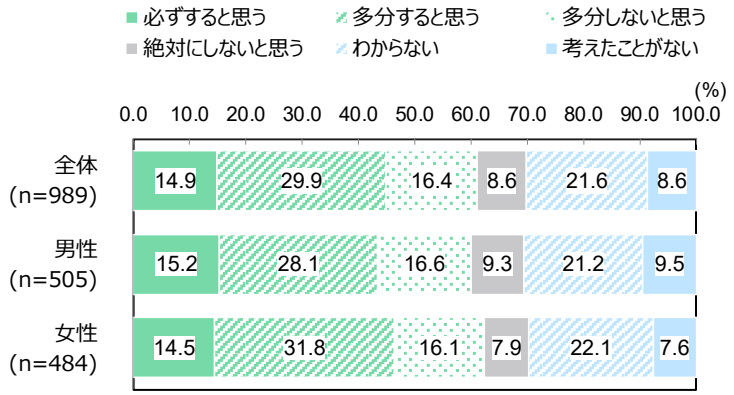
男女ともに35%程度が将来結婚を「したい」と回答しているが、実際に将来結婚を「必ずすると思う」と回答した人は15%程度に留まり、希望と現実には差が生じると考えている人が一定数いると推測される。

質問15：あなたは、将来結婚したいと思いますか（事実婚を含む）。（選択式（単一））
質問16：あなたは、実際には、自分は将来結婚すると思いますか（事実婚を含む）。（選択式（単一））

質問15：将来結婚したいか



質問16：実際には結婚すると思うか



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

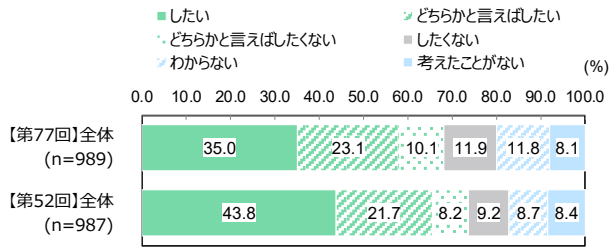
時系列
性別

将来結婚したいか

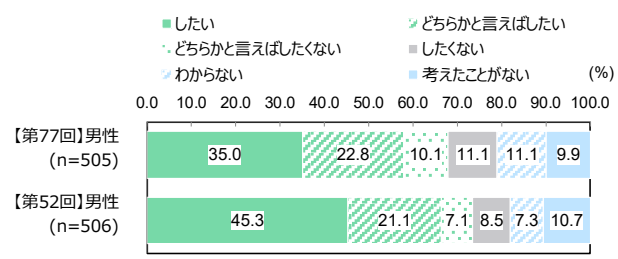
男女ともに、将来結婚を「したい」と回答した割合は減少。

質問15：あなたは、将来結婚したいと思いますか（事実婚を含む）。（選択式（単一））

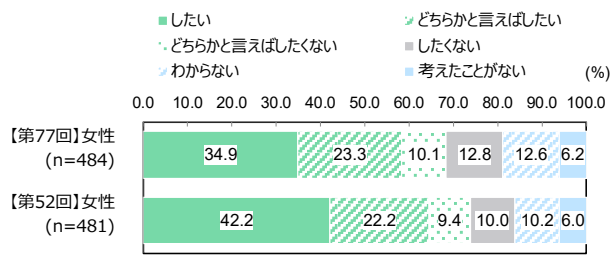
全体



男性



女性



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

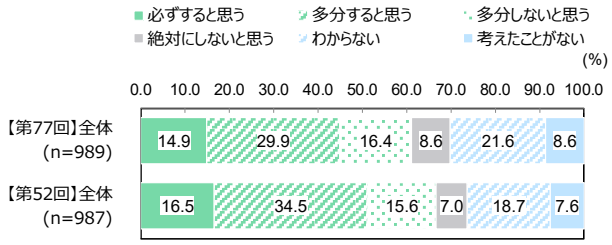
時系列
性別

実際に結婚すると思うか

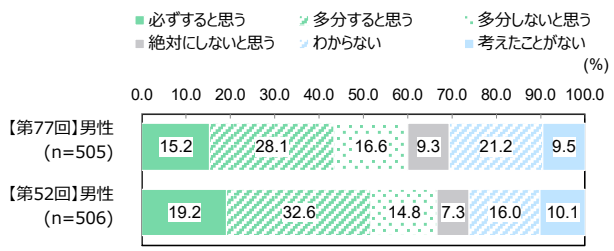
男性では、実際に将来結婚を「必ずすると思う」「多分すると思う」と回答した割合が減少傾向である一方、「わからない」が増加。
女性では、実際に将来結婚を「多分すると思う」と回答した割合が減少傾向。

質問16：あなたは、実際には、自分は将来結婚すると思いますか（事実婚を含む）。（選択式（単一））

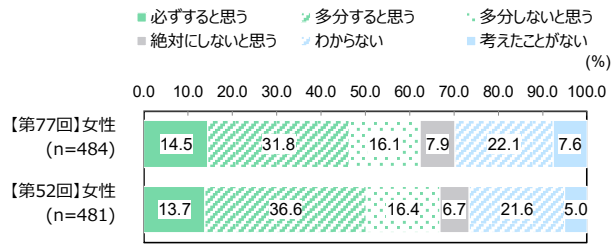
全体



男性



女性



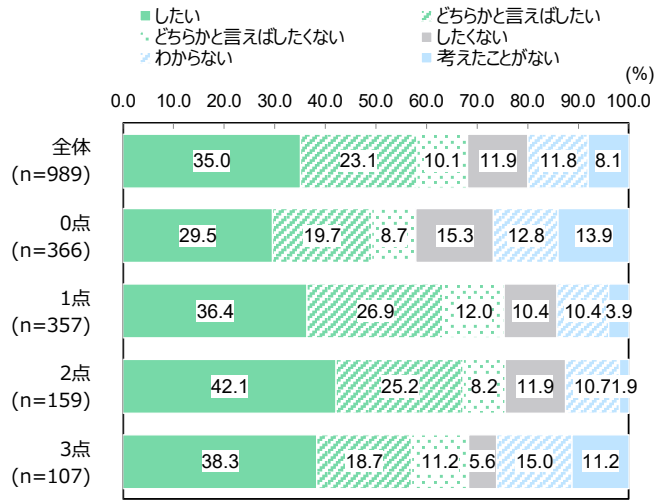
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

簡易SES別 将来結婚したいか/実際に結婚すると思うか

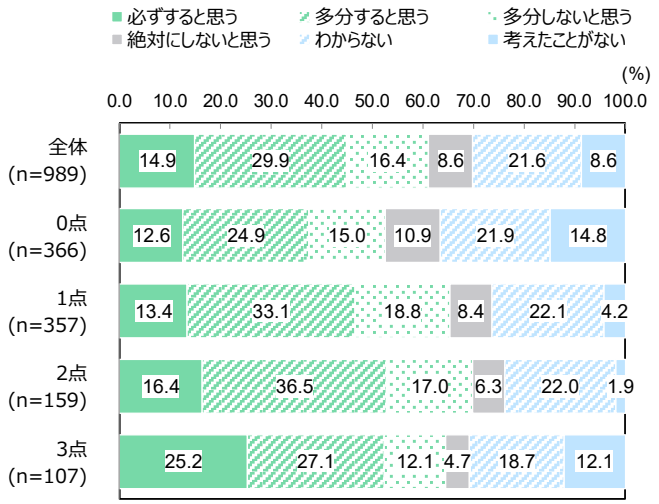
簡易版SES代替指標の得点が低い（0点）回答者は、将来結婚を「したい」と回答した割合が低く、「したくない」と回答した割合が高い傾向。簡易版SES代替指標の得点が高い（3点）回答者は、実際に将来結婚を「必ずすると思う」と回答した割合が高い。
いずれの質問でも、簡易版SES代替指標の得点が0点・3点の回答者で、「考えたことない」と回答した割合が高い傾向が見られた。

質問15：あなたは、将来結婚したいと思いますか（事実婚を含む）。（選択式（単一））
質問16：あなたは、実際には、自分は将来結婚すると思いますか（事実婚を含む）。（選択式（単一））

質問15：将来結婚したいか



質問16：実際に結婚すると思うか

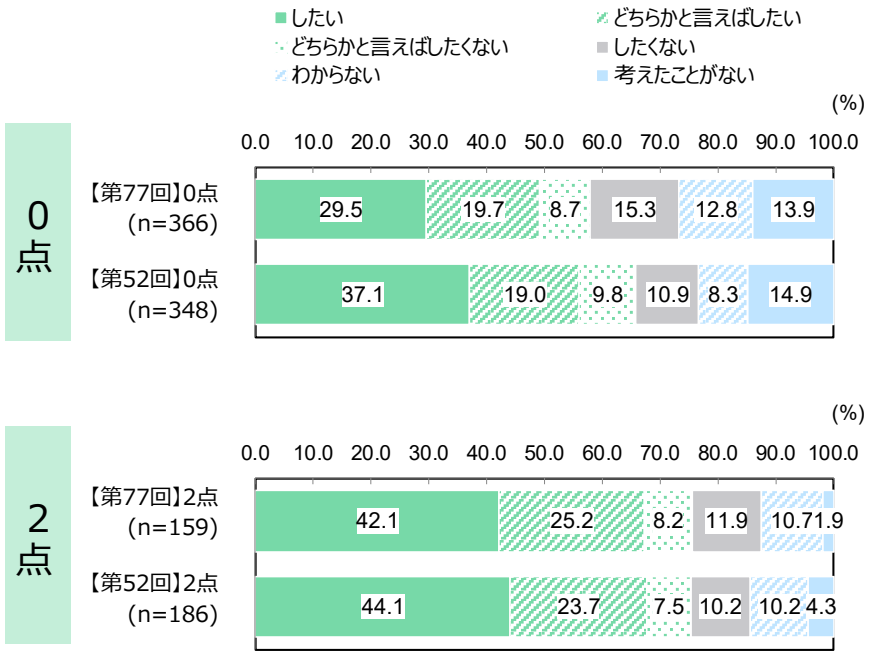


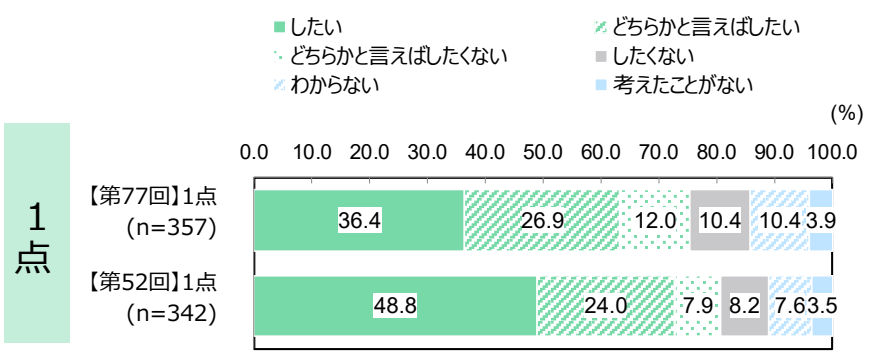
時系列
簡易SES別

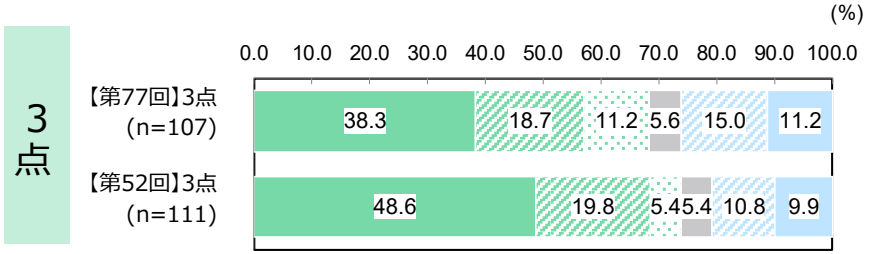
将来結婚したいか

家庭の社会経済的状況によらず、3年前と比較して、将来結婚を「したい」と回答した割合が減少傾向。特に、簡易版SES代替指標の得点が比較的低い回答者（0点、1点）、高い回答者（3点）で顕著に見られた。

質問15：あなたは、将来結婚したいと思いますか（事実婚を含む）。（選択式（単一））







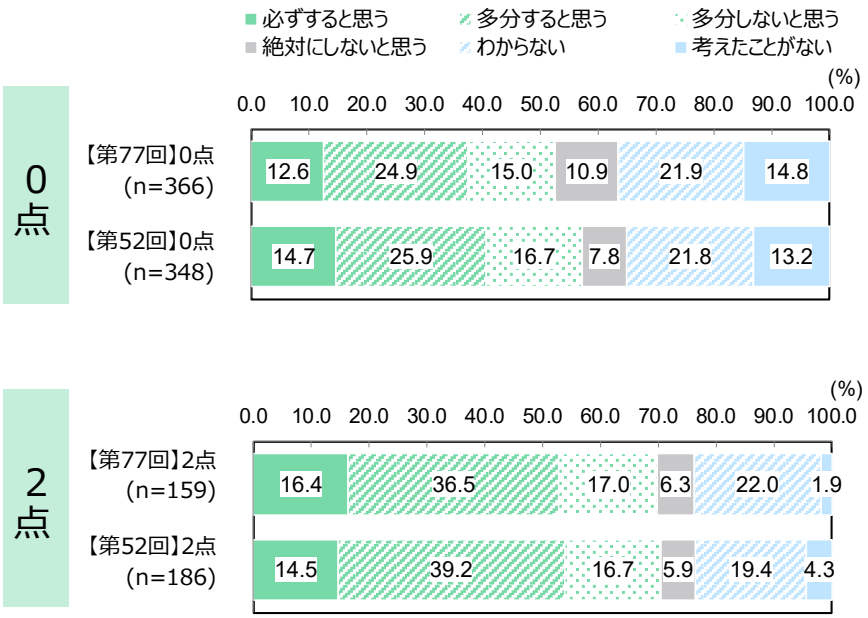
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

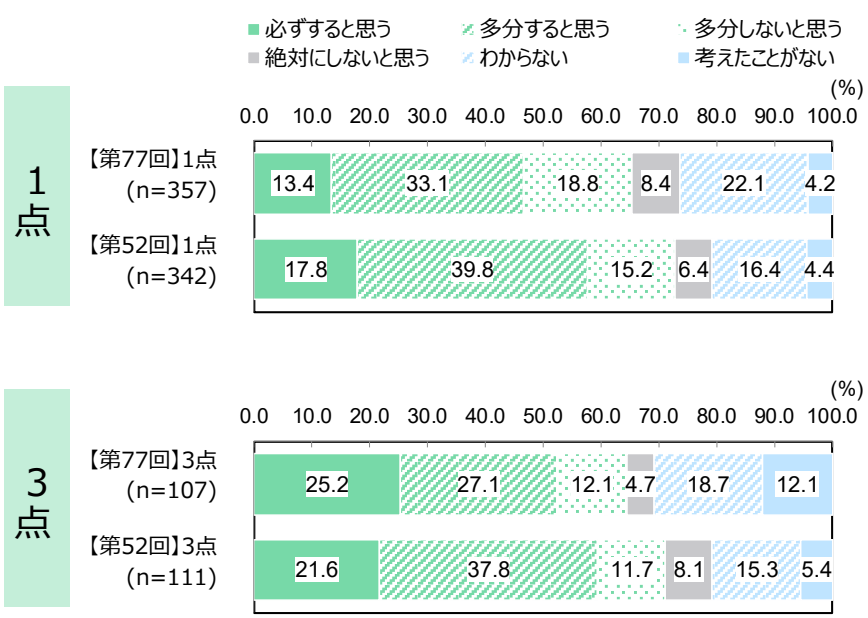
時系列
簡易SES別

実際に結婚すると思うか

簡易版SES代替指標の得点が高い回答者（3点）では、実際に将来結婚を「必ずすると思う」と回答した割合が前回調査よりも増加傾向である一方で、比較的低い回答者（0点、1点）では「必ずすると思う」と回答した割合は減少傾向であり、差が広がっている。

質問16：あなたは、実際には、自分は将来結婚すると思いますか（事実婚を含む）。（選択式（単一））





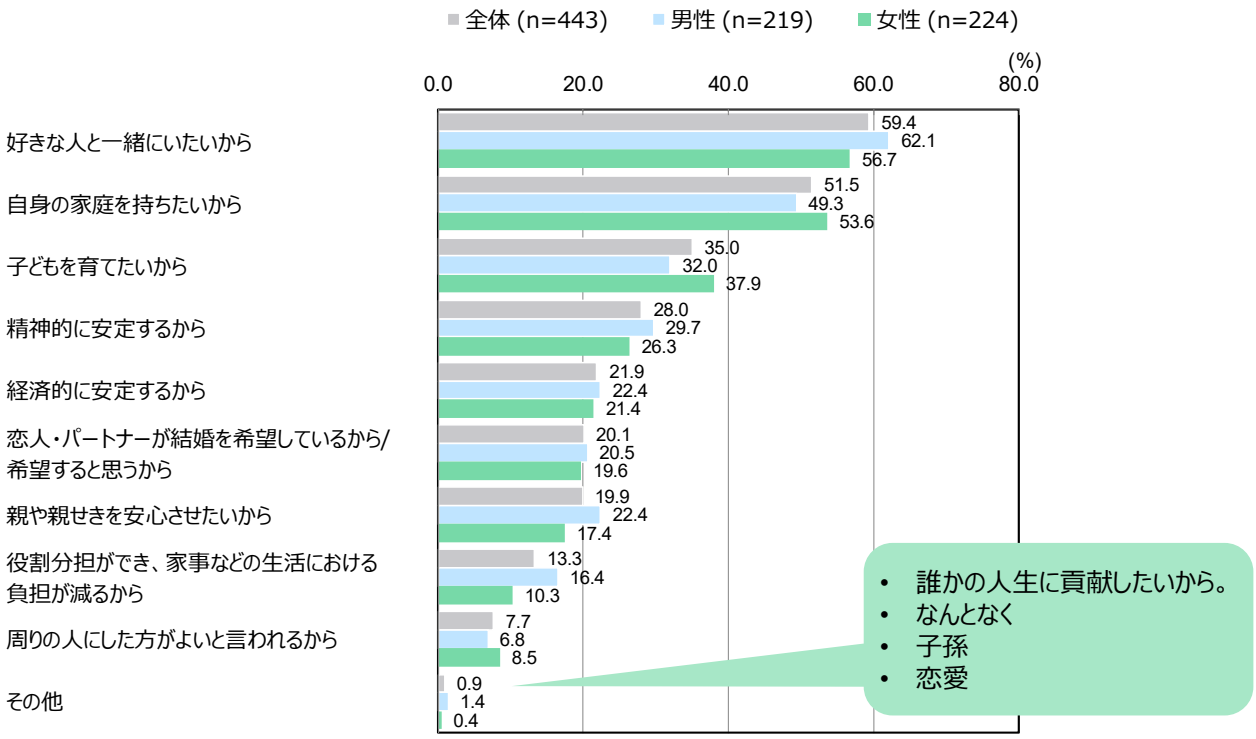
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

性別

将来結婚すると思う理由

男女ともに、「好きな人と一緒にいたいから」が最も多く、「自身の家庭を持ちたいから」、「子どもを育てたいから」が続く。

質問17：自分が将来結婚すると思う理由として、あてはまるものを全て選んでください。（質問16で「必ずすると思う」「多分すると思う」を選んだ人にのみ表示。）（選択式（複数））



※「全体」の降順で掲載。

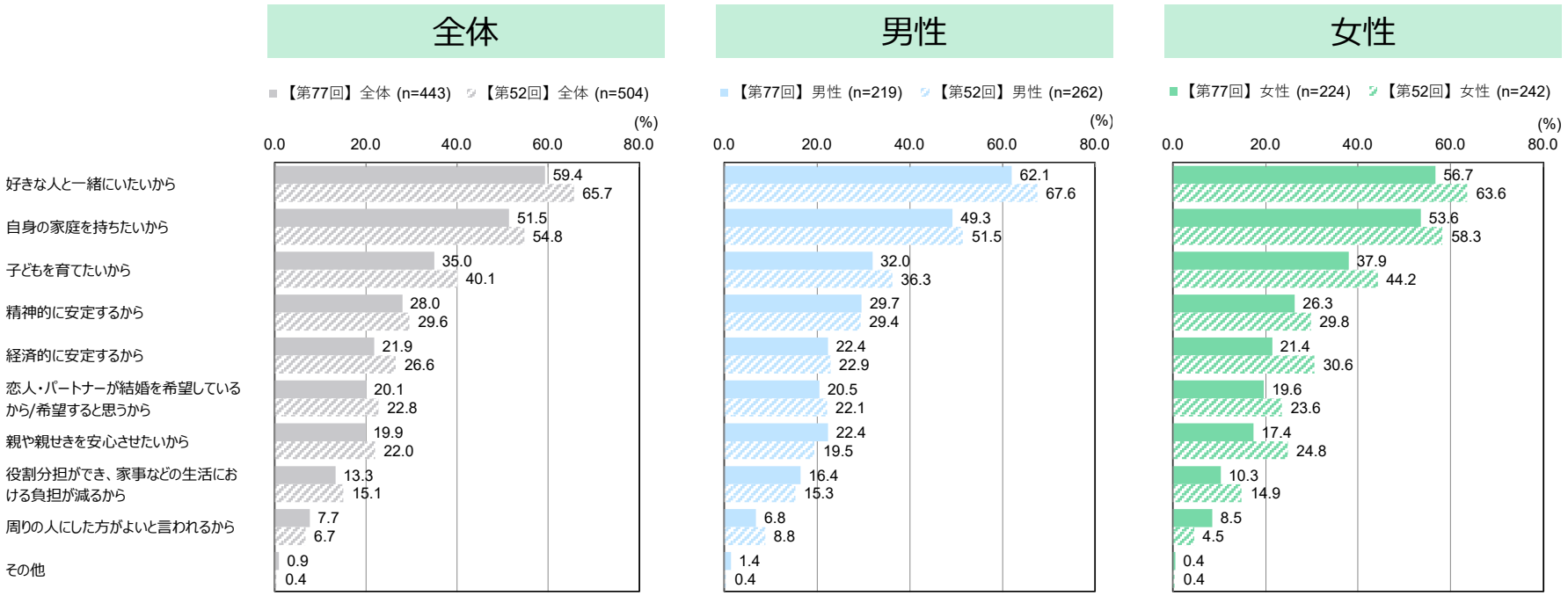
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

時系列
性別

将来結婚すると思う理由

男性は、上位3位の「好きな人と一緒にいたいから」「自身の家庭を持ちたいから」「子どもを育てたいから」がいずれも3年前よりも減少傾向。
女性は、「周りの人にした方がよいと言われるから」以外の全ての項目で前回より減少傾向。

質問17：自分が将来結婚すると思う理由として、あてはまるものを全て選んでください。（質問16で「必ずすると思う」「多分すると思う」を選んだ人にのみ表示。）（選択式（複数））



※第77回「全体」の降順で掲載。

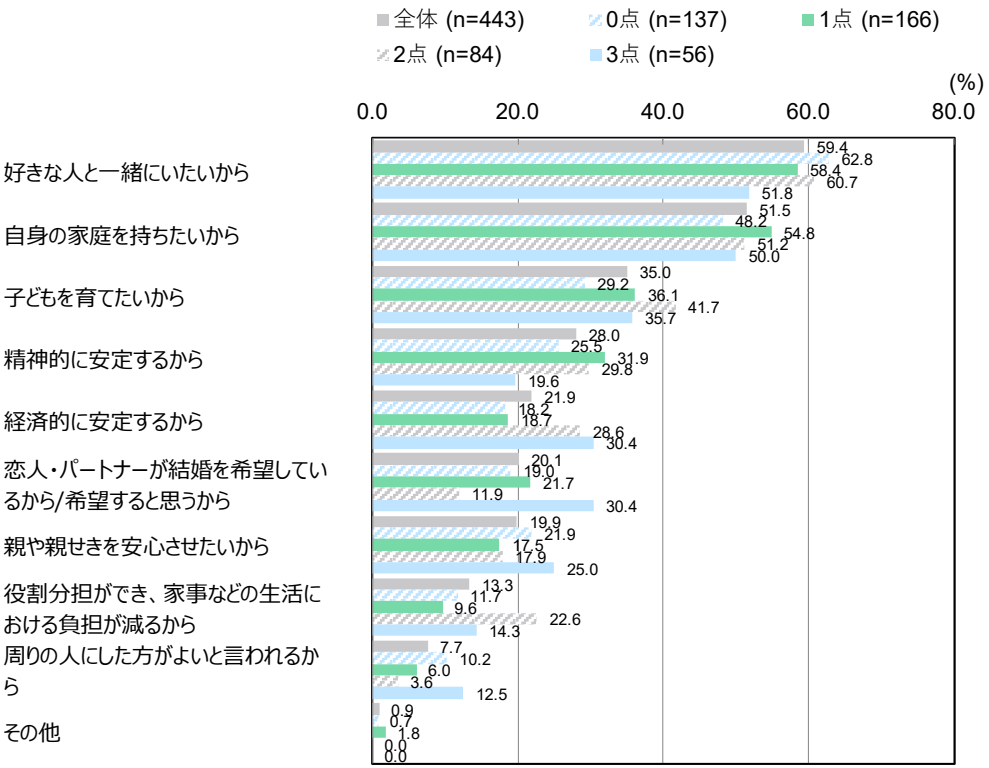
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

簡易SES別

将来結婚すると思う理由

簡易版SES代替指標の得点が高いほど、「経済的に安定するから」と回答した割合が高い。同指標の得点が高い（3点）回答者は、「恋人・パートナーが結婚を希望しているから/希望すると思うから」と回答した割合が高い。

質問17：自分が将来結婚すると思う理由として、あてはまるものを全て選んでください。（質問16で「必ずすると思う」「多分すると思う」を選んだ人にのみ表示。）（選択式（複数））



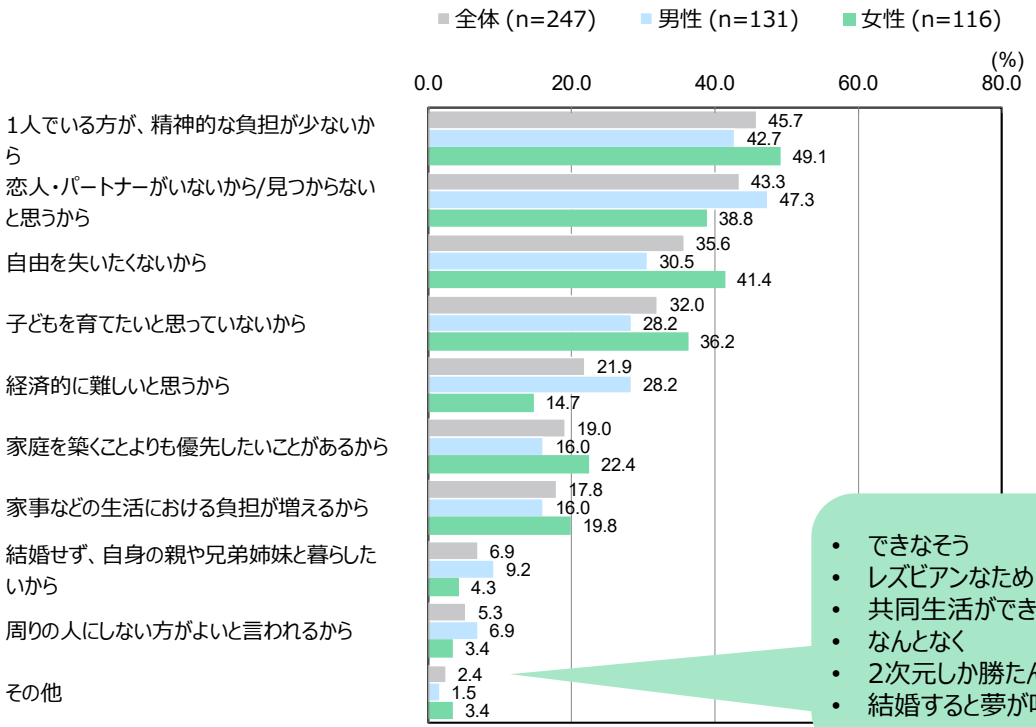
※「全体」の降順で掲載。

性別

将来結婚しないと思う理由

上位の理由は男女で異なり、男性では、「恋人・パートナーがいないから/見つからないと思うから」が1位で、「1人でいる方が、精神的な負担が少ないから」が続く。女性では、「1人でいる方が、精神的な負担が少ないから」が1位で、「自由を失いたくないから」が続く。

質問18：自分が将来結婚しないと思う理由として、あてはまるものを全て選んでください。（質問16で「絶対にしないと思う」「多分しないと思う」を選んだ人にのみ表示。）（選択式（複数））



- できなそう
- レズビアンなため
- 共同生活ができないから
- なんとなく
- 2次元しか勝たんから
- 結婚すると夢が叶わないかも知れないから

※「全体」の降順で掲載。

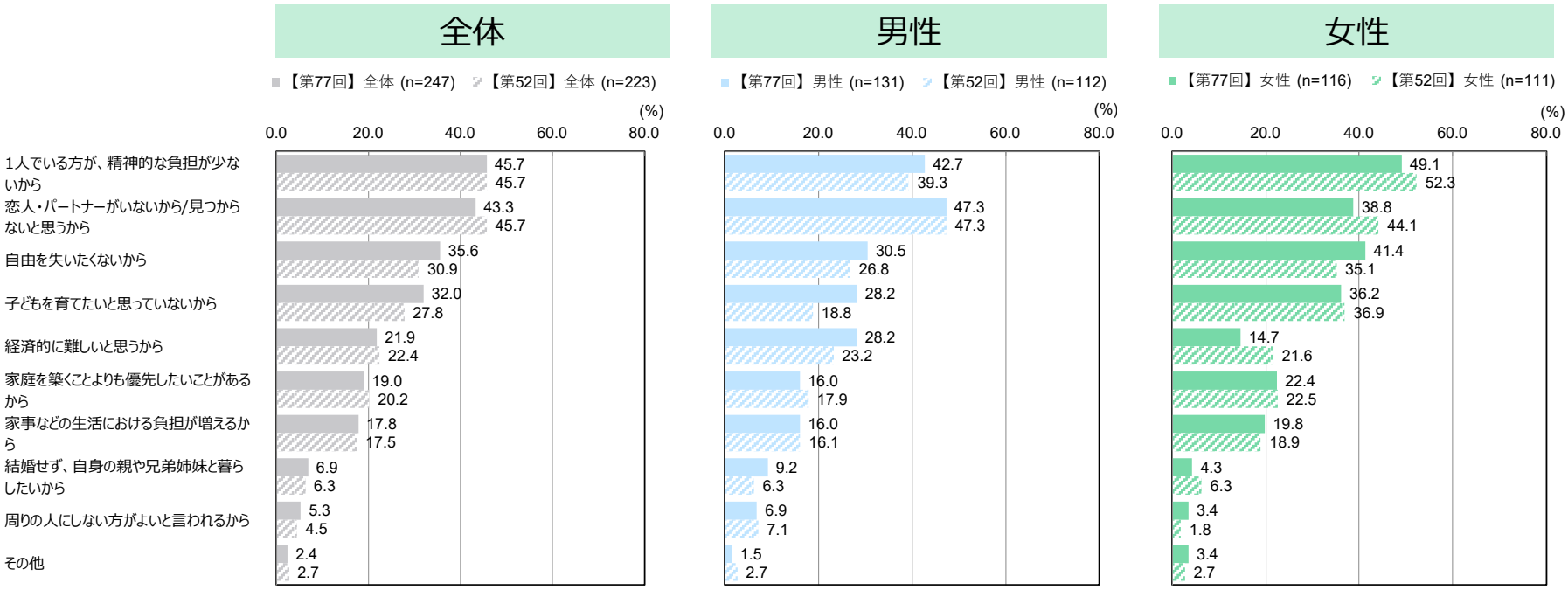
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

時系列
性別

将来結婚しないと思う理由

男性では「1人でいる方が、精神的な負担が少ないから」「自由を失いたくないから」「子どもを育てたいと思っていないから」、女性では「自由を失いたくないから」が増加傾向。「経済的に難しいと思うから」は男性では上昇した一方、女性では減少しており、男女差が広がった。

質問18：自分が将来結婚しないと思う理由として、あてはまるものを全て選んでください。（質問16で「絶対にしないと思う」「多分しないと思う」を選んだ人にのみ表示。）（選択式（複数））



※第77回「全体」の降順で掲載。

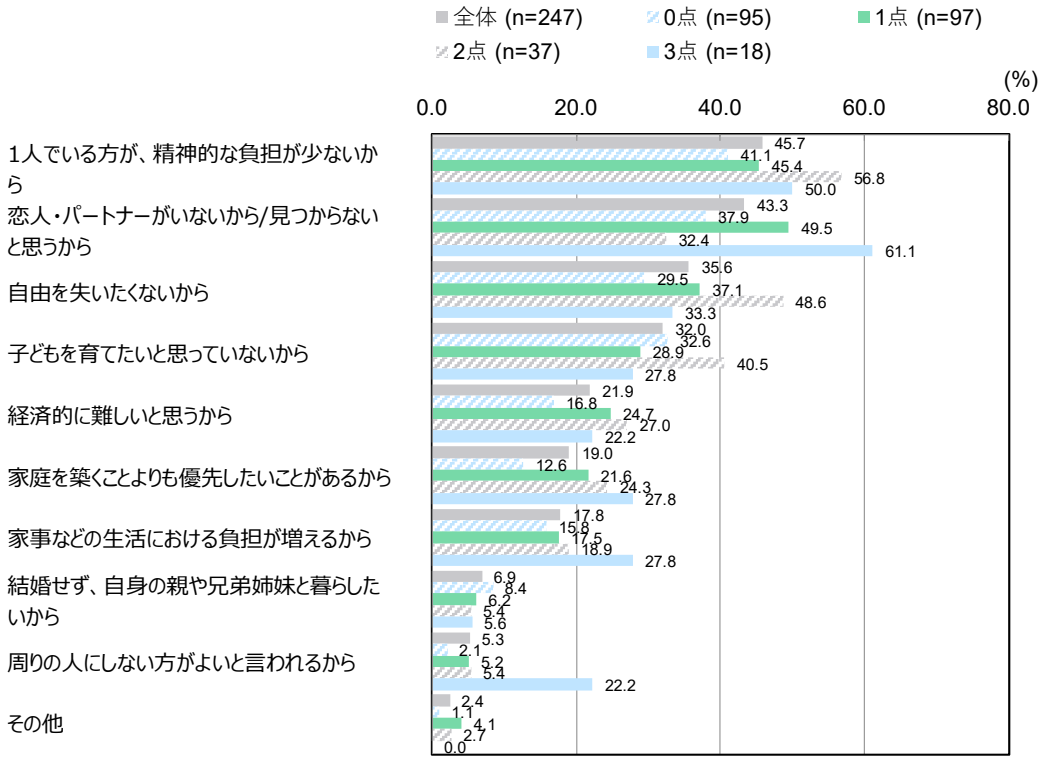
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

簡易SES別

将来結婚しないと思う理由

簡易版SES代替指標の得点が高い（3点）回答者は、「恋人・パートナーがいないから/見つからないと思うから」「周りの人にしない方がよいと言われるから」が突出して高い。

質問18：自分が将来結婚しないと思う理由として、あてはまるものを全て選んでください。（質問16で「絶対にしないと思う」「多分しないと思う」を選んだ人にのみ表示。）（選択式（複数））



※「全体」の降順で掲載。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

性別

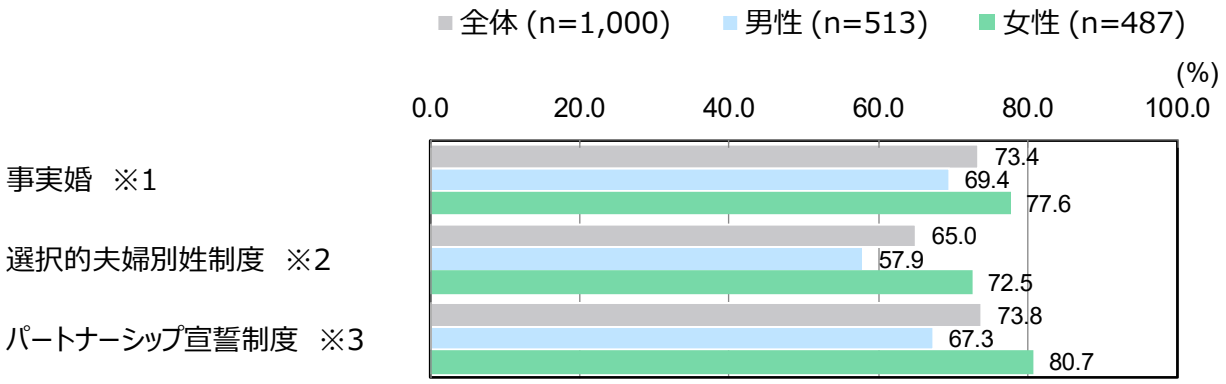
多様なパートナーシップへの考え

男性では「事実婚」、女性では「パートナーシップ宣誓制度」が、賛成である（※）と回答した割合が最も高い。
いずれの項目も、男性よりも女性の方が「賛成である」と回答した割合が高い。

※「賛成である」と「どちらかと言えば賛成である」の合計。

質問19：あなたは、事実婚、選択的夫婦別姓制度、パートナーシップ制度について、どのように考えますか。（選択式（複数））

賛成であると回答した人の割合



※1　事実婚とは、婚姻届を提出せず、婚姻の意思をもって、共同生活を送ること。

※2　選択的夫婦別姓制度とは、希望する夫婦が結婚後にそれぞれの結婚前の氏を名乗ることも認めるもの（出所：法務省）

※3　パートナーシップ宣誓制度とは、各自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め証明書を発行する制度のこと（出所：日本LGBTサポート協会）

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

時系列
性別

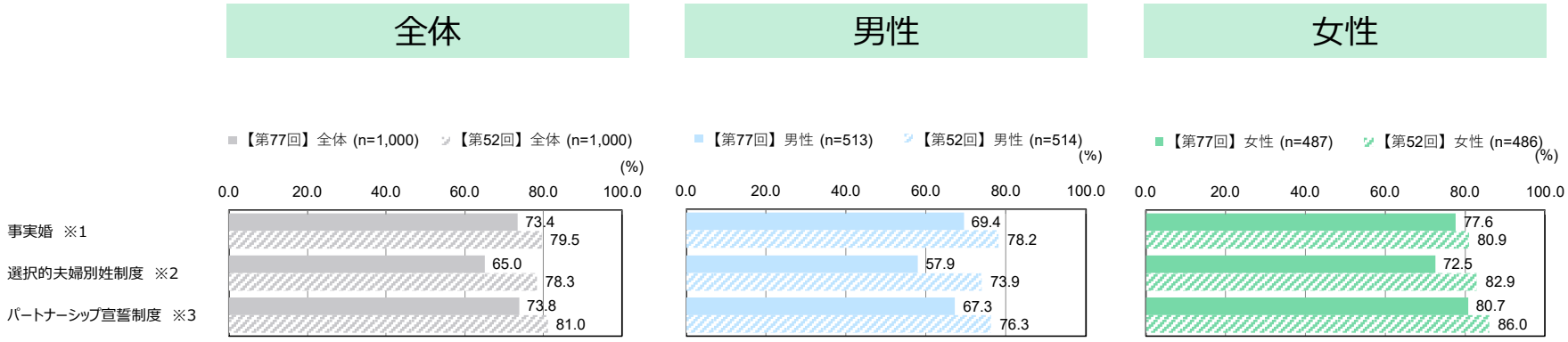
多様なパートナーシップへの考え

男女ともに、各項目について「賛成である」と回答した割合は前回調査から減少傾向。

※「賛成である」と「どちらかと言えば賛成である」の合計。

質問19：あなたは、事実婚、選択的夫婦別姓制度、パートナーシップ制度について、どのように考えますか。（選択式（複数））

賛成であると回答した人の割合



※1 事実婚とは、婚姻届を提出せず、婚姻の意思をもって、共同生活を送ること。

※2 選択的夫婦別姓制度とは、希望する夫婦が結婚後にそれぞれの結婚前の氏を名乗ることも認めるもの（出所：法務省）

※3 パートナーシップ宣誓制度とは、各自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め証明書を発行する制度のこと（出所：日本LGBTサポート協会）

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

詳細

1. 現状に対する認識・将来の暮らし方に対する考え方
2. 働き方・キャリアに対する価値観
3. パートナーシップ・結婚に対する考え方
4. 子どもをもつこと・子育てに対する考え方
5. 若者政策に対する考え方

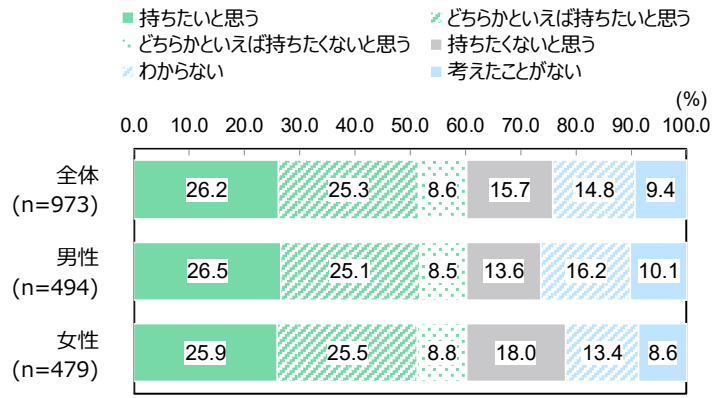
性別　将来子どもを持ちたいか/実際に持つと思うか

男女ともに、半数以上が将来子どもを「持ちたい」（※1）と回答した一方で、実際に将来子どもを「持つと思う」（※2）と回答した人は40%弱に留まり、結婚（質問15・質問16）と同様に、希望と現実には差が生じると考えている人が一定数いると推測される。

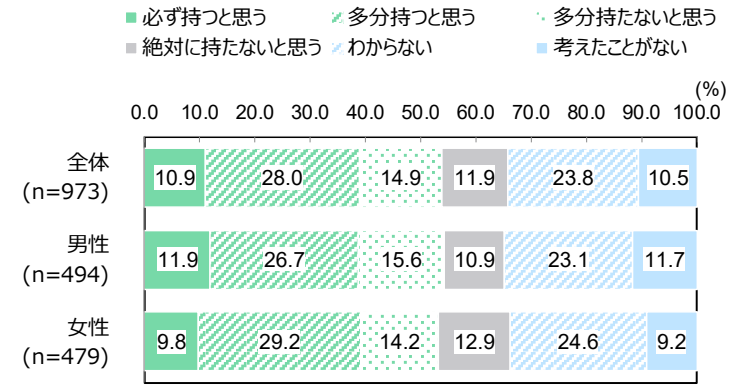
※1「持ちたいと思う」と「どちらかと言えば持ちたいと思う」の合計。
※2「必ず持つと思う」と「多分持つと思う」の合計。

質問20：あなたは将来、子どもを持ちたいと思いますか。（選択式（単一））
質問21：あなたは、実際には、自分は将来、子どもを持つと思いますか。（選択式（単一））

質問20：将来子どもを持ちたいか



質問21：実際には子どもを持つと思うか



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

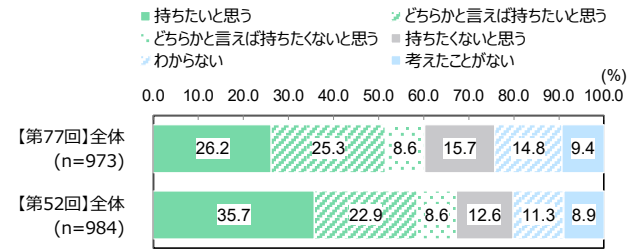
時系列
性別

将来子どもを持ちたいか

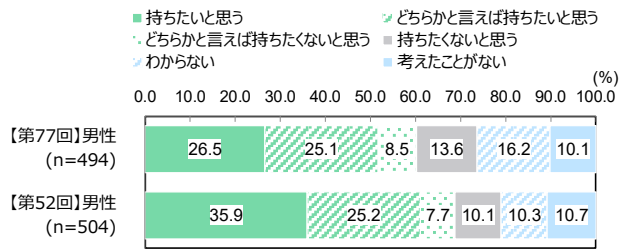
男女ともに、将来子どもを「持ちたいと思う」と回答した割合が減少し、「持ちたくないと思う」と回答した割合が増加傾向。

質問20：あなたは将来、子どもを持ちたいと思いますか。（選択式（単一））

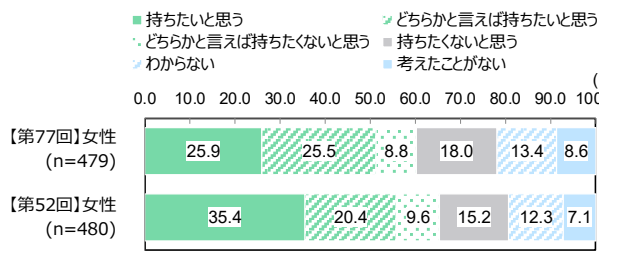
全体



男性



女性



時系列
性別

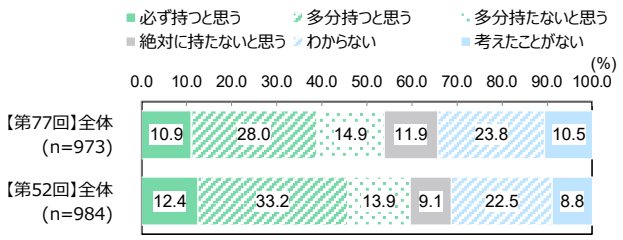
実際に子どもを持つと思うか

男女ともに、実際に将来子どもを「持つと思う」（※）と回答した割合が減少。

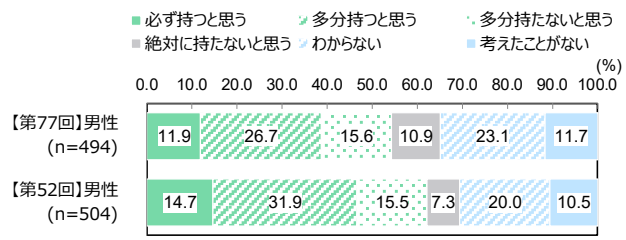
※「必ず持つと思う」と「多分持つと思う」の合計。

質問21：あなたは、実際には、自分は将来、子どもを持つと思いますか。（選択式（単一））

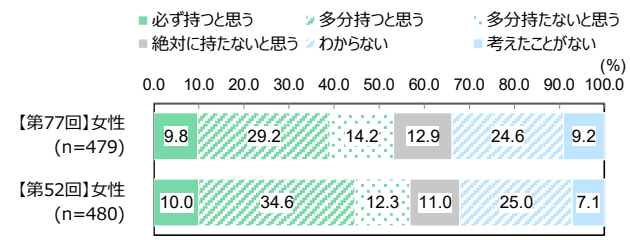
全体



男性



女性



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

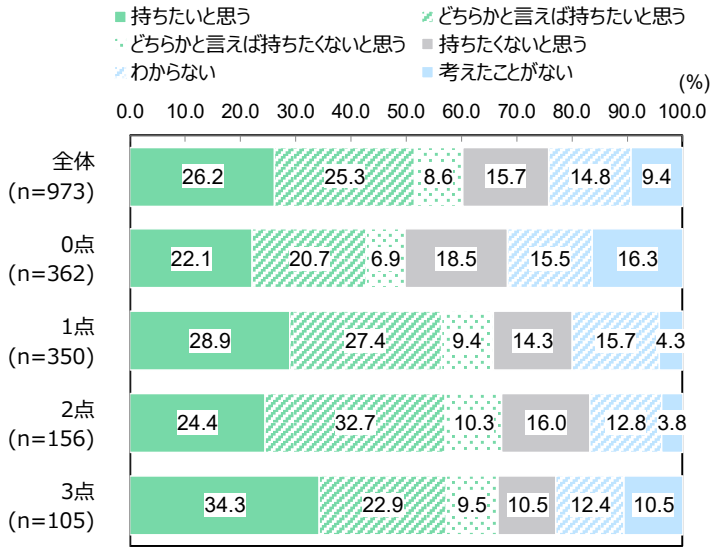
簡易SES別 将来子どもを持ちたいか/実際に持つと思うか

簡易版SES代替指標の得点が低い（0点）回答者は、将来子どもを「持ちたい」（※）と回答した割合が低い傾向にあり、将来子どもを持ちたいか・実際に持つと思うかともに「考えたことがない」と回答した割合が高い。簡易版SES代替指標の得点が高い（3点）回答者は、実際に将来子どもを「必ず持つと思う」と回答した割合が高い。

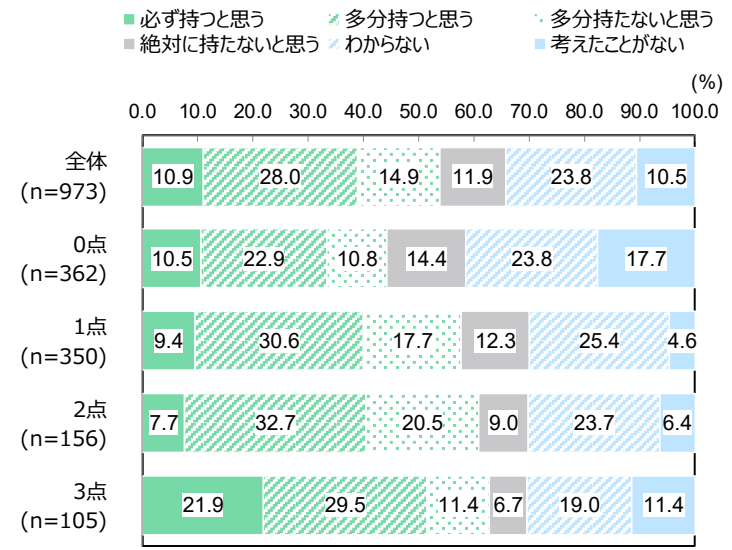
※「持ちたいと思う」と「どちらかと言えば持ちたいと思う」の合計。

質問20：あなたは将来、子どもを持ちたいと思いますか。（選択式（単一））
質問21：あなたは、実際には、自分は将来、子どもを持つと思いますか。（選択式（単一））

質問20：将来子どもを持ちたいか



質問21：実際に子どもを持つと思うか



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

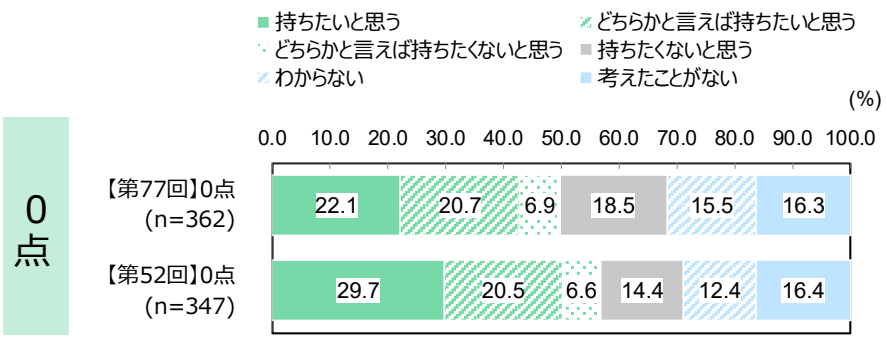
時系列
簡易SES別

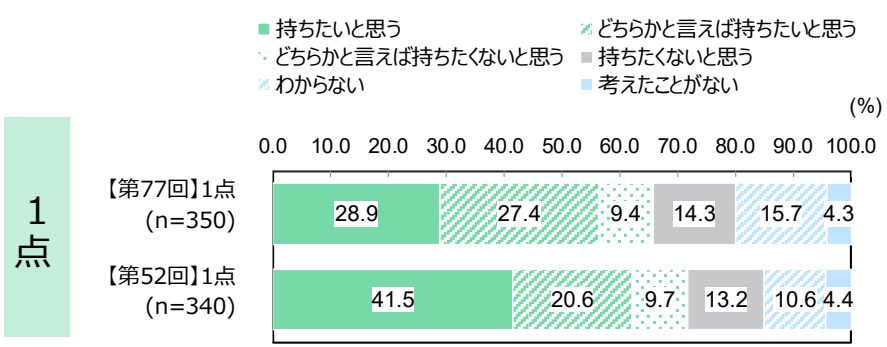
将来子どもを持ちたいか

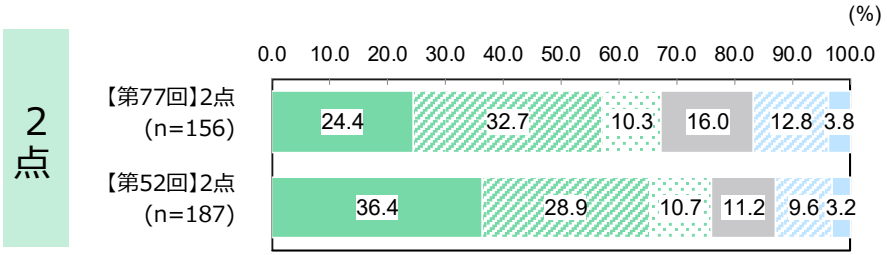
家庭の社会経済的状況が異なっても、3年前と比較して、将来子どもを「持ちたい」（※）と回答した割合が減少している傾向は変わらない。

※「持ちたいと思う」と「どちらかと言えば持ちたいと思う」の合計。

質問20：あなたは将来、子どもを持ちたいと思いますか。（選択式（単一））







日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

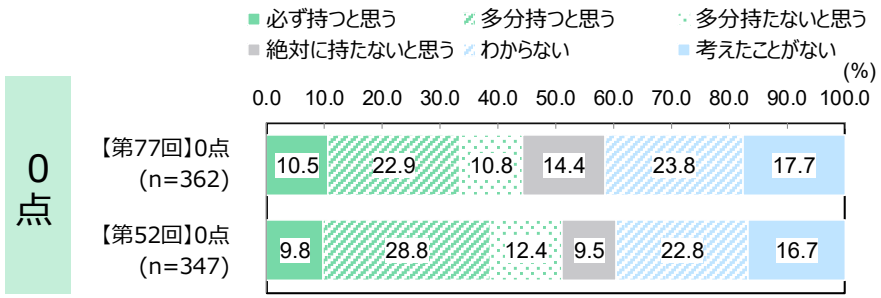
時系列
簡易SES別

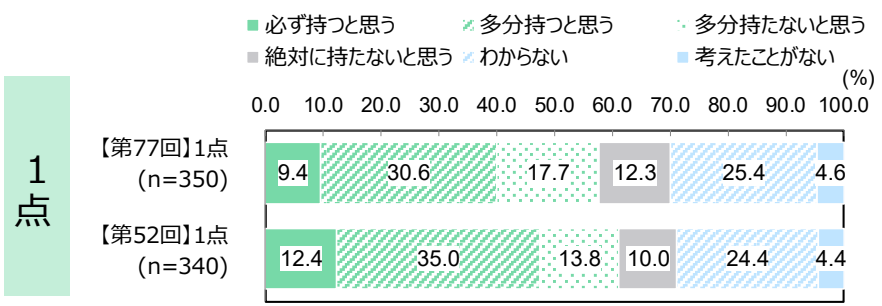
実際に子どもを持つと思うか

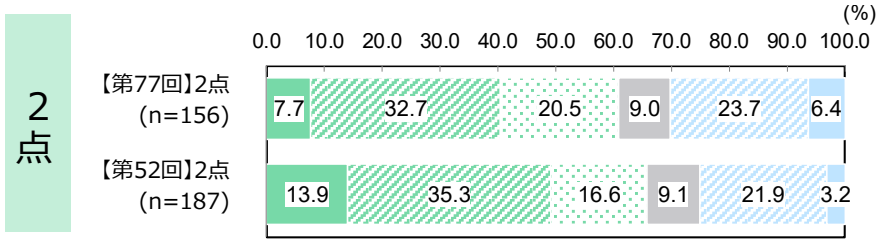
いずれの得点においても、実際に将来子どもを「持つと思う」（※）と回答した割合が減少。簡易版SES代替指標の得点が比較的低い（0点、1点）回答者では、「絶対に持たないと思う」と回答した割合も増加傾向。

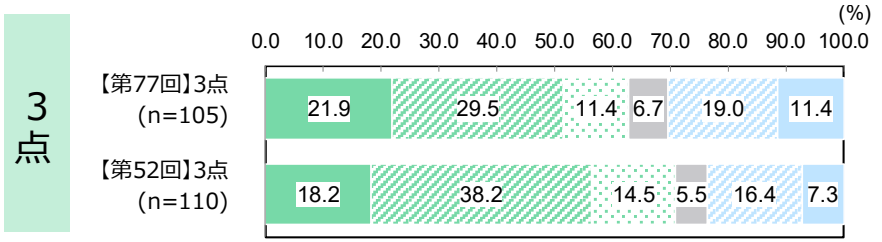
※「必ず持つと思う」と「多分持つと思う」の合計。

質問21：あなたは、実際には、自分は将来、子どもを持つと思いますか。（選択式（単一））









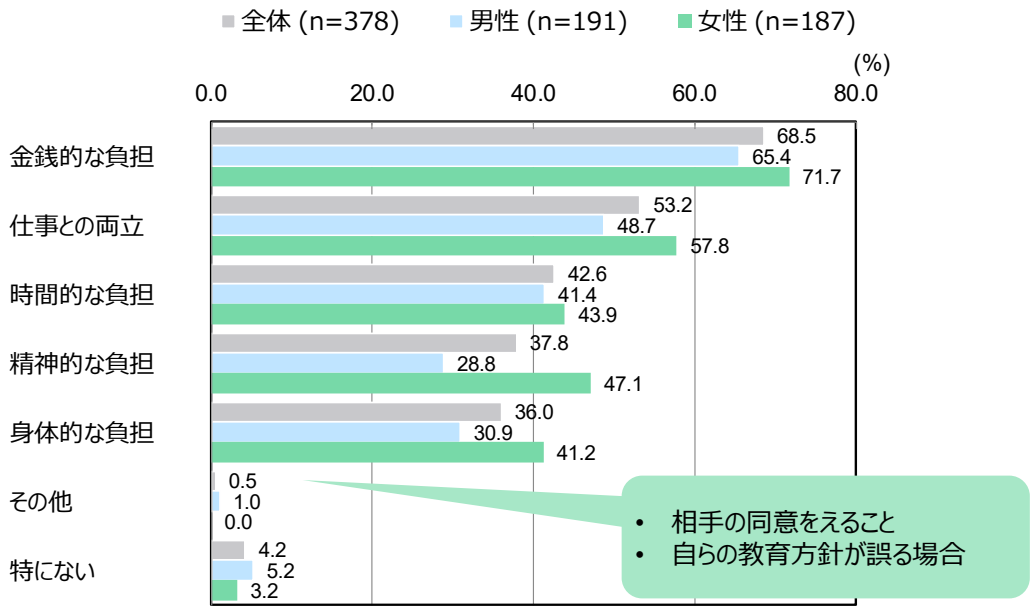
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

性別

将来子どもを持つうえでの障壁

男女ともに「金銭的な負担」が1位で、「仕事との両立」が続く。
いずれの項目でも女性が男性を上回っており、男女の差が最も大きいのは「精神的な負担」。

質問22：あなたが将来、子どもを持つにあたって、特に障壁となる可能性が高いと思うものを、次の中からいくつでも選んでください。（質問21で「必ず持つと思う」「多分持つと思う」を選んだ人にのみ表示。）（選択式（複数））



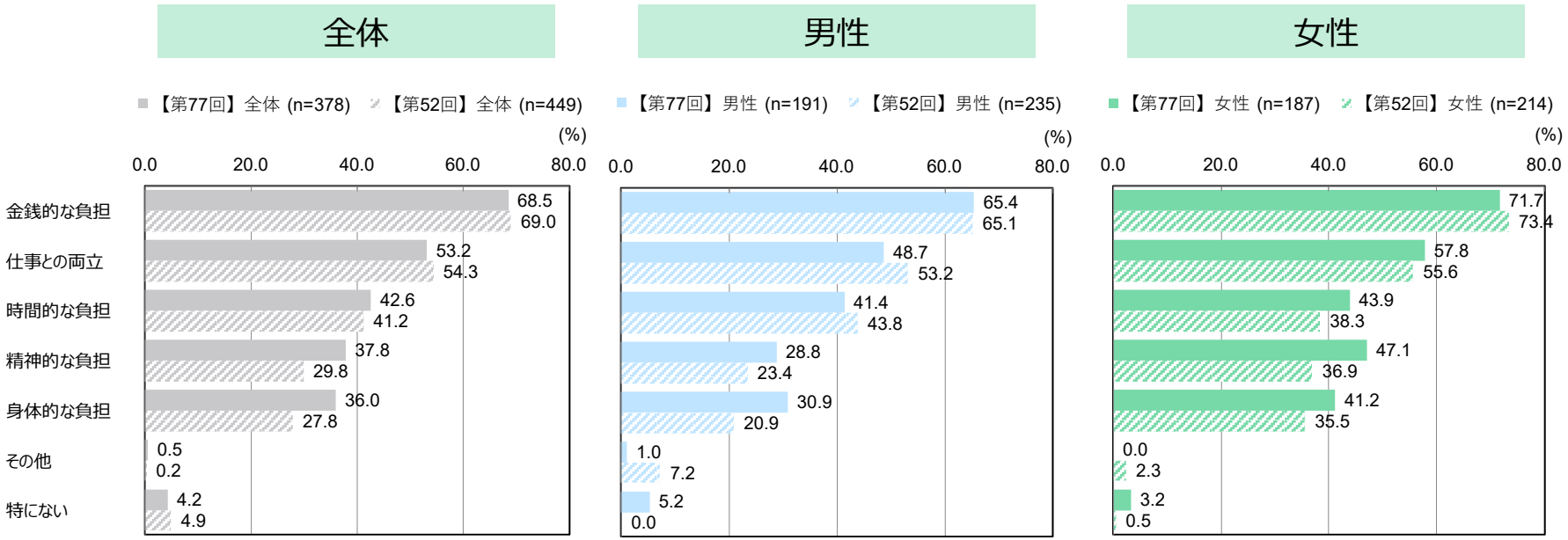
※「全体」の降順で掲載。

時系列
性別

将来子どもを持つうえでの障壁

男性では「仕事との両立」「時間的な負担」が減少傾向である一方、「精神的な負担」「身体的な負担」が増加。女性では、「仕事との両立」「時間的な負担」「精神的な負担」「身体的な負担」のいずれも増加傾向にあり、特に女性の負担感の増加がうかがえる。

質問22：あなたが将来、子どもを持つにあたって、特に障壁となる可能性が高いと思うものを、次の中からいくつでも選んでください。（質問21で「必ず持つと思う」「多分持つと思う」を選んだ人にのみ表示。）（選択式（複数））



※第77回「全体」の降順で掲載。

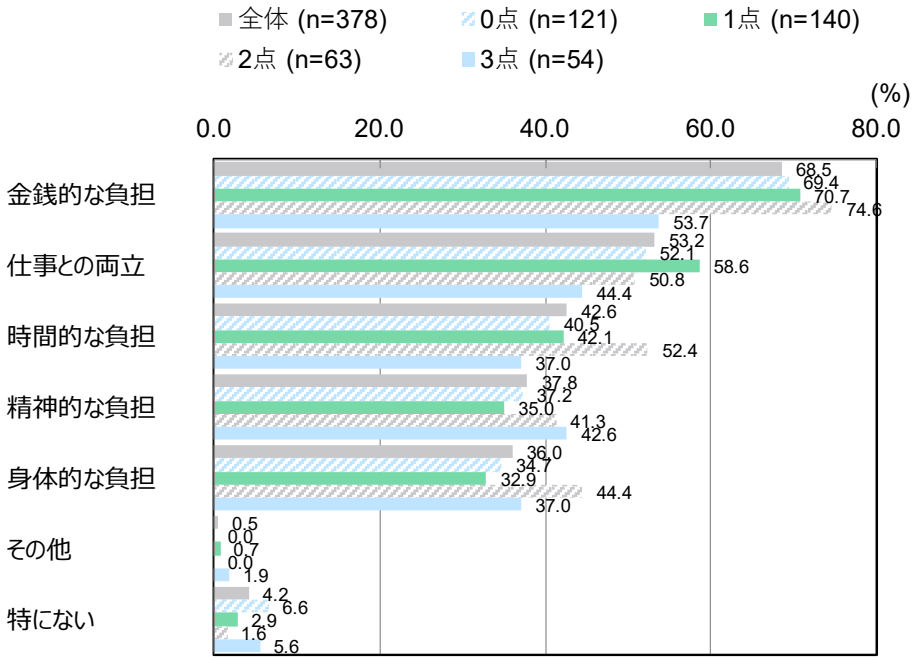
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

簡易SES別

将来子どもを持つうえでの障壁

簡易版SES代替指標の得点が高い（3点）回答者は、「金銭的な負担」、「仕事との両立」、「時間的な負担」の各項目を選択した割合が、他グループよりも低い傾向。

質問22：あなたが将来、子どもを持つにあたって、特に障壁となる可能性が高いと思うものを、次の中からいくつでも選んでください。（質問21で「必ず持つと思う」「多分持つと思う」を選んだ人にのみ表示。）（選択式（複数））



※第77回「全体」の降順で掲載。

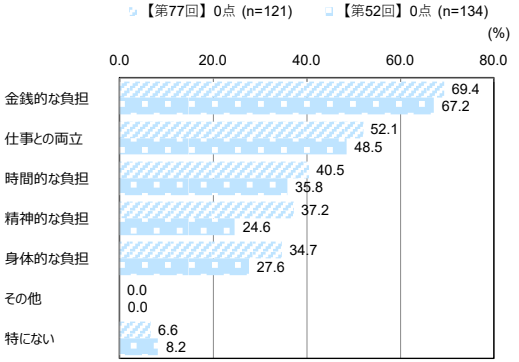
時系列
簡易SES別

将来子どもを持つうえでの障壁

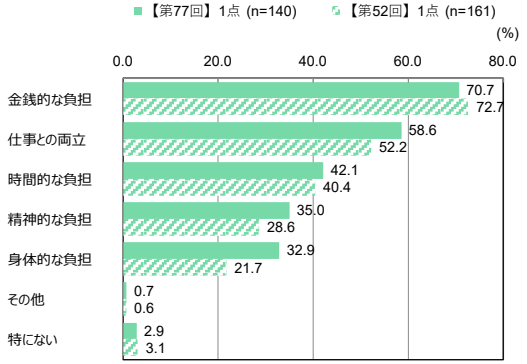
簡易版SES代替指標の得点が高い（3点）回答者は、「精神的な負担」を除く各項目を選択した割合が前回調査よりも減少。

質問22：あなたが将来、子どもを持つにあたって、特に障壁となる可能性が高いと思うものを、次の中からいくつでも選んでください。（質問21で「必ず持つと思う」「多分持つと思う」を選んだ人にのみ表示。）（選択式（複数））

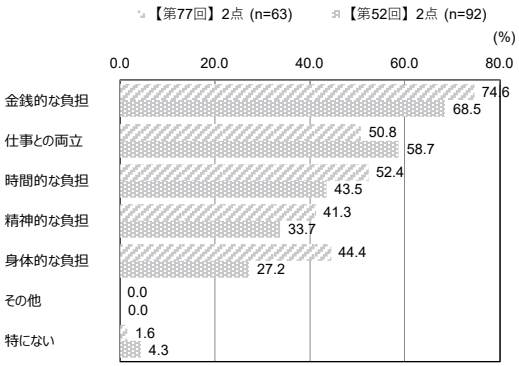
0点



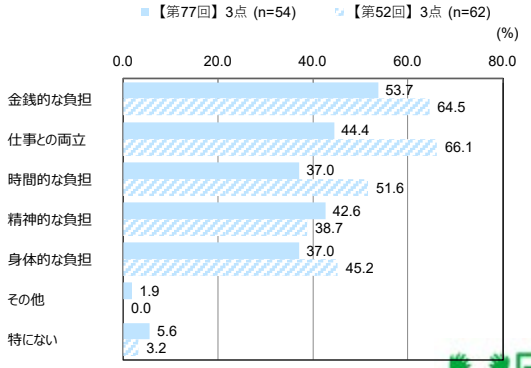
1点



2点



3点



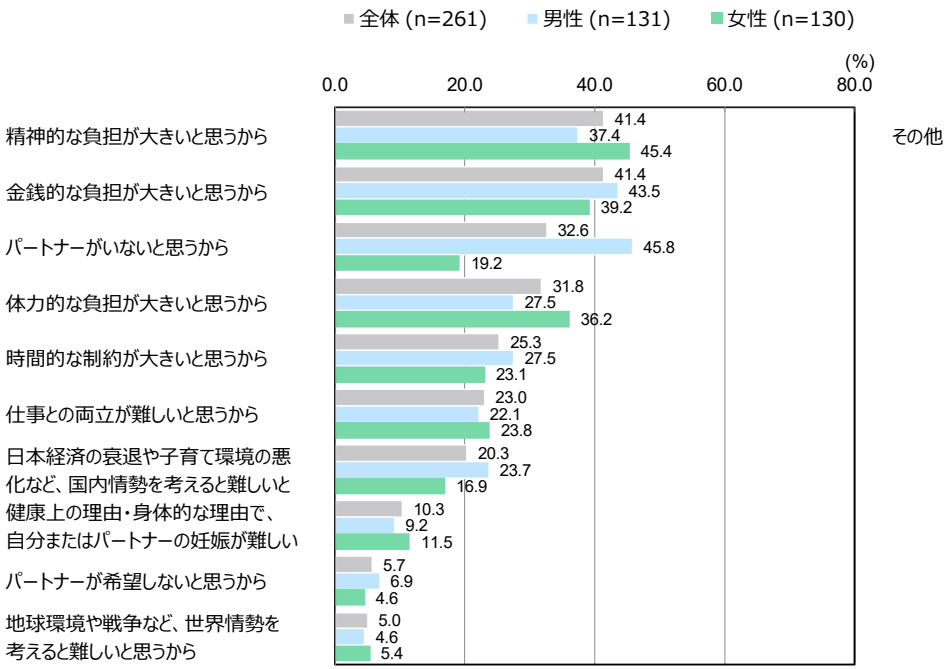
※第77回「全体」の降順で掲載。

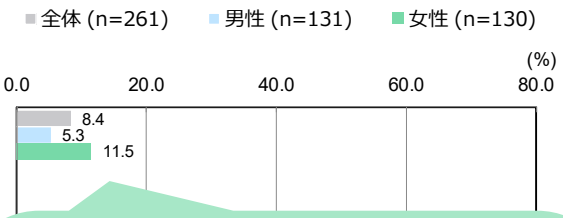
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

将来子どもを持たない理由

上位の理由は男女で異なり、男性では「パートナーがいないと思うから」が1位で、「金銭的な負担が大きいと思うから」、「精神的な負担が大きいと思うから」が続く。女性では、「精神的な負担が大きいから」が1位で、「金銭的な負担が大きいと思うから」、「体力的な負担が大きいと思うから」が続く。

質問23：あなたが将来、子どもを持たないと思う理由について、あてはまるものを全て選んでください。
（質問21で「持たないと思う」「たぶん持たないと思う」を選んだ人に表示。）（選択式（複数））





- 子どもが好きじゃないから・苦手だから（複数）
- 子供を育てる自信がない（複数）
- 自身に障がいがあるから（複数）
- 興味がないから
- なんで痛い思いせんといけんのん？ってかんじ
- タバコを吸うから
- 同性愛者だから
- 自分が嫌い。自分の子供も間違いなく生きにくい人生を送ると思う。子供に同じ目にあってほしくない
- 相手がいないから
- 健康な子供が生まれてくるとは限らないから、責任が取れないから
- 父親が嫌いで血を途絶えさせたいから
- 持病の遺伝の関係
- 決めるのは自分ではないと思うから
- 別にいらない

※「全体」の降順で掲載。

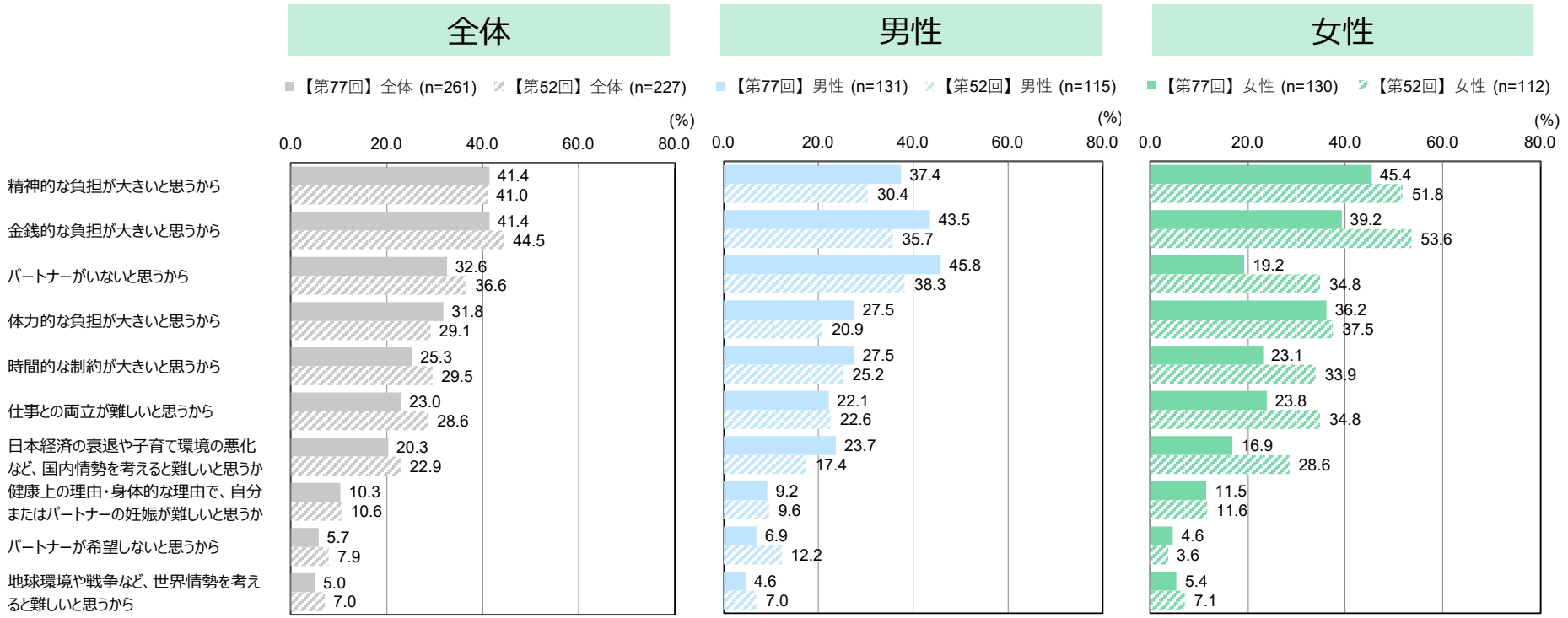
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

時系列
性別

将来子どもを持たない理由

男性では、多くの項目で、各項目を選択した割合が前回調査よりも増加傾向にある一方、女性では逆に多くの項目で前回よりも減少。

質問23：あなたが将来、子どもを持たないと思う理由について、あてはまるものを全て選んでください。
（質問21で「持たないと思う」「たぶん持たないと思う」を選んだ人に表示。）（選択式（複数））



※第77回「全体」の降順で掲載。

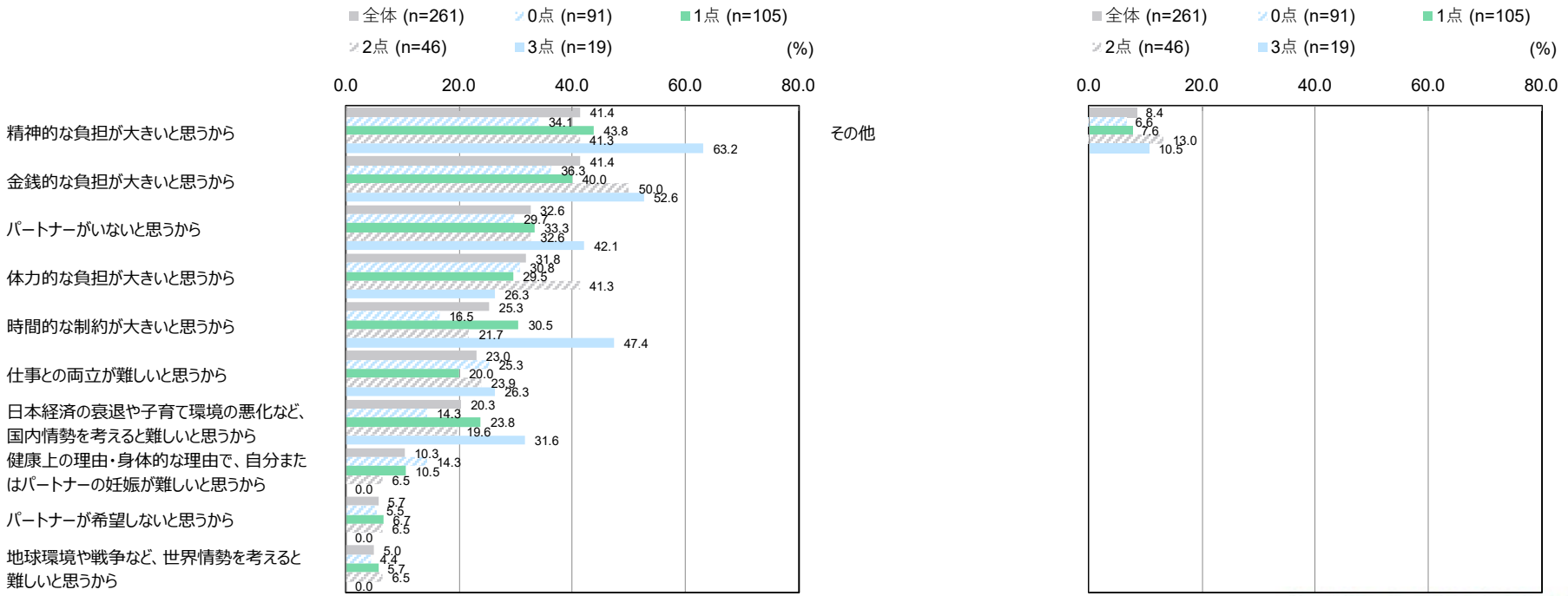
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

簡易SES別

将来子どもを持たない理由

簡易版SES代替指標の得点が高いほど、「金銭的な負担が大きいと思うから」を選択した割合が高い。
簡易版SES代替指標の得点が高い（3点）回答者は、「精神的な負担が大きいと思うから」「時間的な制約が大きいと思うから」「日本経済の衰退や子育て環境の悪化など、国内情勢を考えると難しいと思うから」を選択した割合が他グループよりも大きい。

質問23：あなたが将来、子どもを持たないと思う理由について、あてはまるものを全て選んでください。
（質問21で「持たないと思う」「たぶん持たないと思う」を選んだ人に表示。）（選択式（複数））



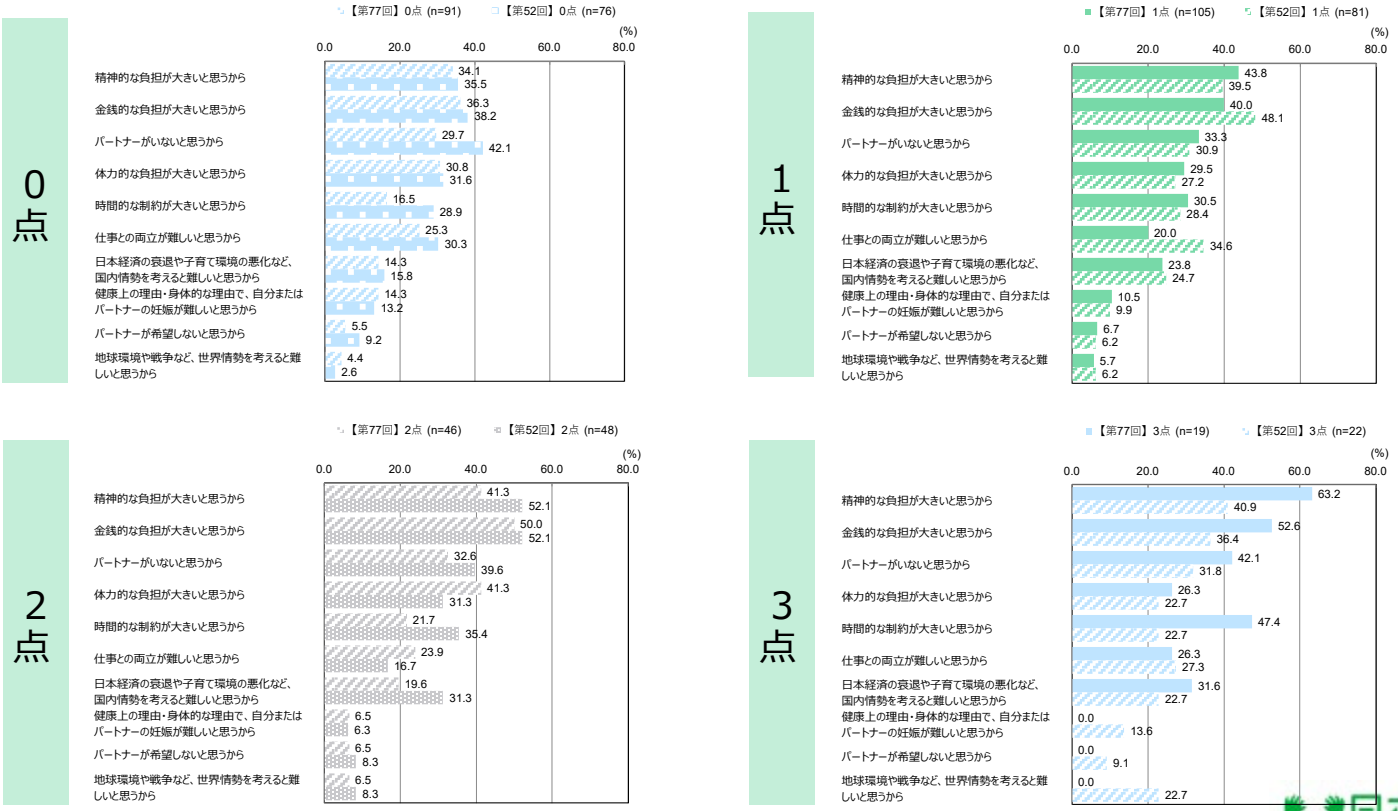
※「全体」の降順で掲載。

時系列
簡易SES別

将来子どもを持たない理由

簡易版SES代替指標の得点が高い（3点）回答者は、多くの項目で、各項目を選択した割合が前回調査よりも増加。

質問23：あなたが将来、子どもを持たないと思う理由について、あてはまるものを全て選んでください。
（質問21で「持たないと思う」「たぶん持たないと思う」を選んだ人に表示。）（選択式（複数））



※第77回「全体」の降順で掲載。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

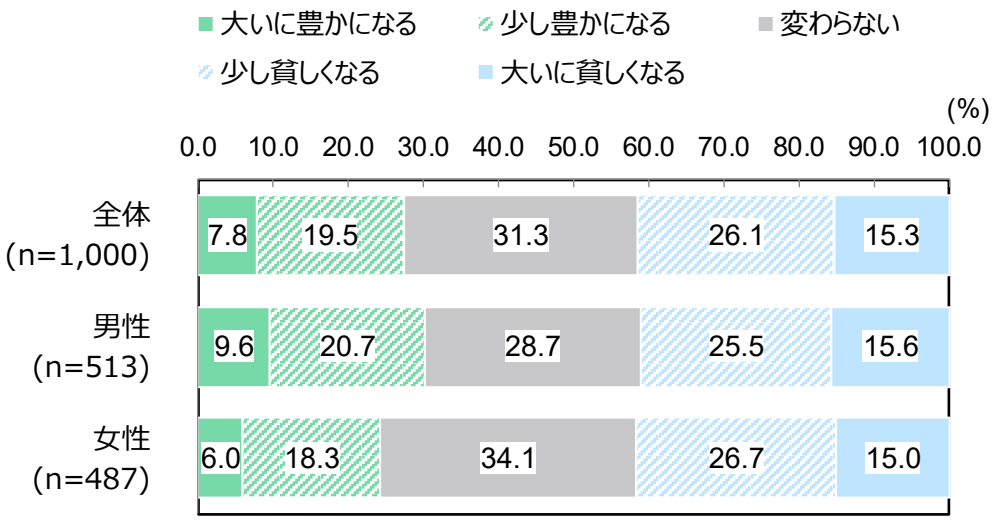
性別

自世代と子どもの将来との比較

男性のほうが、女性よりも「豊かになる」（※）と回答した割合が高い。

※「大いに豊かになる」と「少し豊かになる」の合計。

質問24：今年生まれる子どもの将来は、現在18歳前後のあなた方の世代と比べ、経済的にどのようになると思いますか。（選択式（単一））



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

時系列
性別

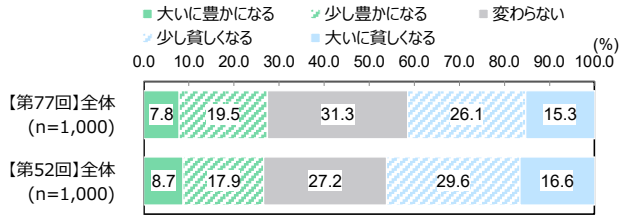
自世代と子どもの将来との比較

男性では、「豊かになる」（※）と回答した割合が前回調査よりも減少している一方で、女性では前回調査よりも増加しており、男女の差が小さくなっている。

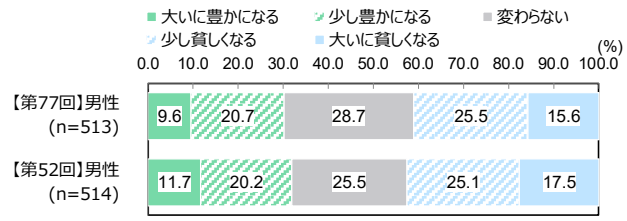
※「大いに豊かになる」と「少し豊かになる」の合計。

質問24：今年生まれる子どもの将来は、現在18歳前後のあなた方の世代と比べ、経済的にどのようになると思いますか。（選択式（単一））

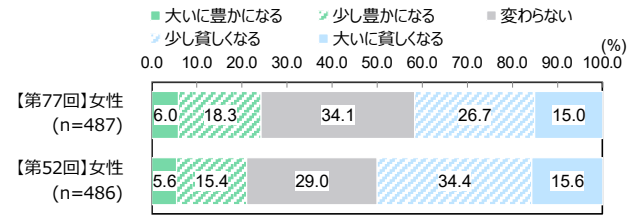
全体



男性



女性



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

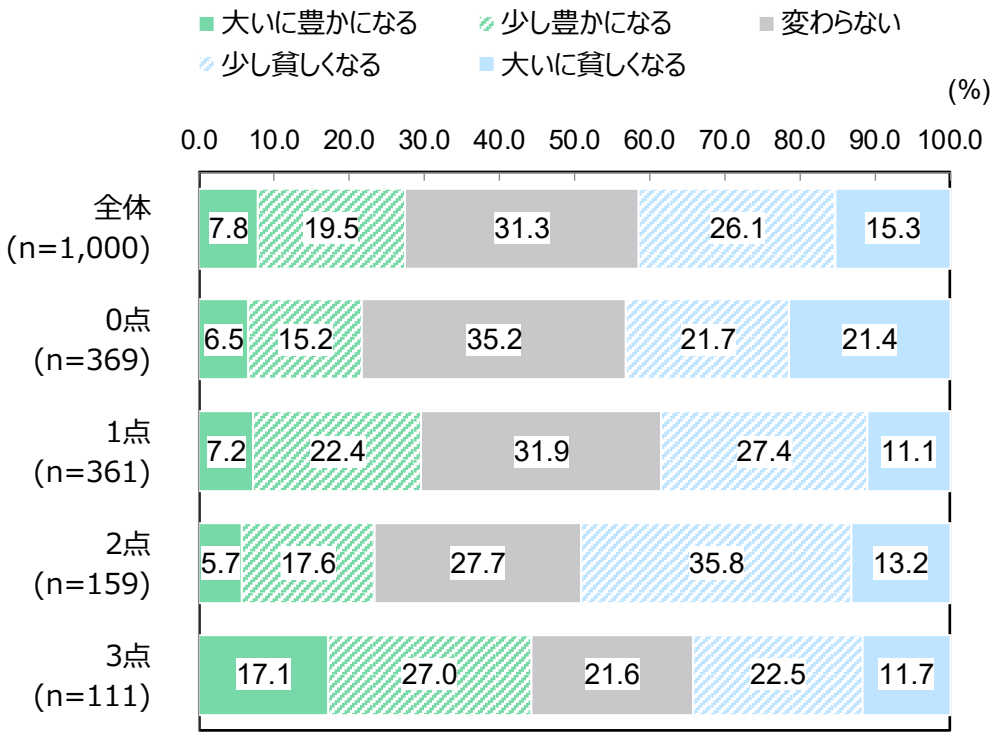
簡易SES別

自世代と子どもの将来との比較

簡易版SES代替指標の得点が高い（3点）回答者は、「豊かになる」（※）と回答した割合が他のグループよりも高い。

※「大いに豊かになる」と「少し豊かになる」の合計。

質問24：今年生まれる子どもの将来は、現在18歳前後のあなた方の世代と比べ、経済的にどのようになると思いますか。（選択式（単一））



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

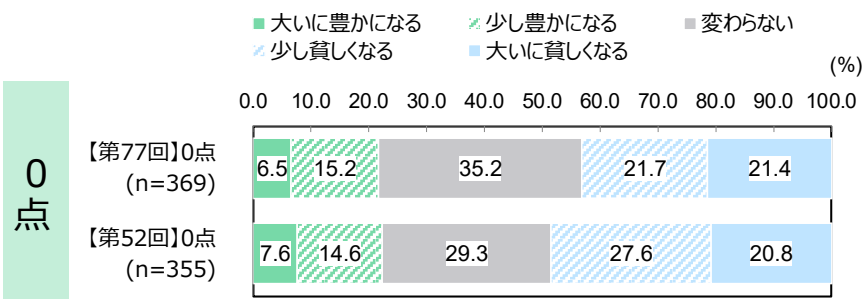
時系列
簡易SES別

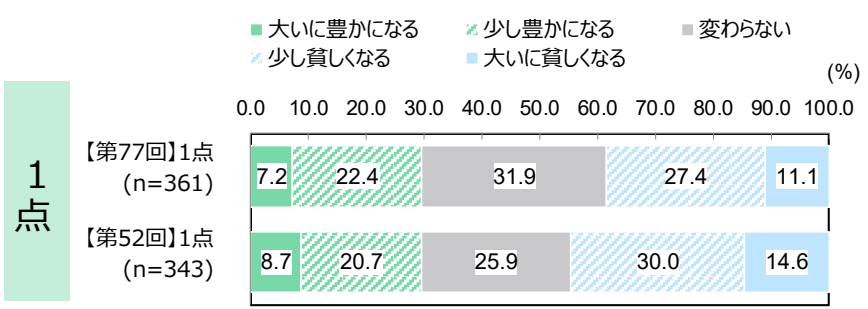
自世代と子どもの将来との比較

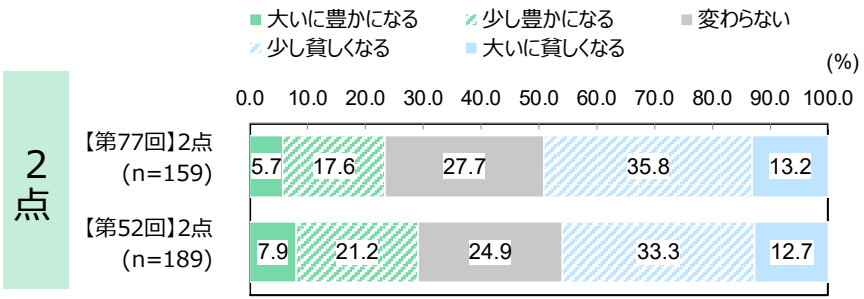
簡易版SES代替指標の得点が高い（3点）回答者で、「豊かになる」（※）と回答した割合が前回調査よりも増加。

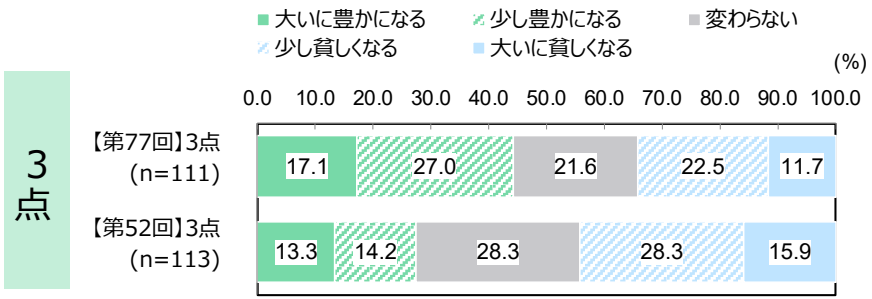
※「大いに豊かになる」と「少し豊かになる」の合計。

質問24：今年生まれる子どもの将来は、現在18歳前後のあなた方の世代と比べ、経済的にどのようになると思いますか。（選択式（単一））









日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

詳細

1. 現状に対する認識・将来の暮らし方に対する考え方
2. 働き方・キャリアに対する価値観
3. パートナーシップ・結婚に対する考え方
4. 子どもをもつこと・子育てに対する考え方
5. 若者政策に対する考え方

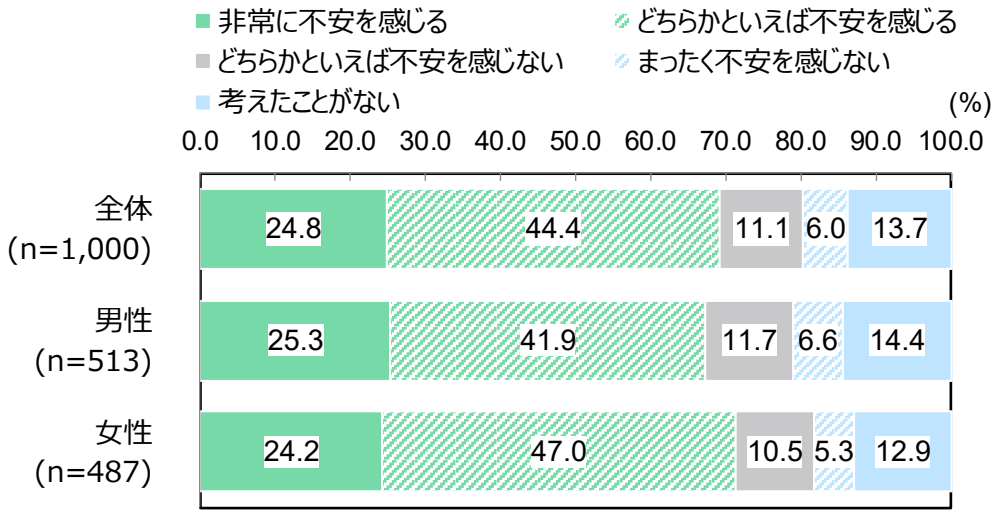
性別

若者世代が置かれている状況への不安

男女ともに、70%前後が「不安を感じる」（※）と回答。

※「非常に不安を感じる」と「どちらかといえば不安を感じる」の合計。

質問25： あなたは、若者世代が置かれている状況について、どう感じますか。（選択式（単一））



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

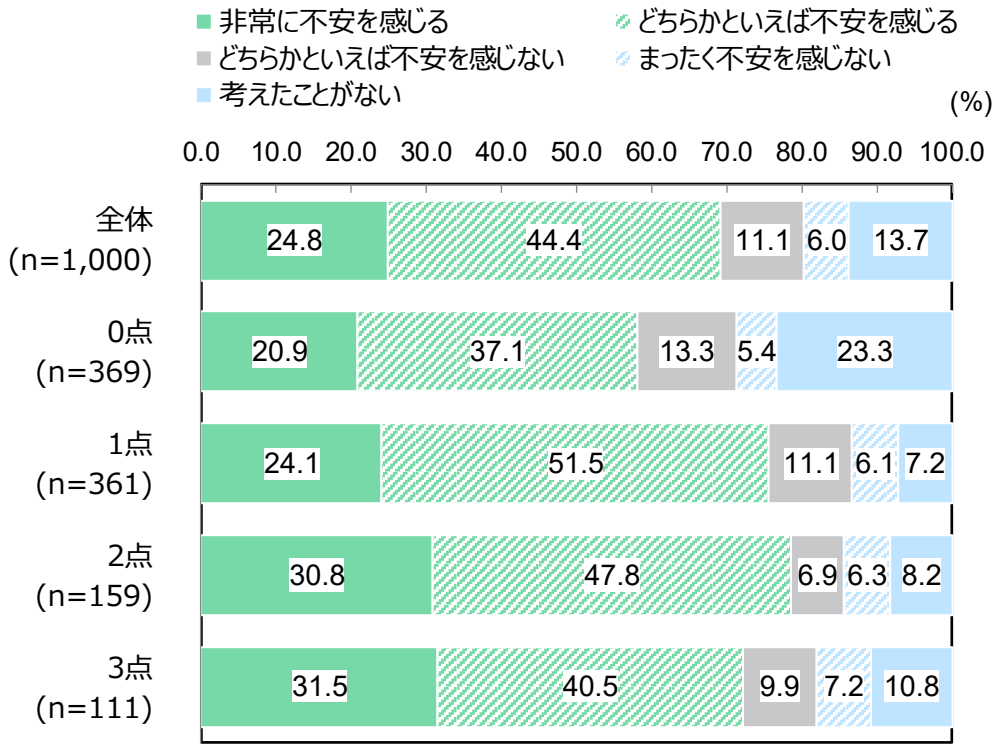
簡易SES別

若者世代が置かれている状況への不安

簡易版SES代替指標の得点が低い（0点）回答者は、「不安を感じる」（※）と回答した割合が他のグループよりも低く、「考えたことがない」と回答した割合が高い。

※「非常に不安を感じる」と「どちらかといえば不安を感じる」の合計。

質問25： あなたは、若者世代が置かれている状況について、どう感じますか。（選択式（単一））



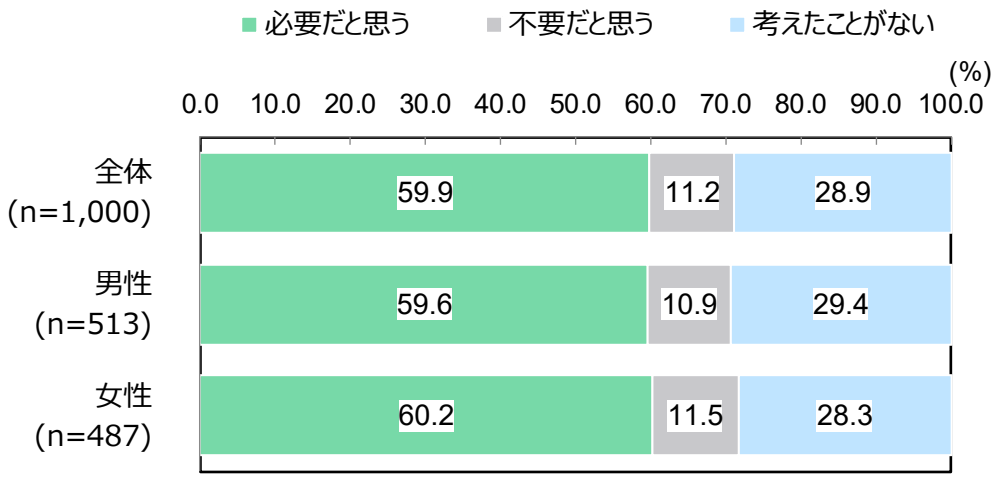
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

性別

若者政策の必要性

男女ともに、約60%が、家庭以外からの家族・パートナーシップや子育て、キャリアなどのライフデザインを描くための支援が「必要だと思う」と回答。

質問26：あなたは、家族・パートナーシップや子育て、キャリアなどのライフデザインを描くために、家庭での保護者からの教育・支援のほかに支援が必要だと思いますか。（選択式（単一））



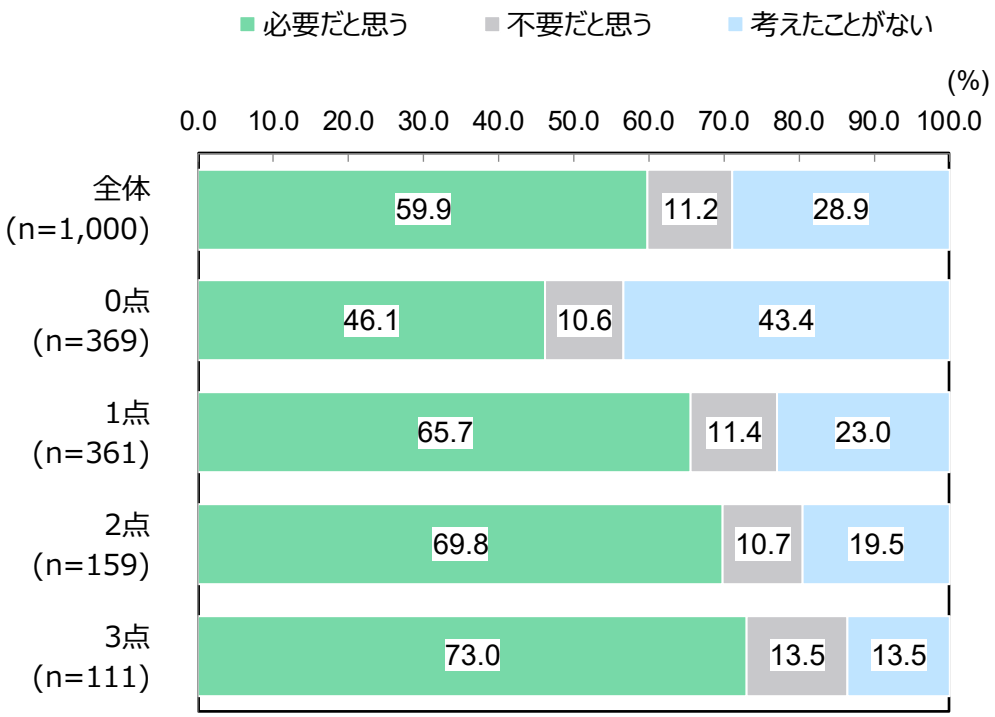
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

簡易SES別

若者政策の必要性

簡易版SES代替指標の得点が高いほど、家庭以外からの家族・パートナーシップや子育て、キャリアなどのライフデザインを描くための支援が「必要だと思う」と回答した割合が高い。

質問26：あなたは、家族・パートナーシップや子育て、キャリアなどのライフデザインを描くために、家庭での保護者からの教育・支援のほかに支援が必要だと思いますか。（選択式（単一））



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

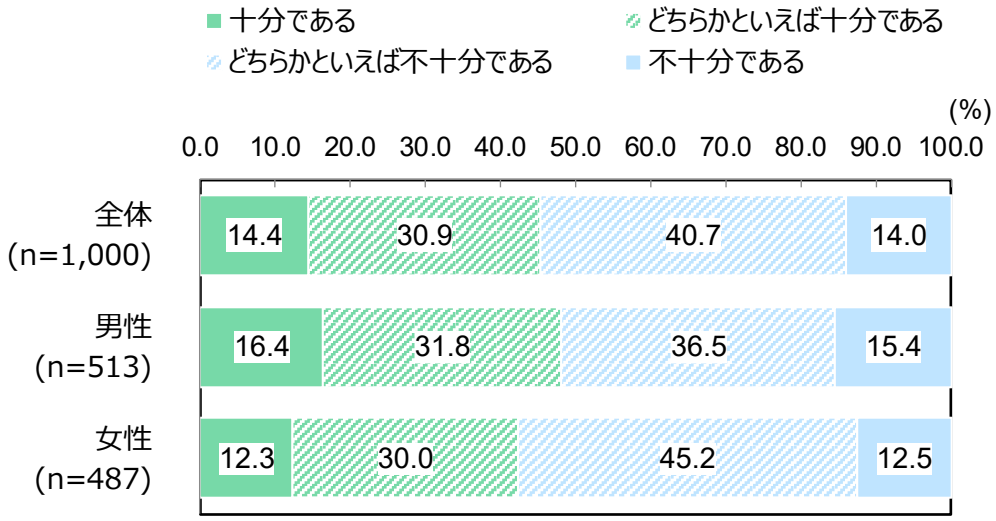
性別

若者政策への評価

男性の50%強、女性の60%弱が、若者世代に対する現在の政府の支援を「不十分である」（※）と回答。

※「不十分である」と「どちらかといえば不十分である」の合計。

質問27：2023年に施行されたこども基本法では、若者も含む「心身の発達の過程にある者」が「こども」と定義されており、政府は、教育・福祉・雇用等の様々な分野にまたがる若者の育成支援などにより「良好な成育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする」ことを掲げています。
あなたは、若者世代に対する現在の政府の支援をどのように考えますか。（選択式（単一））



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

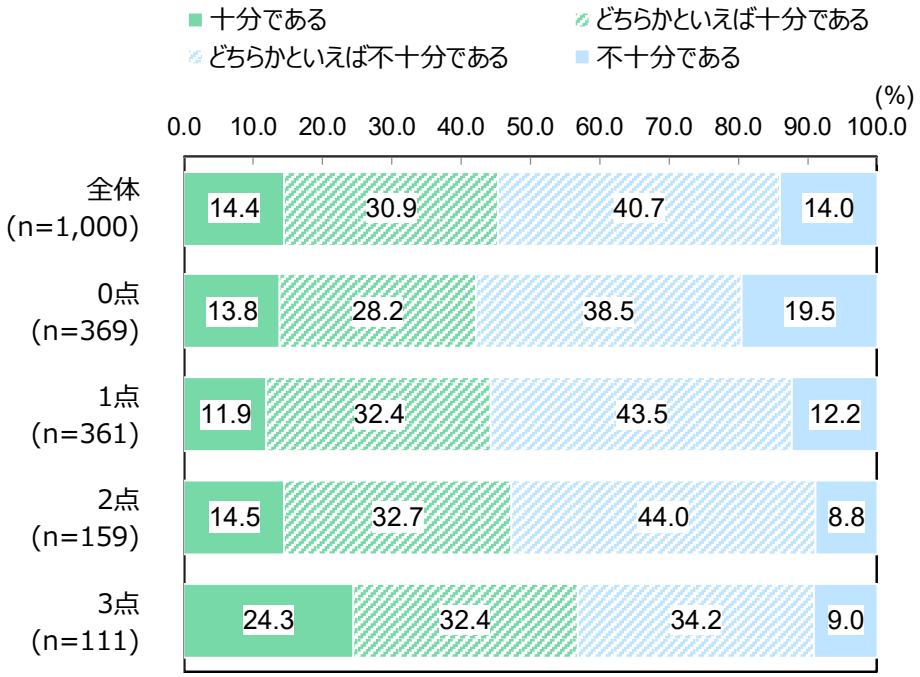
簡易SES別

若者政策への評価

簡易版SES代替指標の得点が低いほど、「不十分である」（※）と回答した割合が高い。

※「不十分である」と「どちらかといえば不十分である」の合計。

質問27：2023年に施行されたこども基本法では、若者も含む「心身の発達の過程にある者」が「こども」と定義されており、政府は、教育・福祉・雇用等の様々な分野にまたがる若者の育成支援などにより「良好な成育環境を確保し、貧困と格差の解消を図り、全てのこども・若者が幸せな状態で成長できるようにする」ことを掲げています。
あなたは、若者世代に対する現在の政府の支援をどのように考えますか。（選択式（単一））



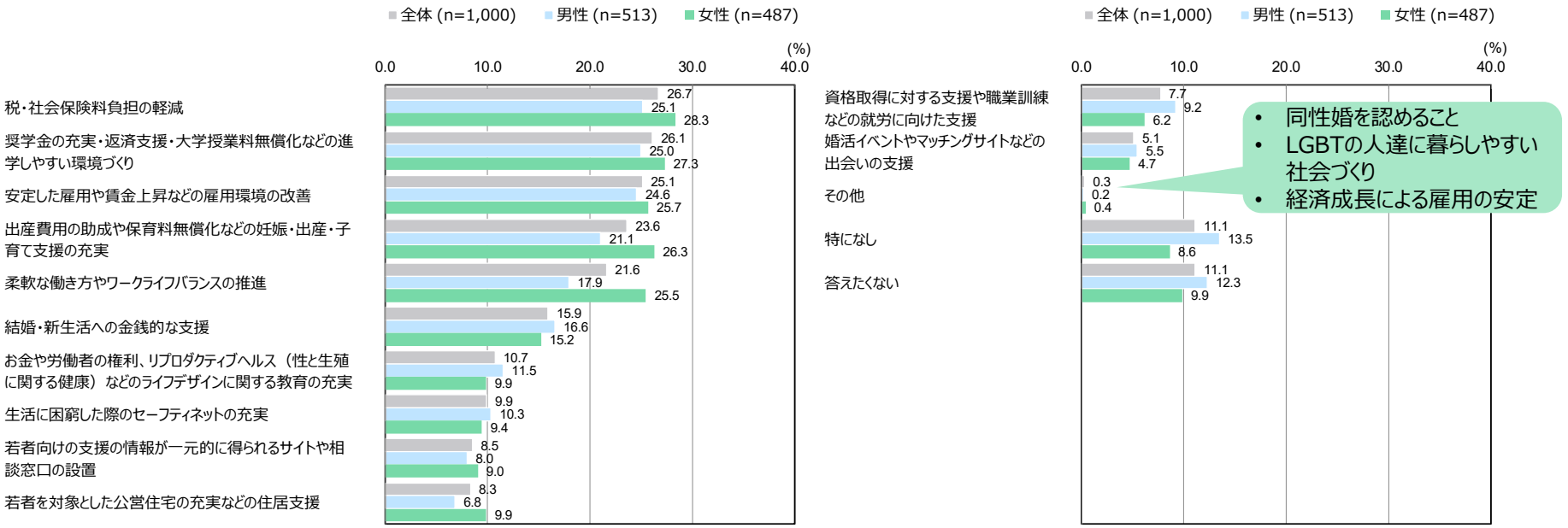
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

性別

実施してほしい若者政策

男女ともに、1位は「税・社会保障負担の軽減」、2位は「奨学金の充実・返済支援・大学授業料無償化などの進学しやすい環境づくり」。
男性の3位は「安定した雇用や賃金上昇などの雇用環境の改善」、女性の3位は「出産費用の助成や保育料無償化などの妊娠・出産・子育て支援の充実」。

質問28：家族・パートナーシップや子育て、キャリアなどのライフデザインに関する若者支援として、実施してほしい政策はなんですか。3つまで選んでください。（選択式（複数））



※「全体」の降順で掲載。

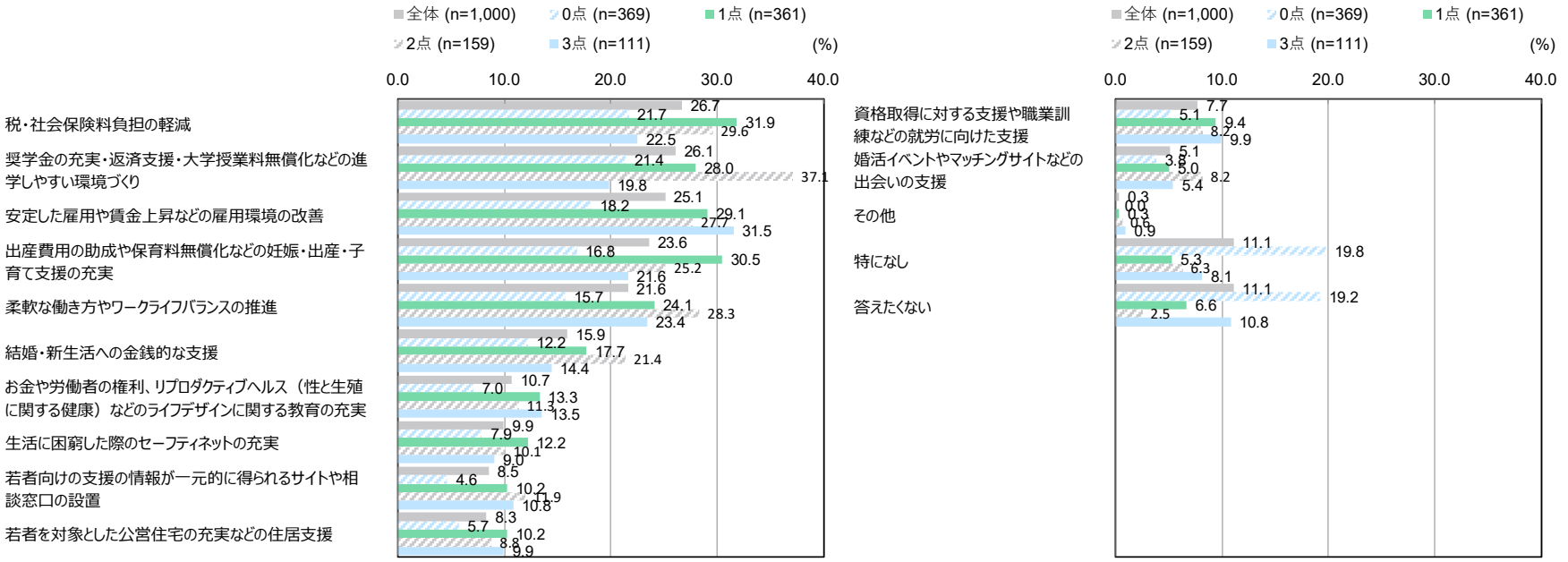
日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

簡易SES別

実施してほしい若者政策

簡易版SES代替指標の得点別の1位は、0点・1点が「税・社会保障負担の軽減」、2点が「奨学金の充実・返済支援・大学授業料無償化などの進学しやすい環境づくり」、3点が「安定した雇用や賃金上昇などの雇用環境の改善」。
簡易版SES代替指標の得点が低い（0点）回答者は、「特になし」「答えたくない」と回答した割合が高い。

質問28：家族・パートナーシップや子育て、キャリアなどのライフデザインに関する若者支援として、実施してほしい政策はなんですか。3つまで選んでください。（選択式（複数））



※「全体」の降順で掲載。

第77回18歳意識調査
「価値観・ライフデザイン」
示唆　1/2

安定志向が拡大	将来日本国内で暮らしたいと答えた人の増加や、高齢になっても働く志向、年功序列をより重要視する傾向、FIRE/早期退職への関心の低下等から、リスクを取って挑戦するよりも安定性や堅実さを求めるようになっていることがうかがえる。 社会に出たばかり、あるいはこれから社会に出る18歳前後の若者が、不安定で先の見通しにくい社会情勢の影響を大きく受けているものと考えられる。
個の充実を重要視	人生において大切にしたいものでは、家族と好きなことややりたいこと・趣味の順位が入れ替わったほか、心身の健康や資産形成が増加するなど、自分自身をより重視する傾向が見られた。 このことは結婚・子育て希望の減少とも関連していると思われ、結婚しない理由では、「自由を失いたくない」が増加しているほか、子供を持ちたくない理由でも精神的負担が経済的負担に並び全体の1位に変化している。また、男性では結婚しない理由・子どもを持ちたくない理由ともにパートナー不在が1位となっているが、人生における「恋愛」の重要度も下がっており、パートナーを得ることや結婚・子育てよりも個人としての充実を求める傾向が強まっているのではないかと考えられる。 なお、女性では、子どもを持ちたくないと回答した割合が増加した一方で、持ちたくない理由はほぼ全ての項目で減少した。社会で活躍する女性の増加や子どもを持たない選択の広がりを受けて、特別な理由はないが「何となく持たなくて良い、欲しくない」と感じるようになったのではないか。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

第77回18歳意識調査
「価値観・ライフデザイン」
示唆　2/2

家庭の社会経済的地位が低い若者の支援のあり方

簡易版SES代替指標の得点が低い（0点）の回答者の特徴として、何歳まで働くかという質問に対して「働くと思わない」という回答が多かったり、結婚・子育て希望が少なく「考えたことがない」と回答した割合も高いなど、将来のキャリアや結婚・子育てを具体的に考えられていない傾向が見られる。また、若者世代が置かれている状況に「不安を感じる」と回答した割合が低く、「考えたことがない」と回答した割合が高いほか、実施してほしい若者政策に「特になし」「答えたくない」と回答した割合が高いなど、自らの置かれた状況を客観的に把握して危機感や抱いたり、改善意欲を持つにすら至ってないものと予想される。当該グループは全体の37%と大きな割合を占め、最も支援を必要とするであろう層である。
これらの若者は、若者に対する政府の支援を「不十分である」と回答した割合が高く、求める若者支援政策は「税・社会保障負担の軽減」が1位となっているが、上記の特徴を踏まえれば、ただ求めるとおりに経済的な支援を行うのではなく、特にこのグループを対象として、人生における選択肢やそこで生じる障壁・取り得る手段等についてより自覚的になるよう導くことが重要である。

付帯資料：「簡易版社会経済的地位代替指標（簡易版SES代替指標）」について

- 「NCES（2012）では，過去のアメリカを中心とした学力研究で SESがどのように測定されてきたかを概観し，SES の定義を次のように示している。
  *SES*は広い意味では，ある人物が経済的，社会的，文化的および人的資本に関わる資源にどの程度アクセスできるかを表すものとして定義される。伝統的には，生徒の*SES*は両親の教育水準，両親の職業的地位，そして家庭の所得を含むものとされる。より広義には，*SES* はその他の家庭の資源やその生徒が住む地区や社会にある資源を含むものとされる。（*NCES 2012, p.14*）」
  （以上、出典1より引用（※））
- 過去の研究により、「学業成績以外にも，SESは子どもの心身の発達や健康，適応との関連も明らかにされている」。（出典2より引用）
- SESの構成要素としては、両親の教育水準、両親の職業的地位、家庭の所得があるとされ、これに加えて家庭の所有物が含まれることがある。家庭の所有物は主に家庭の所得の代理指標として用いられる。あくまで「代理指標」であることや、どのような所有物が価値あるものとされるかは時代によって異なるなどの留意点はあるが、家庭の所有物を尋ねることは、所得を尋ねることに比べプライバシーを侵害しにくいという利点がある。（出典1を参考）
- 本18歳意識調査では、調査対象者の中学生時代のSESにより、人生における価値観やライフデザインに対する彼らの現在の姿勢にどのような違いがあるか（或いは違いはないか）を推察するため、日本で行われた研究（出典2）に基づき作成された「簡易版SES代替指標」を用いることとした。
- 「簡易版SES代替指標」は、経済協力開発機構（OECD）が行うPISA（Programme for International Student Assessment）と呼ばれる国際的な生徒の学習到達度調査で用いられている、家庭の所有物17項目を基に、その精度を一定の水準で保ったままより少ない項目数でSESを反映できる簡易版の代替指標である。
- 上記を踏まえ、本18歳意識調査においては、「簡易版SES代替指標」は主に家庭の経済状況を示すものとして解釈する。すなわち、同指標の得点が高い回答者は経済的に恵まれた家庭で育ち、得点が低い回答者はそうではない可能性が高いという解釈を行うこととする。

出典1：国立大学法人 福岡教育大学「児童生徒や学校の社会経済的背景を分析するための調査の在り方に関する調査研究」（平成 29 年 3 月 31 日）、
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/__icsFiles/afieldfile/2017/11/28/1398296_1.pdf
※出典1に記載のあるNCESの出所は以下のとおり。NCES（National Center for Education Statistics）, 2012, Improving the Measurement of Socioeconomic Status for the National Assessment of Educational Progress: A Theoretical Foundation, Available online at https://nces.ed.gov/nationsreportcard/pdf/researchcenter/Socioeconomic_Factors.pdf (accessed Febrary 24, 2017).
出典2：石井 僚, 村山 航, 福住 紀明, 石川 信一, 大谷 和大, 榊 美知子, 鈴木 高志, 田中 あゆみ, 家庭の所有物を用いた中学生用簡易版社会経済的地位代替指標の作成, 心理学研究, 2019, 90 巻, 5 号, p. 493-502, 公開日 2019/12/25, https://doi.org/10.4992/jjpsy.90.18233

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION